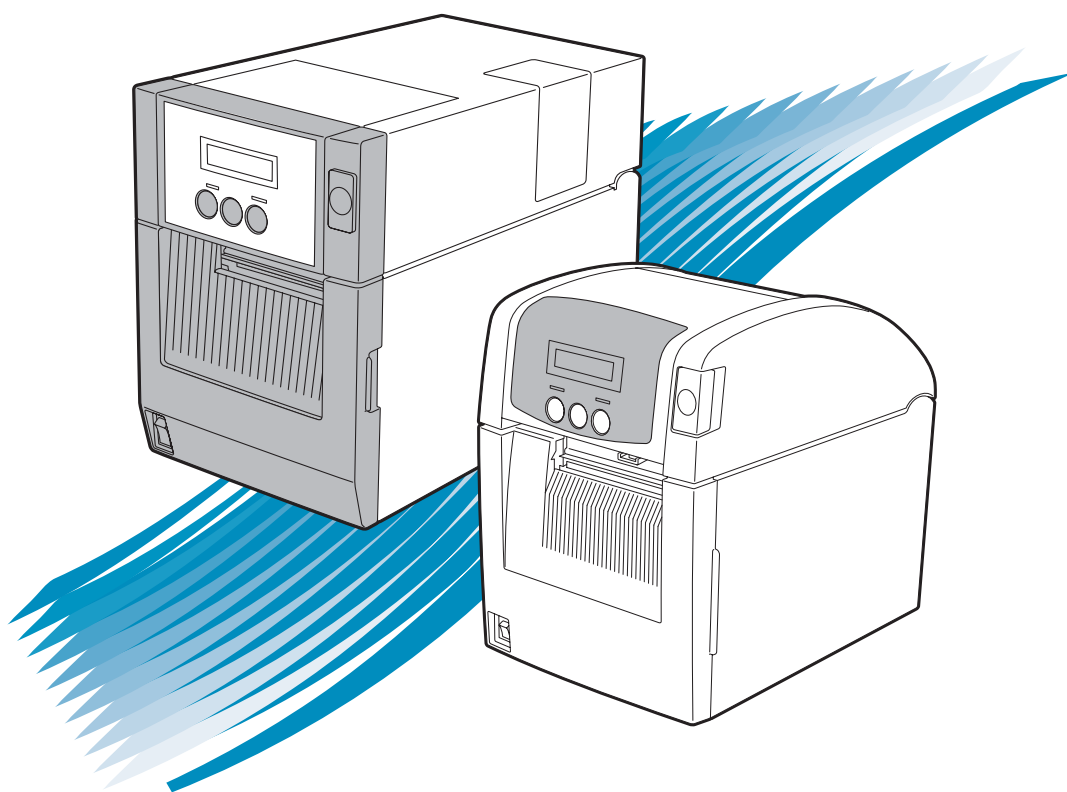


MultiCoder 500M3 シリーズ

ラベルプリンタ オンラインマニュアル

MultiCoder 500M3M
MultiCoder 500M3MC
MultiCoder 500M3MS
MultiCoder 500M3P
MultiCoder 500M3PC
MultiCoder 500M3PS



本文中で使用する記号の意味

このマニュアルでは本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内 容
	この注意事項を守らないと、プリンターが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
	この注意事項を守らないと、プリンターが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴは日本電気株式会社の登録商標です。

MultiCoderはNECエンベデッドプロダクツ株式会社の商標です。

LabelStar、BarStarはアイニックス株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Acrobat、Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

OSの表記について

このマニュアルではOSを以下のように略して表記しています。

Windows VistaはMicrosoft Windows Vista Ultimate operating systemおよびMicrosoft Windows Vista Enterprise operating system、Microsoft Windows Vista Business operating system、Microsoft Windows Vista Home Premium operating system、Microsoft Windows Vista Home Basic operating systemの略です。

Windows XPはMicrosoft Windows XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。

Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating systemの略です。

Windows Server 2003はMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Standard EditionおよびMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Enterprise Editionの略です。

Windows MeはMicrosoft Windows Millennium Edition operating systemの略です。

Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。

Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0 およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT Server 4.0, Terminal Server EditionはMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0, Terminal Server Editionの略です。Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0はMicrosoft Windows NT Server, Enterprise Edition network operating system Version 4.0の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お問い合わせの販売店にご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については4項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

このたびはNECのプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本マニュアルは、以下のNEC ラベルプリンタ「MultiCoder 500M3M/500M3P/500M3MC/500M3MS/500M3PC/500M3PS」（以降、まとめて「MultiCoder 500M3」と呼びます）を正しくお使いいただくための手引き書です。

本マニュアルにはMultiCoder 500M3の操作に必要な情報を記載していますので、日常使用する上でわからないことや具合の悪いことが起きたときにぜひご利用ください。

なお、ユーザズマニュアルではプリンターを初めてお使いになる時の手順や日常の保守、「故障かな？」と思ったときの処置方法やプリンタードライバなど添付ソフトウェアのインストール方法が記載されています。併せてご利用ください。

マニュアルの構成

本マニュアルの構成は次のとおりです。

第1章 操作パネルを使って設定変更する

メニューモードやシステムメニューモードの設定方法や設定の詳細について説明しています。

第2章 プリンタードライバ

本プリンターのプリンタードライバを使った印刷の手順や印刷の詳細な設定方法について説明しています。

第3章 リモートパネル

リモートパネルの使い方や設定の変更方法について説明しています。

付録 技術情報

本プリンターがサポートするインターフェースの仕様を載せています。

オンラインマニュアルの使い方

このオンラインマニュアルは、目的のページを検索しやすいように、しおりやサムネール、リンクが設定してあります。ここではしおりやサムネール、リンクの使い方、印刷方法などをAdobe Readerを使用して簡単に説明します。Adobe Readerの詳しい説明についてはヘルプメニューの「Adobe Readerのヘルプ」をご覧ください。

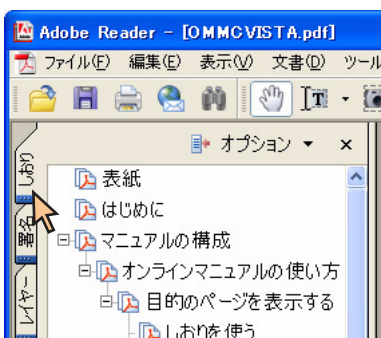
目的のページを表示する

「しおり」、「サムネール」のナビゲーション機能やリンク機能を使って目的のページを表示します。

しおりを使う

しおりは目次のようなものです。しおりを表示させると全体の内容が一覧でき、そこから見たいページを選ぶこともできます。

1. 「しおり」タブをクリックする。

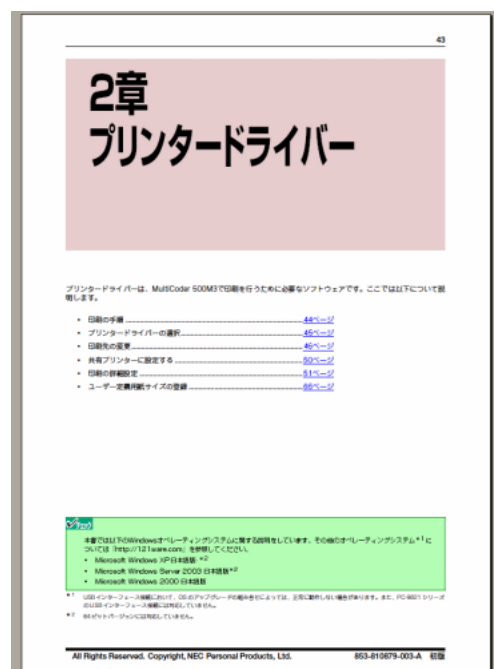
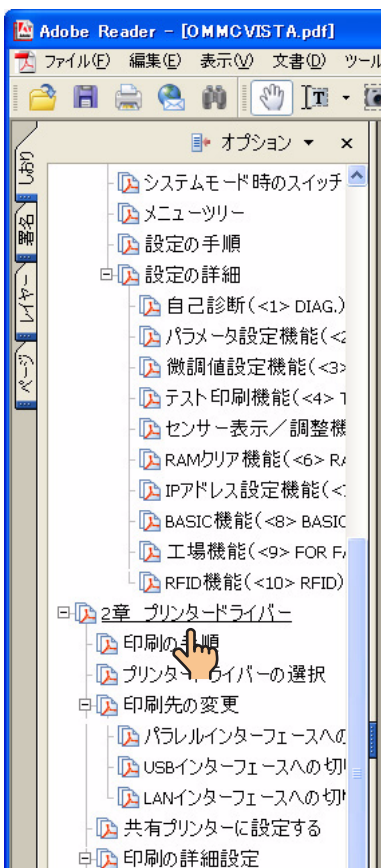


2. 「手のひら」ツールを表示させる。

3. 表示させたいしおりを選びクリックする。

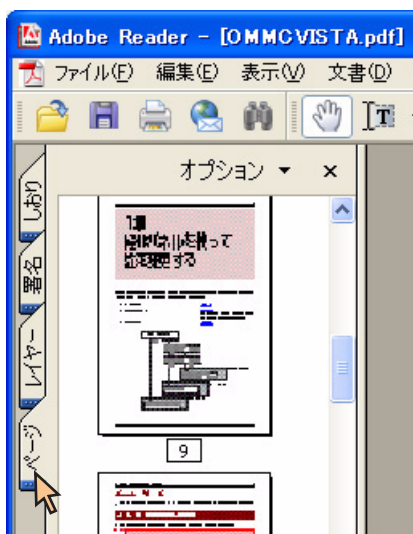
しおりの上へ「手のひら」ツールを移動すると「指さし」の形になるので、その場所をクリックしてください。選んだしおりのページが表示されます。

階層化された項目は、項目名の左側に「+」、「-」の記号が表示されます。その下の階層は「+」を押すと表示し、「-」を押すと非表示になります。

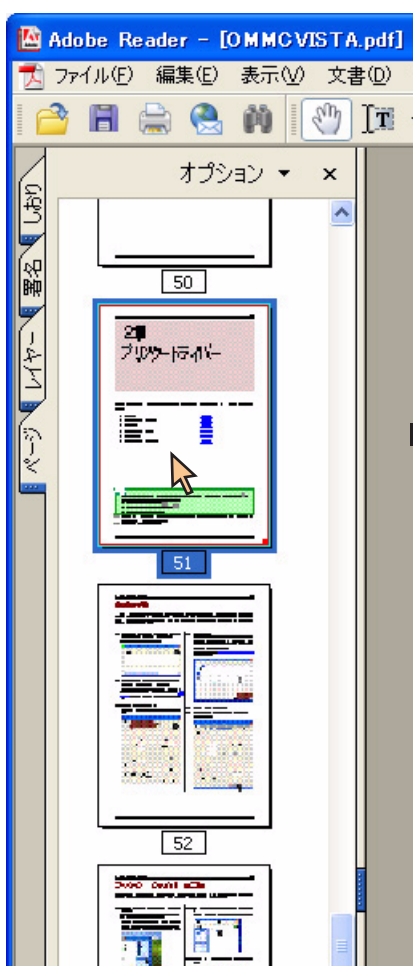


サムネールを使う

サムネールはそのページの全体のイメージを小さく表示したものです。表示したいページを見つけ、クリックすることで目的のページを表示することができます。

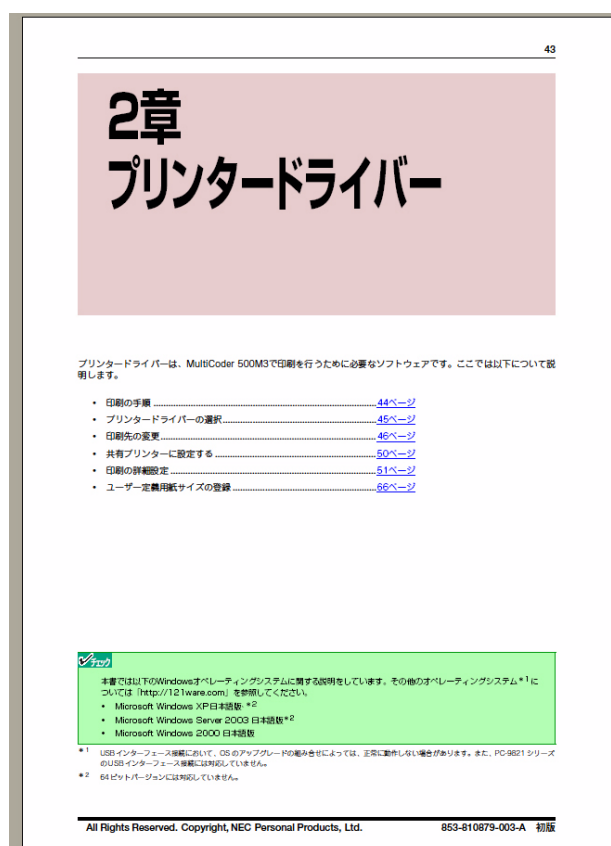


1. [ページ] タブをクリックする。



2. 表示させたいページのサムネールを選びクリックする。

サムネールの上へ[手のひら]ツールを移動すると[矢印]の形に変わるので、その場所をダブルクリックしてください。選んだページが表示されます。



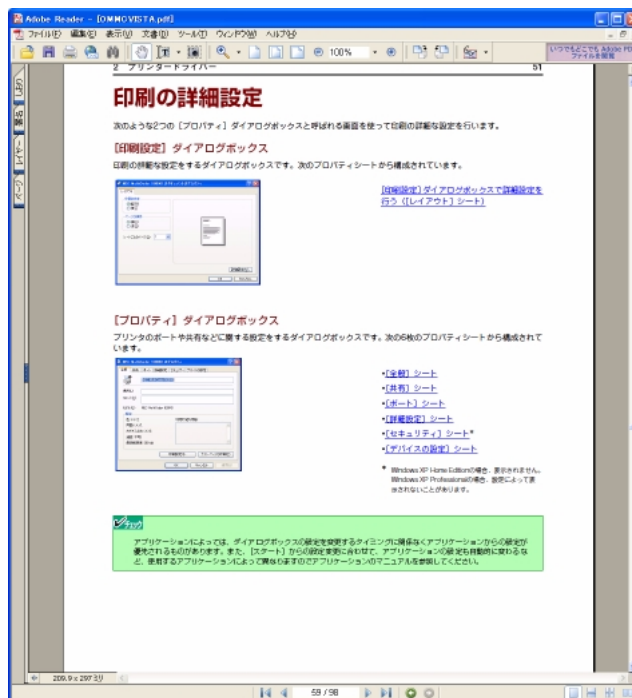
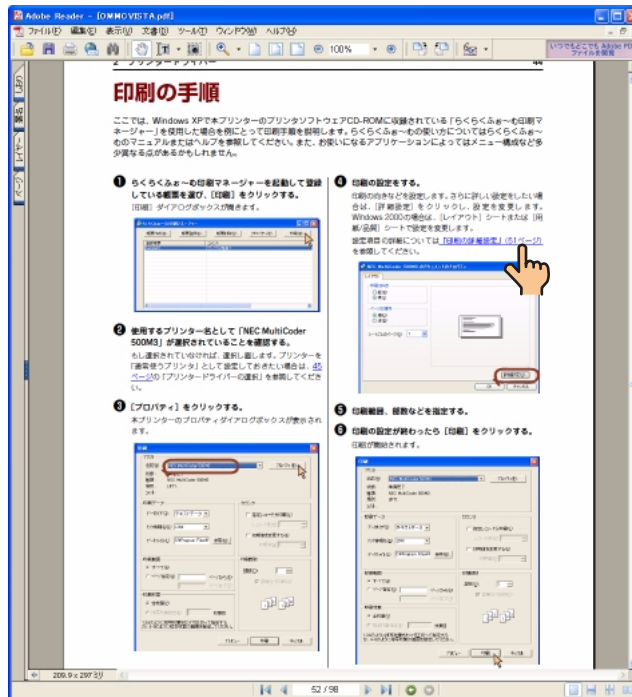
リンクを使う

リンクをクリックすると、目的のページへジャンプする機能です。本マニュアルでは、目的ページや文章内の青の下線文字にリンクの設定がしてあります。[手のひら] ツールを使ってリンクの設定先にジャンプすることができます。

1. [手のひら] ツールをクリックする。

2. リンクのある場所をクリックする。

リンクのある場所へ[手のひら]ツールを移動すると[指さし]の形になるので、その場所をクリックしてください。



目次

はじめに	iv
マニュアルの構成	iv
オンラインマニュアルの使い方	v
目的のページを表示する	v

1章 操作パネルを使って 設定変更する..... 1

メニューモード	2
メニューモードで変更できる設定項目	2
メニューモードの入り方と終了方法	4
メニューモード時のスイッチ機能	5
メニューツリー	6
設定の手順	8
設定の詳細	9
リセット (<1> RESET)	9
パラメータ設定機能	
(<2> PARAMETER SET)	9
微調値設定機能 (<3> ADJUST SET)	9
ダンプリスト出力機能 (<4> DUMP MODE)	9
拡張設定機能 (<5> EXPAND MODE)	11
オートキャリブレーション設定機能	
(<6> AUTO CALIB)	11
LAN設定機能 (<7> LAN)	11
リアルタイムクロック設定機能	
(<8> RTC SET)	12
発行制御設定機能 (<9> ISSUE CNTRL)	12
スレッシュド設定	14
システムモード	15
システムモードで変更できる設定項目	15
システムモードの入り方と終了方法	18
システムモード時のスイッチ機能	18
メニューツリー	19
設定の手順	21
設定の詳細	22
自己診断 (<1> DIAG.)	22
パラメータ設定機能	
(<2> PARAMETER SET)	28
微調値設定機能 (<3> ADJUST SET)	33
テスト印刷機能 (<4> TEST PRINT)	38
センサー表示／調整機能	
(<5> SENSOR ADJ.)	41
RAM クリア機能 (<6> RAM CLEAR)	42
IP アドレス設定機能 (<7> IP ADDRESS)	43
BASIC 機能 (<8> BASIC)	45
工場機能 (<9> FOR FACTORY)	45
RFID 機能 (<10> RFID)	45

2章 プリンタードライバー.....47

印刷の手順	48
プリンタードライバーの選択	50

印刷先の変更	52
パラレルインターフェースへの切り替え	52
USB インターフェースへの切り替え	54
LAN インターフェースへの切り替え	56
共有プリンターに設定する	59
印刷の詳細設定	61
[プロパティ] ダイアログボックスを開く	62
[スタート] ボタンを使って呼び出す	62
アプリケーションを使って呼び出す	65
[印刷設定] ダイアログボックスで詳細設定を	
行う ([レイアウト] シート)	67
[詳細オプション] ダイアログボックス	69
[プロパティ] ダイアログボックスで詳細設定を	
行う	76
ユーザー定義用紙サイズの登録	79
用紙サイズについて	79
登録手順	80
プリンター制御フォントの使用方法	83
プリンタードライバーの設定	83
アプリケーションでの指定方法	86
「NEC プリンタ制御」フォントを使った	
カット指定	88
CT (任意のページでカットする)	88
~ (任意ページの複数部数印刷後にカットする)	89
「NEC プリンタ制御 (ファイル)」フォントを	
使ったカット指定	90

3章 リモートパネル..... 91

リモートパネルの起動	92
リモートパネルの使い方	93
システムメニュー	93
メニューバー	94
ツールバー	97
プロパティシート	99
設定変更手順	101

付録 技術情報..... 103

初期状態	104
インターフェース	106
パラレルインターフェース	106
コネクタピン配置	106
インターフェース信号の機能	107
タイムチャート	109
電気的特性	110
USB インターフェース	111
コネクタピン配置	111
LAN インターフェース	112

索引	113
----------	-----

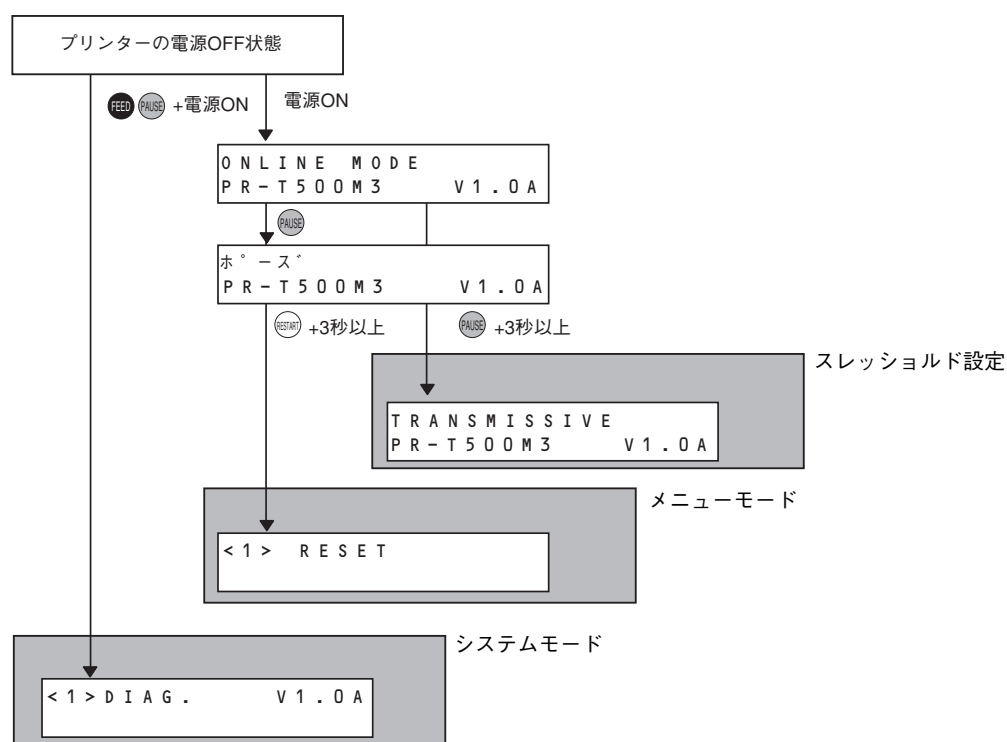
1章

操作パネルを使って 設定変更する

プリンターの操作パネルは用紙送りや印刷の一時停止、再印刷などの操作の他に次に示すプリンターの設定や調整をすることができます。この章ではこれらの機能の操作方法と機能別の説明をします。

- メニューモード [2ページ](#)
- スレッシュホールド設定 [14ページ](#)
- システムモード [15ページ](#)

詳しい手順についてはプリンターに添付の
ユーザズマニュアルで説明しています。



メニューモード

ここではメニューモードで変更できる設定項目、メニューモードの入り方と終了方法、および設定方法について説明します。

メニューモードで変更できる設定項目

メニューモードで変更できる設定項目および初期値を次の表に示します（【 】で示す値が初期値です）。



「操作」の欄に“×”となっている項目（グレー色の項目）は初期値のままにしておいてください。

メニュー名	パラメーター	操作
<1> RESET（プリンター内のデータをクリアして初期状態に戻ります。）		○
<2> PARAMETER SET（パラメータ設定機能）		
FONT CODE（文字コード切り換え）	【PC-850】・PC-852・PC-857・PC-8・PC-851・PC-855・PC1250・PC1251・PC1252・PC1253・PC1254・PC1257・LATIN9・Arabic・PC-866・UTF-8	×
ZERO FONT（0の字体切り換え）	【0（スラッシュなし）】・0（スラッシュあり）	×
SPEED（RS-232C通信速度切り換え）	2400bps・4800bps・【9600bps】・19200bps・38400bps・115200bps	×
DATA LENG.（RS-232Cデータ長切り換え）	7bits・【8bits】	×
STOP BIT（RS-232Cストップビット長切り換え）	【1bit】・2bits	×
PARITY（RS-232Cパリティ切り換え）	【EVEN】・NONE・ODD	×
XON+READY（RS-232C伝送制御方式切り換え）	XON/XOFF AUTO・READY/BUSY RTS・XON/XOFF・READY/BUSY・【XON+READY AUTO】	×
LCD（LCD表示メッセージ言語切り換え）	ENGLISH・GERMAN・FRENCH・DUTCH・SPANISH・【JAPANESE】・ITALIAN	×
FORWARD WAIT（自動正転待機切り換え）	【OFF】・ON *1	○
POSITION（正転待機時の停止位置調整値）*2	-5.0mm～【+0.0mm】～+5.0mm	○
CODE（制御コード切り換え）	【AUTO】・MANUAL・{ }・ESC LF NUL	×
CONTROL CODE1（制御コード1）*3	00～【1B】～FF	×
CONTROL CODE2（制御コード2）*3	00～【0A】～FF	×
CONTROL CODE3（制御コード3）*3	【00】～FF	×
PEEL OFF STS（ハクリ待ちステータス切り換え）	【OFF】・ON	×
FEED KEY（[FEED]スイッチ機能設定）	【FEED】・PRINT	○
KANJI CODE（漢字特殊コードの切り換え）	【TYPE1】・TYPE2	×
EURO CODE（Euroフォントコードの設定）	20～【B0】～FF	×
AUTO HD CHK（自動断線チェック設定）	【OFF】・ON	○
ACK/BUSY（セントロACK/BUSYタイミング設定）	【TYPE1】・TYPE2	○
WEB PRINTER（WEBプリンター機能設定）	【OFF】・ON	×
INPUT PRIME（nInit信号ON時のリセット処理切り換え）	【OFF】・ON	○
RBN NEAR END（リボンニアエンド検出設定）	【OFF】・30m・70m	○
EX.I/O（拡張I/O動作モード設定）	【TYPE1】・TYPE2	×
PLUG & PLAY（プラグ&プレイ動作設定）	【OFF】・ON	○
LBL/RBN END（ラベルエンド/リボンエラー処理設定）	【TYP1】・TYP2	○
PRE PEEL OFF（プレハクリ処理設定）	【OFF】・ON	○
P.P.FEED（プレハクリ距離設定）*4	-2.5mm～【+0.0mm】～+9.9mm	○

メニュー名	パラメーター	操作
BACK SPEED (バックフィード速度設定)* ⁵	[STD]・LOW	○
MAXI CODE (MaxiCode仕様設定)	[TYPE1]・TYPE2	×
KB I/F (キーボードI/F設定)	[OFF]・KB60 (1)・KB60 (2)・KB80	×
PEEL OFF TRQ (ハクリモータートルク設定)	[R0]・R1・R2・R3	○
TOPE TABLE (印加エネルギーテーブル設定)	[TYPE1]・TYPE2	×
CUT MODE (カット速度設定)* ⁵	[TYPE1]・TYPE2	○
<3> ADJUST SET (微調値設定機能)		
FEED ADJ. (フィード量微調)* ⁶	-50.0mm～【+0.0mm】～+50.0mm	○
CUT ADJ. (カット・ハクリ位置微調)* ⁶	-50.0mm～【+0.0mm】～+50.0mm	○
BACK ADJ. (バックフィード量微調)* ⁶	-9.9mm～【+0.0mm】～+9.9mm	○
X ADJUST (X方向座標微調)	-99.9mm～【+0.0mm】～+99.9mm	○
TONE ADJ.<T> (熱転写印刷濃度微調)	-10～【0】～+10	○
TONE ADJ.<D> (感熱印刷濃度微調)	-10～【0】～+10	○
RBN ADJ.<FW> (リボンモーター駆動電圧微調 (巻き取り側))	-15～【0】～+2	○
RBN ADJ.<BK> (リボンモーター駆動電圧微調 (バックテンション側))	-15～【0】～+10	○
THRESHOLD<R> (反射センサー手動スレッシュ ホールド微調)	0.0V～【1.0V】～4.0V	○
THRESHOLD<T> (透過センサー手動スレッシュ ホールド微調)	0.0V～【1.4V】～4.0V	○
<4> DUMP MODE		
BUFFER (受信バッファ選択)	[RS-232C]・CENTRO.・NETWORK・BASIC1・ BASIC2・USB・RF-ID	○
PRINT (印刷方式選択)	[ON DEMAND]・ALL	○
<5> EXPAND MODE (保守用の機能です。操作しないでください。)		×
<6> AUTO CALIB		
オートキャリブレーション設定	[OFF]・ON TRANS.・ON REFLECT	○
<7> LAN		
ネットワークの設定	OFF・【ON SNMP ON】・ON SNMP OFF	○
<8> RTC SET (保守用の機能です。操作しないでください。)		×
DATE (日付の設定)	設定されている日付を表示・設定	×
TIME (時刻の設定)	設定されている時刻を表示・設定	×
LOW BATT. CHECK (バッテリー低下チェック)	ON・【OFF】	×
RENEWAL (データ更新タイミング)	[PAGE]・BATCH	×
<9> ISSUE CNTRL (発行制御設定機能)		
CONTROL MODE (停止位置制御モード)	[1]・2	○
SENSOR (センサー指定)	[COMMAND]・NONE・REFLECT・TRANS・TRA-M・REF-M	○
PRT TYPE (印刷方式)	[COMMAND]・TRANSFR・DIRECT	○
SPEED (印刷速度指定)	[COMMAND]・2ips・4ips・6ips	○
CUT (カット指定)	[COMMAND]・OFF・ON	○
ROTATION (タグローテーション指定)	[COMMAND]・0・1・2・3	○
AUTO STATUS (自動ステータス送信)* ⁷	【あり】・なし	○

*¹ MultiCoder 500M3MC/500M3PCは【ON】が初期値です。

*² 自動正転待機切り換えが「ON (正転待機有り)」の場合のみ表示します。

*³ 制御コード切り換えが「MANUAL」の場合のみ表示します。

*⁴ プレハクリ処理設定 ON 時のみ表示します。パラメーターを設定後、[FEED] でテストを実行し、[RESTART] でパラメーターの設定に戻ります。

*⁵ 印刷方式とカット速度の設定によってバックフィード速度の機能の有効／無効が切り替わる場合があります。詳しくは、[31ページ](#)の「チェック」を参照してください。

*⁶ カット印刷／ハクリ印刷時は設定可能な微調量が制限されます。

*⁷ 操作パネルには表示されません。[「リモートパネル」\(91ページ\)](#)でのみ設定することができます。

メニューモードの入り方と終了方法

メニューモードに入る手順は次のとおりです。また終了方法についても説明します。

重要

このメニューを起動するとプリンターの電源をいったんOFFにするかリセットを実行しないかぎり終了できません。プリンターが印刷中に起動すると、残り枚数を破棄することになります。

① 待機中の状態であることを確認する。

```
ONLINE MODE
PR-T500M3 V1.0A
```

② [PAUSE] を押す。

ポーズ状態になります。



```
ホース
PR-T500M3 V1.0A
```

③ ポーズ状態中に [RESTART] を3秒以上押し続ける。



メニューモードが起動して、はじめにリセットのメニューを表示します。

```
< 1 > RESET
```

チェック

- ポーズ状態で [RESTART] を押して3秒以内に放した場合、リセットのメニューは表示されず、用紙の印刷を再開します。
- エラー状態で [RESTART] を押して3秒以内に放した場合は、エラー状態に戻ります。ただし、コマンドエラーの場合は、電源投入後の初期状態に戻ります。

メニューモードを終了する場合は、[「設定の手順」\(8ページ\)](#)を参照してリセットを実行するか、プリンターの電源をOFFにしてください。

メニューモード時のスイッチ機能

プリンターがメニューモードに入ると、操作パネル上のスイッチは次のような機能になります。

スイッチ	ディスプレイの表示状態	機能
FEED	1行目：メニューを表示 2行目：空白	1回押すと、次のメニューを表示します（メニューを切り替えます）。押し続けると、速く切り替わります。
	1行目：メニューを表示 2行目：パラメーターを表示	1回押すと、1つ前パラメーターを表示します。押し続けると、速く切り替わります。
RESTART	1行目：メニューを表示 2行目：空白	1回押すと、1つ前のメニューを表示します（メニューを切り替えます）。押し続けると、速く切り替わります。
	1行目：メニューを表示 2行目：パラメーターを表示	1回押すと、次のパラメーターを表示します。押し続けると、速く切り替わります。
PAUSE	1行目：メニューを表示 2行目：空白	表示しているメニューのパラメーターを表示します。
	1行目：メニューを表示 2行目：パラメーターを表示	表示しているパラメーターをプリンターの設定として記憶して次のパラメーターを表示します。押し続けると、早く切り替わります。 表示しているメニュー内で最後の決定項目であるパラメーターの場合は、そのパラメーターをプリンターの設定として記憶した後、メニュー選択表示（2段目が空白）に戻るか、選択した内容で各種機能を実行します。
FEED+RESTART	1行目：メニューを表示 2行目：空白	機能しません。
	1行目：メニューを表示 2行目：パラメーターを表示	表示しているパラメーターの設定をキャンセルしてメニュー選択表示（2段目が空白）に戻ります。



チェック

〔FEED〕と〔RESTART〕の同時押しによるキャンセルについて

- 〔FEED〕か〔RESTART〕のどちらか一方のスイッチを押したまま、もう一方のスイッチを押すと正しく機能します。同時に押しても、押したタイミングによってはパラメーターが切り替わるだけの場合があります。またパラメーターの表示が一瞬変わりますがプリンターは記憶しません。
- 現在表示しているパラメーターの設定値のみをキャンセルして元のメニュー選択画面に戻ります。したがって、それまでに〔PAUSE〕を押して決定したパラメーターはプリンターに記憶されます。

メニューツリー

ここでは、メニューモードのメニューツリーを載せています。



グレー色の項目はお客様では設定できません。このメニューを選択しないでください。

<印刷可能な状態>

ONLINE MODE
PR - T500M3 V1.0

↓ [PAUSE] を1回押す

ホース
PR - T500M3 V1.0

↓ [RESTART] を3秒以上押し続ける

<1> RESET ———— リセットを実行後オンライン状態に戻る

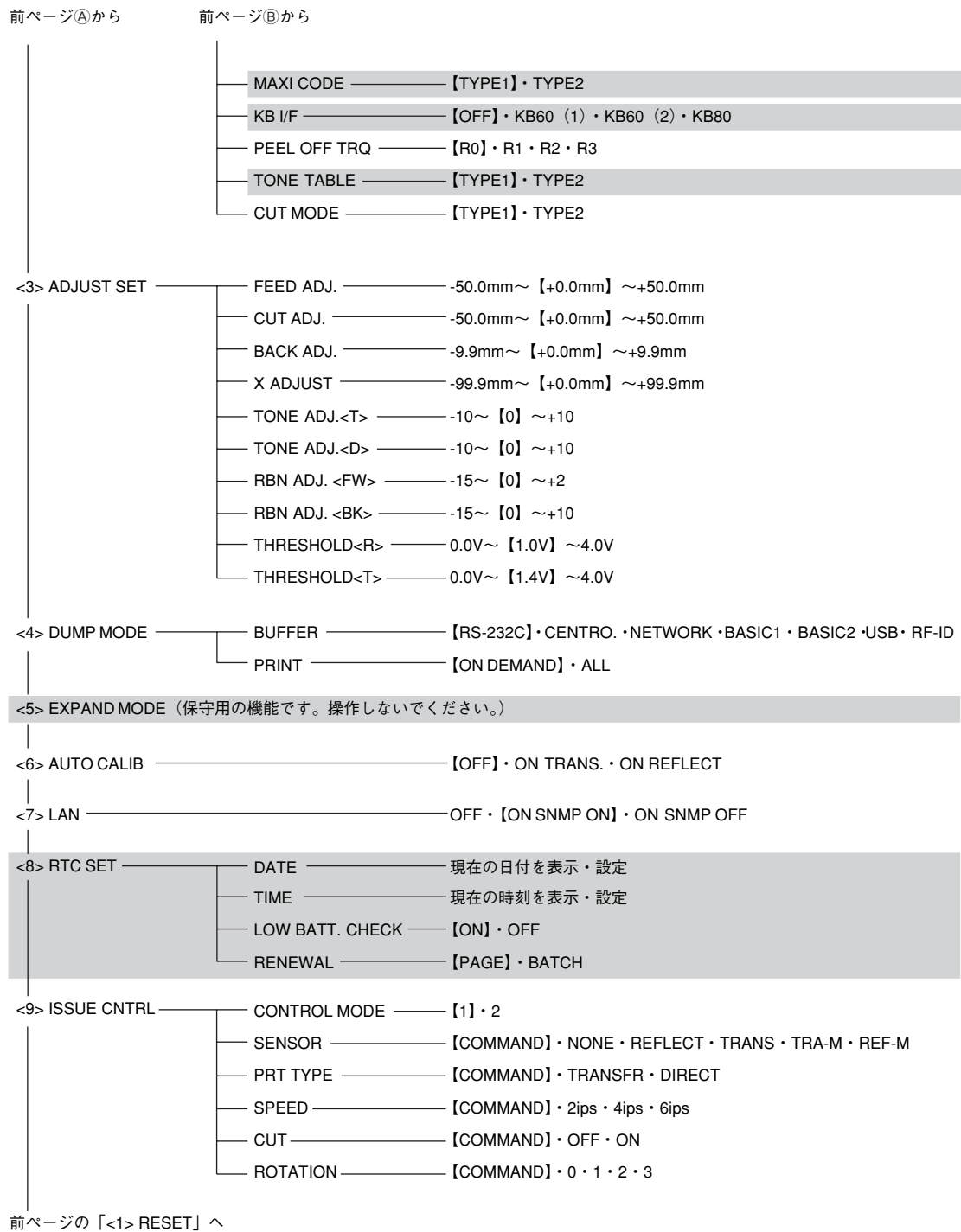
<2> PARAMETER SET

FONT CODE	【PC-850】・PC-852・PC-857・PC-8・PC-851・PC-855・PC1250・PC1251・PC1252・PC1253・PC1254・PC1257・LATIN9・Arabic・PC-866・UTF-8
ZERO FONT	【0（スラッシュなし）】・0（スラッシュあり）
SPEED	2400bps・4800bps・【9600bps】・19200bps・38400bps・115200bps
DATA LENG.	7bits・【8bits】
STOP BIT	【1bit】・2bits
PARITY	【EVEN】・NONE・ODD
XON+READY	XON/XOFF AUTO・READY/BUSY RTS・XON/XOFF・READY/BUSY・【XON+READY AUTO】
LCD	ENGLISH・GERMAN・FRENCH・DUTCH・SPANISH・【JAPANESE】・ITALIAN
FORWARD WAIT	【OFF】・ON*
POSITION	-5.0mm～【+0.0mm】～+5.0mm
CODE	【AUTO】・MANUAL・{ }・ESC LF NUL
CONTROL CODE1	00～【1B】～FF
CONTROL CODE2	00～【0A】～FF
CONTROL CODE3	【00】～FF
PEEL OFF STS	【OFF】・ON
FEED KEY	【FEED】・PRINT
KANJI CODE	【TYPE1】・TYPE2
EURO CODE	20～【B0】～FF
AUTO HD CHK	【OFF】・ON
ACK/BUSY	【TYPE1】・TYPE2
WEB PRINTER	【OFF】・ON
INPUT PRIME	【OFF】・ON
RBN NEAR END	【OFF】・30m・70m
EX.I/O	【TYPE1】・TYPE2
PLUG & PLAY	【OFF】・ON
LBL/RBN END	【TYP1】・TYP2
PRE PEEL OFF	【OFF】・ON
P.P.FEED	-2.5mm～【+0.0mm】～+9.9mm
TEST OR ADJUST	（[FEED]：テスト実行 [RESTART]：“P.P.FEED”に戻る）
BACK SPEED	【STD】・LOW

* MultiCoder 500M3MC/500M3PCは【ON】が初期値です。

次ページ④へ

次ページ⑤へ



設定の手順

メニューモードに入り、設定を変更するまでの手順は次のとおりです。例以外の設定を変更したいときは「[設定の詳細](#)」(9ページ)を見ながら、例を参考にして変更してください。

例：ネットワークプリンター機能を有効にする

プリンターをLAN接続する場合はプリンターのLANに関する設定を「有効」にします。LANに接続しないときは、必ず「無効(OFF)」に設定してください。

1 メニューモードに入る。

手順の詳細については「[メニューモードの入り方と終了方法](#)」(4ページ)を参照してください。

< 1 > R E S E T

2 [FEED] または [RESTART] のいずれかを数回押して、LAN有効／無効設定のメニューを表示させる。

FEED

または

RESTART

< 7 > L A N

3 [PAUSE] を押す。

PAUSE

現在の設定が表示されます。

< 7 > L A N
O F F

4 [FEED] または [RESTART] のいずれかを数回押して、希望の設定（パラメーター）を表示させる。

FEED

または

RESTART

設定内容が切り替わります。

OFF : LAN無効

ON SNMP ON: LAN有効でSNMPも有効

ON SNMP OFF: LAN有効でSNMPは無効

5 [PAUSE] を押す。

PAUSE

設定内容が確定し、LAN有効／無効設定のメニューに戻ります。

< 7 > L A N
O N S N M P O N

↓

< 7 > L A N

以上で設定は完了です。プリンターの電源をOFFにしてください。また、以降に示すリセット手順でもメニューモードを終了させることができます。

6 [FEED] または [RESTART] のいずれかを数回押して、リセットのメニューを表示させる。

FEED

または

RESTART

< 1 > R E S E T

7 [PAUSE] を押す。

PAUSE

プリンターの初期化が始まり電源ON直後の状態に戻ります。ネットワーク機能を有効にした場合は、LANの初期化も併せて行われます。

O N L I N E M O D E
P R - T 5 0 0 M 3 V 1 . 0 A

設定の詳細

ここでは、メニューモードで設定できる内容を説明します。設定項目の（ ）内は選択できる設定値、【 】内は工場設定値です。

リセット (<1> RESET)

間違えて印刷指示を行った場合など、本プリンターに転送したデータをクリアして初期状態にするときに行います。

リセットを実行するとプリンターは初期化を始め、終了するとオンライン状態に戻ります。

パラメータ設定機能 (<2> PARAMETER SET)

このメニューはプリンターの各種パラメーターに関する設定を変更するもので、「システムモード」に含まれるメニューの一部です。設定の詳細については「[パラメータ設定機能 \(<2> PARAMETER SET\) \(28ページ\)](#)」を参照してください。

微調値設定機能 (<3> ADJUST SET)

このメニューはプリンターの各種パラメーターに関する設定を変更するもので、「システムモード」に含まれるメニューの一部です。設定の詳細については「[微調値設定機能 \(<3> ADJUST SET\) \(33ページ\)](#)」を参照してください。

ダンプリスト出力機能 (<4> DUMP MODE)

受信バッファのダンプリストを出力します。印刷条件は以下のとおりです。

- 印刷幅：約100mm
- センサー指定：なし
- 印刷速度：101.6mm/秒（4インチ/秒）

✓チェック

- 印刷方式は使用中の設定に従います。
- 1行に16バイト分印刷します。
- 新しいデータから古いデータに向かって印刷します。
- 受信バッファライトポインターが指しているデータは肉太文字で印刷します。
- 受信データダンプ印刷中にエラーが発生した場合は、エラーメッセージを表示して印刷を停止します。また、エラーは[PAUSE]を押すと解除され、受信データダンプモード表示 (<4> DUMP MODE)に戻ります。エラー復帰後の自動再印刷は行いません。

1. 受信バッファ選択 (【RS-232C (RS-232C 受信バッファ)】、CENTRO. (セントロニクス受信バッファ)、NETWORK (ネットワーク I/F 受信バッファ)、BASIC1 (ベーシックインタプリタ I/F → インタプリタ間バッファ)、BASIC2 (ベーシックインタプリタ インタプリタ→プリンタ間バッファ)、USB (USB 受信バッファ)、RF-ID (RF-ID バッファ))

ダンプリスト出力を行う受信バッファを選択します。選択できるパラメーターと受信バッファサイズ、出力に必要な用紙の長さは下表のとおりです。

パラメーター	受信バッファサイズ	長さ	備考
RS-232C	—	—	使用できません。
セントロニクス	1MB (65536行印刷)	198.2m	
ネットワークI/F	1MB (65536行印刷)	198.2m	
ベーシック1	—	—	使用できません。
ベーシック2	—	—	使用できません。
USB	1MB (65536行印刷)	198.2m	
RF-ID	—	—	使用できません。

2. 印刷方式選択 (【ON DEMAND】、ALL)

印刷方式を選択します。ON DEMANDに設定した時は、166行分 (約50cm) を印刷後にいったん停止します。[RESTART] を押すと印刷を再開します。

ALLに設定した時はバッファデータをすべて印刷するまで止まりません。途中で停止するには、[PAUSE] を押してください。[RESTART] を押すと印刷を再開します。

以下に出力例を示します。

	:	
	:	
	:	
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00		
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00		
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00		
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00		
7B 41 58 3B 2B 30 30 30 2C 2B 30 30 30 2C 2B 30	{AX;+000,+000,+0	
30 7C 7D 7B 44 30 37 37 30 2C 31 31 30 30 2C 30	0} {D0760,1100,0	
37 34 30 7C 7D 7B 43 7C 7D 7B 4C 43 3B 30 30 33	740} {C} {LC;003	
30 2C 30 30 32 30 2C 30 30 33 30 2C 30 36 36 30	0,0020,0030,0660	
2C 30 2C 32 7C 7D 7B 4C 43 3B 30 30 37 30 2C 30	,0,2} {LC;0070,0	
30 32 30 2C 30 30 37 30 2C 30 36 36 30 2C 30 2C	020,0070,0660,0,	
39 7C 7D 7B 4C 43 3B 30 30 35 30 2C 30 30 32 30	9} {LC;0050,0020	
	:	
	:	
	:	
	:	
44 45 46 47 48 49 4A 7C 7D 7B 50 43 31 30 3B 30	DEFGHIJ} {PC10;0	
33 35 30 2C 30 34 30 30 2C 31 2C 31 2C 4B 2C 30	350,0400,1,1,K,0	
30 2C 42 3D 41 42 43 44 65 66 67 68 69 6A 6B 6C	0,B=ABCDefghijkl	
	:	
6D 6E 6F 70 7C 7D 7B 50 56 30 32 3B 30 33 33 30	mno} {PV02;0330	
2C 30 36 36 30 2C 30 32 37 30 2C 30 32 35 30 2C	,0660,0270,0250,	
41 2C 30 30 2C 42 3D 42 7C 7D 7B 50 56 30 33 3B	A,00,B=B} {PV03;	
	:	
	:	
	:	
	:	
3B 30 39 30 30 2C 30 31 38 30 2C 54 2C 48 2C 30	;0900,0180,T,H,0	
35 2C 41 2C 30 3D 31 32 33 34 35 36 37 38 39 30	5,A,0=1234567890	
41 42 43 44 45 7C 7D 00 00 00 00 00 00 00 00	ABCDE} {.....	

紙
送
り
方
向



16進数コード

ASCIIコード

拡張設定機能 (<5> EXPAND MODE)

**重要**

このメニューを操作しないでください。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

オートキャリブレーション設定機能 (<6> AUTO CALIB)

1. オートキャリブレーション設定 (【OFF (無効)】、ON TRANS. (透過センサー有効)、ON REFLECT (反射センサー有効))

オートキャリブレーション (自動校正) の設定をします。

オートキャリブレーションの設定が「有効」の場合、電源投入時またはトップカバー開閉時にオートキャリブレーション動作を開始します。コマンド指定された用紙長、有効印刷長、およびセンサー種は無視されます。

反射センサー有効の場合、反射センサー入力値から最も入力値が低い部分を見つけて黒マークとみなし、反射センサー手動スレッシュホールド微調値を加えて黒マークのスレッシュホールドとします。

透過センサー有効の場合、透過センサー入力値から最も入力値が低い部分を見つけてギャップとみなし、透過センサー手動スレッシュホールド微調値を引いてギャップのスレッシュホールドとします。

**チェック**

- 動作開始から160.0mmまでセンサー入力値をサンプリングし、スレッシュホールドを決定します。すでに2個以上の黒マークまたはギャップが存在しているときは、用紙長も算出して実測黒マークまたはギャップの終端1mm前で停止します。この条件の下で2個目の黒マークまたはギャップを認識できない場合は、検出動作を延長して黒マークまたはギャップを探し、最大500.0mmまで延長して見つけれないときは、フィードジャムとして停止します。
- オートキャリブレーション動作が可能な用紙ピッチは、10.0mm～150.0mmまでです。
- カッターモジュールを装着している場合で、前回の印刷がカット印刷のときは、停止後に排出カットを行います。
- ハクリ印刷時はオートキャリブレーションが機能しません。
- オートキャリブレーション動作中にラベルエンドやヘッドオープンが検出されると、エラーで停止します。ヘッドクローズによってエラーが解除されると、動作を再開します。
- オートキャリブレーション動作中は、必ずリボン駆動を行ってください。リボンがない場合はエラーにはなりませんが、動作終了後に動作条件がリボン無しに設定されます。

LAN設定機能 (<7> LAN)

1. LAN 有効／無効設定 (OFF (無効)、【ON SNMP ON (LAN 有効 SNMP 有効)】、ON SNMP OFF (LAN 有効 SNMP 無効))

LAN設定の有効／無効およびSNMPの有効／無効を切り換えます。

**チェック**

LAN接続しないときは、必ず「無効 (OFF)」に設定してください。

リアルタイムクロック設定機能 (<8> RTC SET)



このメニューを操作しないでください。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

1. 日付の設定（現在の日付を表示）
プリンターに設定されている現在の日付を表示・設定します。
2. 時刻の設定（現在の時刻を表示）
プリンターに設定されている現在の時刻を表示・設定します。
3. バッテリー低下チェック（ON（有効）、【OFF（無効）】）
バッテリー低下のチェックをするかどうかを切り替えます。
4. データ更新タイミング（【PAGE（ページ単位）】、BATCH（バッチ単位））
データの更新のタイミングを設定します。

発行制御設定機能 (<9> ISSUE CNTRL)

1. 停止位置制御モード（【1（モード1）】、2（モード2））
用紙の停止位置を制御する方法（モード）を切り換えます。モードは2つあり、下表のとおりです。

項 目	MODE 1（モード1）	MODE 2（モード2）
初期フィード	最初のギャップを検出したら、その検出位置を停止位置とする。ただし、設定した用紙ピッチによりサーマルヘッドと用紙センサー間に複数枚の用紙が存在すると判断したら、サーマルヘッドに一番近いギャップ位置を停止位置とする。	設定した用紙ピッチに関係なく最初のギャップを検出したら、その検出位置を停止位置とする。サーマルヘッドと用紙センサー間の用紙はむだになる場合がある。
初期フィード時のフィードジャム	設定用紙ピッチの1.5倍フィードをしてもギャップ検出できないときに検知する。	1000mm フィードしてもギャップを検出できないときに検知する。
通常時のフィードジャム	設定用紙ピッチの1.5倍フィードしてもギャップ検出できないまたは、設定ラベルピッチの0.5倍未満でギャップ検出したときに検知する。	1000mmフィードしてもギャップを検出できないときに検知する。

2. センサー指定（【COMMAND（印刷コマンド優先）】・NONE（センサーなし）・REFLECT（反射センサー）・TRANS（透過センサー）・TRA-M（透過センサー手動スレッシュホールド値使用）・REF-M（反射センサー手動スレッシュホールド値使用））
使用するセンサーを指定します。印刷コマンド優先時は印刷コマンド（プリンタードライバ）の設定に従います。それ以外のセンサーを指定した場合は、印刷コマンドの設定に関わらず、指定したセンサーで動作します。
3. 印刷方式（【COMMAND（印刷コマンド優先）】・TRANSFR（熱転写）・DIRECT（感熱））
印刷方式を指定します。印刷コマンド優先時は印刷コマンド（プリンタードライバ）の設定に従います。それ以外の印刷方式を指定した場合は、印刷コマンドの設定に関わらず、指定した印刷方式で動作します。
4. 印刷速度指定（【COMMAND（印刷コマンド優先）】・2ips（50.8mm / 秒）・4ips（101.6mm / 秒）・6ips（152.4mm / 秒））
印刷速度を指定します。印刷コマンド優先時は印刷コマンド（プリンタードライバ）の設定に従います。それ以外の印刷速度を指定した場合は、印刷コマンドの設定に関わらず、指定した印刷速度（単位はインチ / 秒）で動作します。

5. カット指定 (【COMMAND (印刷コマンド優先)】・ON (カット有り)・OFF (カットなし))

カット動作を指定します。カッターモジュールを装着している場合に有効です。

印刷コマンド優先時は印刷コマンド (プリンタードライバー) の設定に従います。それ以外を指定した場合は、印刷コマンドの設定に関わらず、指定したカット動作をします。

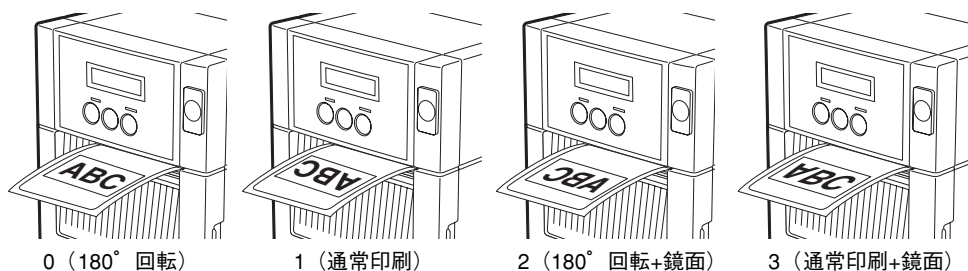
6. タグローテーション指定 (【COMMAND (印刷コマンド優先)】・0 (180° 回転印刷)・1 (通常印刷)・2 (180° 回転 + ミラー印刷)・3 (通常印刷 + ミラー印刷))

印刷の向きとミラー印刷をするかどうかを指定します。印刷コマンド優先時は発行コマンド (プリンタードライバー) の設定に従います。それ以外のタグローテーションを指定した場合は、印刷コマンドの設定に関わらず、指定した印刷方向で動作します。

発行結果例

ABC

というタグデータを発行した場合の例です。

7. 自動ステータス送信 (【ON (有効)】・OFF (無効))*¹

LAN接続時に「用紙なし」や「カバーオープン」などのステータス (状態) を自動で上位へ送信するかどうかを切り替えます。

*¹ [「リモートパネル」\(91ページ\)](#) でのみ切り替えることができます。

スレッシュホールド設定

ラベルに印刷する場合、印刷位置を一定に保つために、本プリンターはラベル間のすき間（ギャップ）を透過センサーで検出し、紙送り方向に対するラベル位置を自動的に補正しますが、プレ印刷されたラベルを使用する場合、プレ印刷に使用されているインクの種類によってラベル位置が正しく補正されないことがあります。また、用紙裏面の黒マークを反射センサーで検出して印刷する場合、黒マーク以外の場所で反射率が変動し、用紙位置が正しく補正されないこともあります。

このような場合、使用するプレ印刷用紙ごとおよび使用するセンサーごとにスレッシュホールドを設定し、メモリーに記憶しておく必要があるため、この機能を用意しています。

スレッシュホールドの設定に関する詳細な説明はプリンターに添付のユーザーズマニュアルに記載されています。ユーザーズマニュアルを参照してください。

システムモード

システムモードは名前のとおり、プリンターの内部システムに関する設定をするためのモードで、運用の前に設定しておくべき機能や印刷位置の調整、ハードウェアのセットアップや自己診断などが行えます。

ここでは、システムモードで変更できる設定項目、システムモードの入り方と終了方法および設定方法について説明します。

システムモードで変更できる設定項目

システムモードで変更できる設定項目および初期値を次の表に示します（【 】で示す値が初期値です）。



「操作」の欄に“×”となっている項目（グレー色の項目）は初期値のままにしておいてください。

メニュー名	パラメーター	操作
<1> DIAG. (自己診断機能)		
PRT TYPE (印刷方式選択)	【TRANSFR】・DIRECT	○
TYPE (印刷タイプ設定)	【[S]NO CUT】・[C]WITH CUT	○
MAINTENANCE CONT (診断種類)	【MAINTENANCE CONT】・AUTO DIAGNOSTIC・HEAD CHECK	○
<2> PARAMETER SET (パラメータ設定機能)		
FONT CODE (文字コード切り換え)	【PC-850】・PC-852・PC-857・PC-8・PC-851・PC-855・PC1250・PC1251・PC1252・PC1253・PC1254・PC1257・LATIN9・Arabic・PC-866・UTF-8	×
ZERO FONT (0の字体切り換え)	【0 (スラッシュなし)】・0 (スラッシュあり)	×
SPEED (RS-232C通信速度切り換え)	2400bps・4800bps・【9600bps】・19200bps・38400bps・115200bps	×
DATA LENG. (RS-232Cデータ長切り換え)	7bits・【8bits】	×
STOP BIT (RS-232Cストップビット長切り換え)	【1bit】・2bits	×
PARITY (RS-232Cパリティ切り換え)	【EVEN】・NONE・ODD	×
XON+READY (RS-232C伝送制御方式切り換え)	XON/XOFF AUTO・READY/BUSY RTS・XON/XOFF・READY/BUSY・【XON+READY AUTO】	×
LCD (LCD表示メッセージ言語切り換え)	ENGLISH・GERMAN・FRENCH・DUTCH・SPANISH・【JAPANESE】・ITALIAN	×
FORWARD WAIT (自動正転待機切り換え)	【OFF】・ON*1	○
POSITION (正転待機時の停止位置調整値)*2	-5.0mm～【+0.0mm】～+5.0mm	○
CODE (制御コード切り換え)	【AUTO】・MANUAL・{ }・ESC LF NUL	×
CONTROL CODE1 (制御コード1)*3	00～【1B】～FF	×
CONTROL CODE2 (制御コード2)*3	00～【0A】～FF	×
CONTROL CODE3 (制御コード3)*3	【00】～FF	×
PEEL OFF STS (ハクリ待ちステータス切り換え)	【OFF】・ON	×
FEED KEY ([FEED]スイッチ機能設定)	【FEED】・PRINT	○
KANJI CODE (漢字特殊コードの切り換え)	【TYPE1】・TYPE2	×
EURO CODE (Euroフォントコードの設定)	20～【B0】～FF	×
AUTO HD CHK (自動断線チェック設定)	【OFF】・ON	○
ACK/BUSY (セントロACK/BUSYタイミング設定)	【TYPE1】・TYPE2	○
WEB PRINTER (WEBプリンター機能設定)	【OFF】・ON	×
INPUT PRIME (nInit信号ON時のリセット処理切り換え)	【OFF】・ON	○

メニュー名	パラメーター	操作
RBN NEAR END (リボンニアエンド検出設定)	【OFF】・30m・70m	○
EX.I/O (拡張I/O動作モード設定)	【TYPE1】・TYPE2	×
PLUG & PLAY (プラグ&プレイ動作設定)	【OFF】・ON	○
LBL/RBN END (ラベルエンド/リボンエラー処理設定)	【TYP1】・TYP2	○
PRE PEEL OFF (プレハクリ処理設定)	【OFF】・ON	○
P.P.FEED (プレハクリ距離設定)*4	-2.5mm～【+0.0mm】～+9.9mm	○
BACK SPEED (バックフィード速度設定)*5	【STD】・LOW	○
MAXI CODE (MaxiCode仕様設定)	【TYPE1】・TYPE2	×
KB I/F (キーボードI/F設定)	【OFF】・KB60 (1)・KB60 (2)・KB80	×
PEEL OFF TRQ (ハクリモータートルク設定)	【R0】・R1・R2・R3	○
TOPE TABLE (印加エネルギーテーブル設定)	【TYPE1】・TYPE2	×
CUT MODE (カット速度設定)*5	【TYPE1】・TYPE2	○
<3> ADJUST SET (微調値設定機能)		
FEED ADJ. (フィード量微調)	-50.0mm～【+0.0mm】～+50.0mm	○
CUT ADJ. (カット・ハクリ位置微調)	-50.0mm～【+0.0mm】～+50.0mm	○
BACK ADJ. (バックフィード量微調)	-9.9mm～【+0.0mm】～+9.9mm	○
X ADJUST (X方向座標微調)	-99.9mm～【+0.0mm】～+99.9mm	○
TONE ADJ.<T> (熱転写印刷濃度微調)	-10～【0】～+10	○
TONE ADJ.<D> (感熱印刷濃度微調)	-10～【0】～+10	○
RBN ADJ. <FW> (リボンモーター駆動電圧微調 (巻き取り側))	-15～【0】～+2	○
RBN ADJ. <BK> (リボンモーター駆動電圧微調 (バックテンション側))	-15～【0】～+10	○
THRESHOLD<R> (反射センサー手動スレッシュホールド微調)	0.0V～【1.0V】～4.0V	○
THRESHOLD<T> (透過センサー手動スレッシュホールド微調)	0.0V～【1.4V】～4.0V	○
<4> TEST PRINT (テスト印刷機能)		
PRINT CONDITION (テスト印刷モード選択)	【PRINT CONDITION】・SLANT LINE (1DOT)・SLANT LINE (3DOT)・CHARACTERS・BARCODE・NON-PRINTING	○
	FACTORY TEST・AUTO PRINT (TRAN)・AUTO PRINT (REFL)	×
ISSUE COUNT (枚数設定)	【1 (枚)】・3・5・10・50・100・500・1000・5000	○
PRINT SPEED (印刷速度)	2インチ/秒・【4インチ/秒】・6インチ/秒	○
SENSOR (センサー指定)	NONE・REFLECT.・【TRANS.】	○
PRT TYPE (印刷方式)	【TRANSFR】・DIRECT	○
TYPE (印刷タイプ)	【[S]NO CUT】・[C]WITH CUT・[H]PEEL OFF	○
LABEL LEN. (ラベルサイズ (バックテンション側))	5mm～【76mm】～999mm	○
PAPER (紙送りモード)	【FEED】・NO FEED	○
<5> SENSOR ADJ. (センサー表示/調整機能)		
[H] [A] (サーマルヘッド温度センサー・外気温センサー表示)	—	○
[REFLECT] (反射センサー表示/調整)	—	○
[TRANS.] (透過センサー表示/調整)	—	○
[PE] (用紙なし時の反射センサー/透過センサー表示/調整)	—	○
<6> RAM CLEAR (RAMクリア機能)	【NO RAM CLEAR】・MANTE.CNT CLEAR・PARAMETER CLEAR	×

メニュー名	パラメーター	操作
<7> IP ADDRESS (IPアドレス設定機能)		
PRINTER IP ADDRESS (IPアドレス設定)	000.000.000.000～【192.168.010.020】～255.255.255.255	○
GATEWAY IP ADDRESS (ゲートウェイアドレス設定)	【000.000.000.000】～255.255.255.255	○
SUBNET MASK (サブネットマスク設定)	000.000.000.000～【255.255.255.000】～255.255.255.255	○
SOCKET PORT (ソケットポート設定)	ポートの有効/無効: OFF・【ON】 ソケットポート番号: 00000～【08000】～65535	○
DHCP (DHCP設定)	【OFF】・ON	○
DHCP CLIENT ID (DHCPクライアントID設定)	00h～【FFh】* ⁶	○
DHCP HOST NAME (DHCPホスト名設定)	20h～【FFh】* ⁷	○
<8> BASIC (装置基本設定機能)		
BASIC ENABLE (ベーシック設定)	【OFF】・ON	×
FILE MAINTENANCE (ファイルメンテナンス)	ダウンロードしたベーシックファイル名を表示	×
BASIC TRACE (ベーシクトレース設定)	【OFF】・ON	×
EXPAND MODE (EXPANDモード設定)	—	×
<9> FOR FACTORY (工場機能)		
OPTION CHECK (オプションチェック)	—	×
<10> RFID (RFID機能)		
READ TEST (RFID読み取りテスト)	【OFF】・ON	×
MODULE (RFIDモジュール設定)	【NONE】・U1・H1	×
ERR CHK (RFIDエラータグ検出設定)	【OFF】・ON	×
ISSUE RETRY (RFID印刷リトライ回数設定)	0～【3】～255	×
R CYCLE CNT (RFID読み取りリトライ回数設定)	0～【5】～255	×
R CYCLE TIM (RFID読み取りリトライ時間設定)	0.0～【4.0 (秒)】～9.9	×
W CYCLE CNT (RFID書き込みリトライ回数設定)	0～【5】～255	×
W CYCLE TIM (RFID書き込みリトライ時間設定)	0.0～【2.0 (秒)】～9.9	×
ADJ RETRY (RFID調整リトライ設定)	-99～【+00 (mm)】～+99	×

*1 MultiCoder 500M3MC/500M3PCは【ON】が初期値です。

*2 自動正転待機切り換えが「ON (正転待機有り)」の場合のみ表示します。

*3 制御コード切り換えが「MANUAL」の場合のみ表示します。

*4 プレハクリ処理設定 ON 時のみ表示します。パラメーターを設定後、[FEED] でテストを実行し、[RESTART] でパラメーターの設定に戻ります。

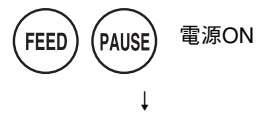
*5 印刷方式とカット速度の設定によってバックフィード速度の機能の有効/無効が切り替わる場合があります。詳しくは、[31ページ](#)の「チェック」を参照してください。

*6 ASCII 入力では 00h～ 1Fh は入力できません。

*7 ASCII 文字で表記されます。

システムモードの入り方と終了方法

プリンターの電源がOFFの状態では、[FEED] と [PAUSE] を同時に押したまま電源スイッチをONにしてください。ディスプレイにシステムモードの1番目のメニューである自己診断メニューが表示されます。システムモードを終了するには、プリンターの電源スイッチをOFFにしてください。



< 1 > D I A G . V 1 . 0 A

チェック

「[メニューモード](#)」(2ページ) の「<1> RESET」を実行した直後に [FEED] と [PAUSE] を押したままにしても起動させることができます。

システムモード時のスイッチ機能

プリンターがシステムモードに入ると、操作パネル上のスイッチは次のような機能になります。

スイッチ	ディスプレイの表示状態	機能
FEED	1行目：メニューを表示 2行目：空白	1回押すと、次のメニューを表示します（メニューを切り替えます）。押し続けると、速く切り替わります。
	1行目：メニューを表示 2行目：パラメーターを表示	1回押すと、1つ前パラメーターを表示します。押し続けると、速く切り替わります。
RESTART	1行目：メニューを表示 2行目：空白	1回押すと、1つ前のメニューを表示します（メニューを切り替えます）。押し続けると、速く切り替わります。
	1行目：メニューを表示 2行目：パラメーターを表示	1回押すと、次のパラメーターを表示します。押し続けると、速く切り替わります。
PAUSE	1行目：メニューを表示 2行目：空白	表示しているメニューのパラメーターを表示します。
	1行目：メニューを表示 2行目：パラメーターを表示	表示しているパラメーターをプリンターの設定として記憶して次のパラメーターを表示します。押し続けると、早く切り替わります。 表示しているメニュー内で最後の決定項目であるパラメーターの場合は、そのパラメーターをプリンターの設定として記憶した後、メニュー選択表示（2段目が空白）に戻るか、選択した内容で各種機能を実行します。
FEED+RESTART	1行目：メニューを表示 2行目：空白	機能しません。
	1行目：メニューを表示 2行目：パラメーターを表示	表示しているパラメーターの設定をキャンセルしてメニュー選択表示（2段目が空白）に戻ります。

チェック

「FEED」と「RESTART」の同時押しによるキャンセルについて

- 「FEED」か「RESTART」のどちらか一方のスイッチを押したままもう一方のスイッチを押すと正しく機能します。同時に押しても、押したタイミングによってはパラメーターが切り替わるだけの場合があります。またパラメーターの表示が一瞬変わりますがプリンターは記憶しません。
- 現在表示しているパラメーターの設定値のみをキャンセルして元のメニュー選択画面に戻ります。したがって、それまでに「PAUSE」を押して決定したパラメーターはプリンターに記憶されます。

メニューツリー

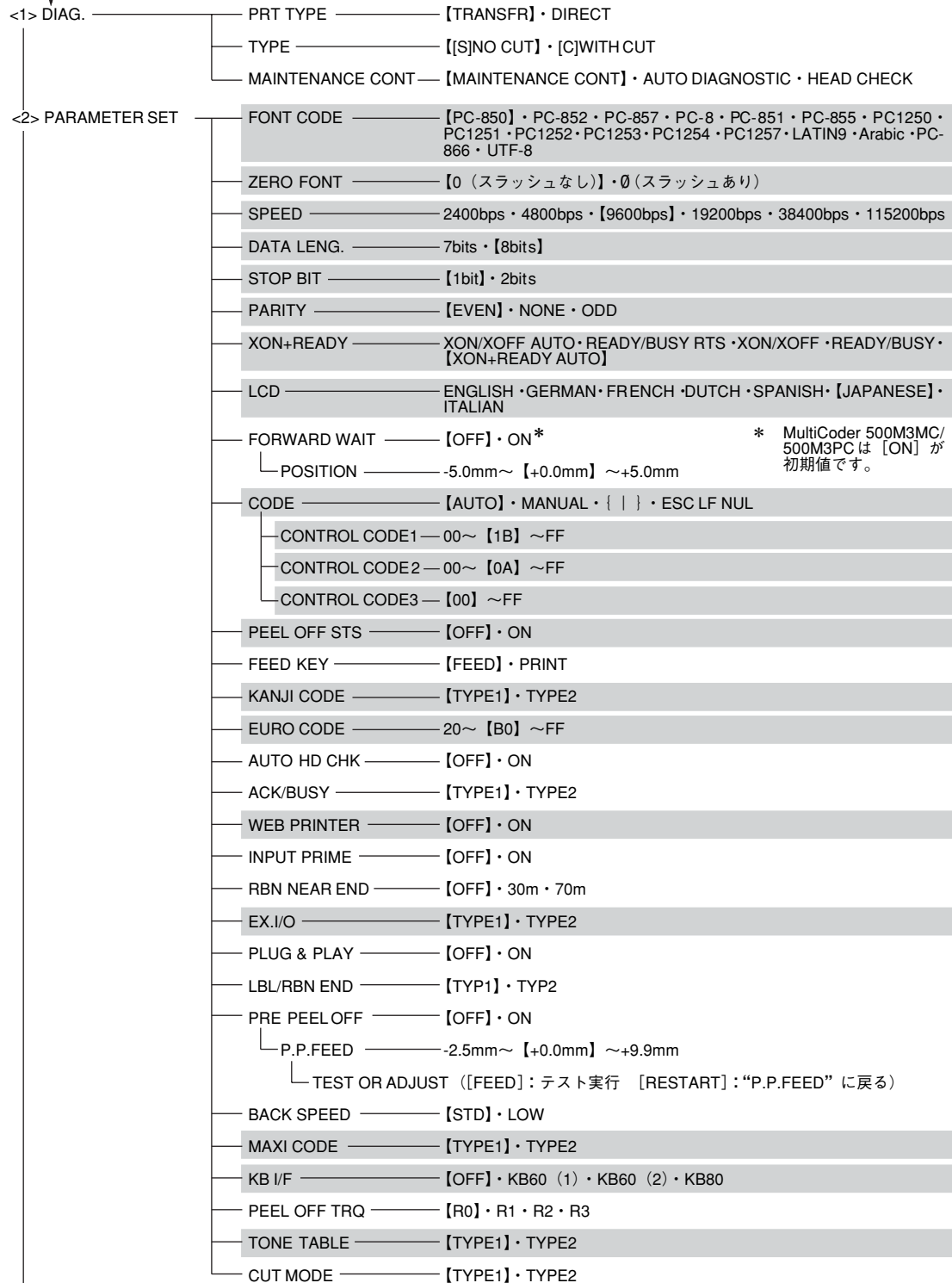
ここでは、システムモードのメニューツリーを載せています。



グレー色の項目はお客様では設定できません。このメニューを選択しないでください。

<電源OFFの状態>

[FEED] と [PAUSE] を押しながら電源をON



次ページへ

前ページから

<3> ADJUST SET	FEED ADJ.	-50.0mm ~ 【+0.0mm】 ~ +50.0mm
	CUT ADJ.	-50.0mm ~ 【+0.0mm】 ~ +50.0mm
<4> TEST PRINT	BACK ADJ.	-9.9mm ~ 【+0.0mm】 ~ +9.9mm
	X ADJUST	-99.9mm ~ 【+0.0mm】 ~ +99.9mm
	TONE ADJ.<T>	-10 ~ 【0】 ~ +10
	TONE ADJ.<D>	-10 ~ 【0】 ~ +10
	RBN ADJ. <FW>	-15 ~ 【0】 ~ +2
	RBN ADJ. <BK>	-15 ~ 【0】 ~ +10
	THRESHOLD<R>	0.0V ~ 【1.0V】 ~ 4.0V
	THRESHOLD<T>	0.0V ~ 【1.4V】 ~ 4.0V
	PRINT CONDITION	【PRINT CONDITION】・SLANT LINE (1DOT)・SLANT LINE (3DOT)・CHARACTERS・BARCODE・NON-PRINTING FACTORY TEST・AUTO PRINT (TRAN)・AUTO PRINT (REFL)
	ISSUE COUNT	【1 (枚)】・3・5・10・50・100・500・1000・5000
<5> SENSOR ADJ.	PRINT SPEED	2インチ/秒・【4インチ/秒】・6インチ/秒
	SENSOR	NONE・REFLECT.・【TRANS.】
	PRT TYPE	【TRANSFR】・DIRECT
	TYPE	【[S]NO CUT】・[C]WITH CUT・[H]PEEL OFF
	LABEL LEN.	5mm ~ 【76mm】 ~ 999mm
	PAPER	【FEED】・NO FEED
<6> RAM CLEAR	[H]、[A]	(ヘッド、装置温度表示)
	[REFLECT]	(反射センサー情報表示)
	[TRANS.]	(透過センサー情報表示)
	[PE]	(用紙なし時のセンサー情報表示)
<7> IP ADDRESS	【NO RAM CLEAR】・MANTE.CNT CLEAR・PARAMETER CLEAR	
	PRINTER IP ADDRESS	000.000.000.000 ~ 【192.168.010.020】 ~ 255.255.255.255
	GATEWAY IP ADDRESS	【000.000.000.000】 ~ 255.255.255.255
	SUBNET MASK	000.000.000.000 ~ 【255.255.255.000】 ~ 255.255.255.255
	SOCKET PORT	ポートの有効/無効 — OFF・【ON】 └ ソケットポート番号 00000 ~ 【08000】 ~ 65535
	DHCP	【OFF】・ON
	DHCP CLIENT ID	00h ~ 【FFh】
	DHCP HOST NAME	20h ~ 【FFh】
<8> BASIC	BASIC ENABLE	【OFF】・ON
	FILE MAINTENANCE	ダウンロードしたベーシックファイル名を表示
	BASIC TRACE	【OFF】・ON
	EXPAND MODE	(EXPANDモード設定)
<9> FOR FACTORY	OPTION CHECK	チェックを実行し結果を表示
<10> RFID	READ TEST	【OFF】・ON
	MODULE	【NONE】・U1・H1
	ERR CHK	【OFF】・ON
	ISSUE RETRY	0 ~ 【3】 ~ 255
	R CYCLE CNT	0 ~ 【5】 ~ 255
	R CYCLE TIM	0.0 ~ 【4.0 (秒)】 ~ 9.9
	W CYCLE CNT	0 ~ 【5】 ~ 255
	W CYCLE TIM	0.0 ~ 【2.0 (秒)】 ~ 9.9
	ADJ RETRY	-99 ~ 【+00 (mm)】 ~ +99

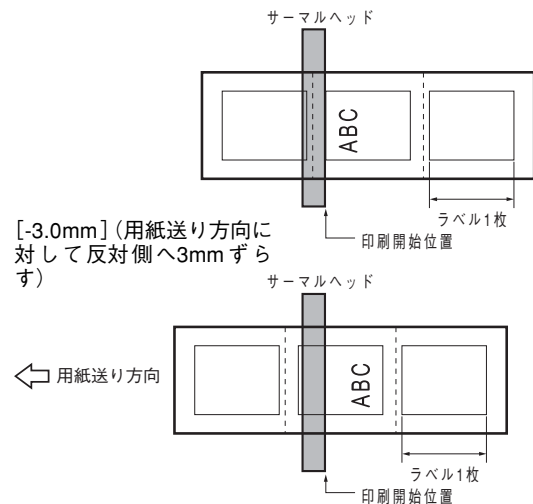
前ページの
「<1> DIAG.」へ

設定の手順

システムモードに入り、設定を変更するまでの手順は次のとおりです。例以外の設定を変更したいときは「[設定の詳細](#)」(22ページ)を見ながら、例を参考に設定してください。

例：「微調整設定機能」の「フィード量微調」を「-3.0mm」にする。

右図のように用紙送りの量を増減させて、用紙送り方向に対して印刷 [0.0mm] (出荷時の設定) 位置を変えるものです。



① システムモードに入る。

手順の詳細については「[システムモードの入り方と終了方法](#)」(18ページ)を参照してください。

< 1 > D I A G . V 1 . 0 A

② [FEED] または [RESTART] のいずれかを数回押して、微調整設定機能のメニューを表示させる。

FEED または RESTART

< 3 > A D J U S T S E T

③ [PAUSE] を押す。

PAUSE

現在の設定が表示されます。

< 3 > A D J U S T S E T
F E E D A D J . + 0 . 0 m m



誤って [PAUSE] を数回押して別のパラメーター設定画面に移ったときは、上記のメッセージが表示されるまで [PAUSE] を数回押してください。パラメーターのメッセージは [PAUSE] を押し続けることでループします。

④ 数値に“-3.0mm”と表示されるまで [FEED] を数回押す。

FEED

< 3 > A D J U S T S E T
F E E D A D J . - 3 . 0 m m

[FEED] を押すたびに「0.1mm」単位で減算されます（押し続けると切り替わりが速くなります）。[RESTART] を押すと、「0.1mm」単位で加算されます。

⑤ [PAUSE] を押す。

PAUSE

設定内容が確定し、次のパラメーターの設定値を表示します。

< 3 > A D J U S T S E T
C U T A D J . + 0 . 0 m m

⑥ 2段目のパラメーター設定の表示が消えるまで [PAUSE] を数回押す。

PAUSE

< 3 > A D J U S T S E T

以上で設定は完了です。プリンターの電源をOFFにしてください。

設定の詳細

ここでは、システムモードで設定できる内容を説明します。設定項目の（ ）内は選択できる設定値、【 】内は工場設定値です。

自己診断 (<1> DIAG.)

メンテナンスカウンター値、各種パラメーター設定値の印刷、自己診断モード、ヘッド断線チェックを行うことができます。



自己診断結果の印刷中にエラーが発生した場合は、エラーメッセージを表示して印刷を停止します。また、[PAUSE] を押してエラーを解除すると、システムモードメニューの表示に戻りますが、エラー復帰後の自動的な再印刷は行いません。

1. 印刷方式選択 (【TRANSFR (熱転写方式)】、DIRECT (感熱方式))
自己診断の印刷方式を熱転写方式とするか感熱方式にするかを指定します。
2. 印刷タイプ設定 (【[S] NO CUT (連続印刷)】、[C] WITH CUT (カット印刷))
自己診断の印刷タイプを連続印刷とするかカット印刷にするかを指定します。カット印刷はカッターモジュール装着時のみ有効となります。
3. 診断種類 (【MAINTENANCE CONT (メンテナンスカウンター、各種パラメーター印刷)】、AUTO DIAGNOSTIC (自己診断モード)、HEAD CHECK (ヘッド断線チェック))
診断種類を指定します。
 - メンテナンスカウンター・各種パラメーター印刷
以下の項目を印刷します。

<メンテナンスカウンター>

- | | | |
|--------------------|---------------------|---------------|
| － 総ラベル走行距離 (クリア不可) | － カット回数 | － システムエラー発生回数 |
| － ラベル走行距離 | － リボンモーター駆動時間 | － 瞬時停電発生回数 |
| － 印刷距離 | － RS-232Cハードエラー発生回数 | |

<各種パラメータ>

- | | | |
|--|--------------------------|--------------------|
| － フィード量微調値 (PC設定／プリンター設定) | － データ長 | － MaxiCode仕様設定 |
| － カット (ハクリ) 位置微調値 (PC設定／プリンター設定) | － ストップビット長 | － キーボードI/F設定 |
| － バックフィード量微調値 (PC設定／プリンター設定) | － パリティ | － オートキャリブレーション設定 |
| － 印刷濃度微調値 [感熱] (PC設定／プリンター設定) | － 伝送制御方式 | － LAN有効／無効設定 |
| － 印刷濃度微調値 [熱転写] (PC設定／プリンター設定) | － メッセージ表示言語 | － 各種IPアドレス設定 |
| － リボンモーター駆動電圧微調 [巻き取り側] (PC設定／プリンター設定) | － 自動正転待機 | － MACアドレス |
| － リボンモーター駆動電圧微調 [バックテンション側] (PC設定／プリンター設定) | － 制御コード種別 | － 登録エリア設定 |
| － X方向座標微調値 | － ハクリ待ちステータス | － ソケット通信設定 |
| － 反射センサー手動スレッション微調 | － [FEED] キー機能 | － ペーシックインタプリタ設定 |
| － 透過センサー手動スレッション微調 | － 漢字特殊コード種別 | － DHCP設定 |
| － 文字コード種別 | － Euroフォントコード設定値 | － RFIDモジュール設定 |
| － キャラクター「0」の字体 | － 自動断線チェック設定 | － RFIDエラータグ検出設定 |
| － 通信速度 (RS-232C) | － セントロACK/BUSYタイミング設定 | － RFID印刷リトライ回数設定 |
| | － WEBプリンター機能設定 | － RFID読み取りリトライ回数設定 |
| | － nInit 信号 ON 時のリセット切り換え | － RFID読み取りリトライ時間設定 |
| | － リボンニアエンド設定 | － RFID書き込みリトライ回数設定 |
| | － 拡張I/O動作モード設定 | － RFID書き込みリトライ時間設定 |
| | － プラグ&プレイ設定 | － RFID調整リトライ設定 |
| | － ラベルエンド／リボンエンド処理設定 | － ハクリモータートルク設定 |
| | － プレハクリ処理設定 | － リアルタイムクロックチェック |
| | － バックフィード速度設定 | － リアルタイムクロック初期エリア |
| | | － 印加エネルギーテーブル設定 |
| | | － カット速度設定 |

印刷例を以下に示します。

```

TOTAL FEED  1.1km                [JA]
FEED        1.1km
PRINT       0.5km
CUT         96
RIBBON      3h
232C ERR    255
SYSTEM ERR  0
POWER FAIL  0
[PC]
FEED        +2.0mm
CUT         +0.0mm
BACK        +0.0mm
TONE(T)     +0step
TONE(D)     +0step
RBN(FW)     -10
RBN(BK)     +0
X ADJ.      +0.0mm
THRESHOLD(R) 1.0V
THRESHOLD(T) 1.4V
FONT        [PC-850] [0]
SPEED       [9600]
DATA LENG.  [8]
STOP BIT    [1]
PARITY      [EVEN]
CONTROL     [XON+READY AUTO]
MESSAGE     [JAPANESE]
FORWARD WAIT [OFF]
CODE        [AUTO]
PEEL OFF STATUS [ON]
FEED KEY    [FEED]
KANJI       [TYPE1]
EURO CODE   [B0]
AUTO HD CHK [OFF]
ACK/BUSY    [TYPE1]
WEB PRINTER [OFF]
INPUT PRIME [OFF]
RIBBON NEAR END [OFF]
EX.I/O MODE [TYPE1]
PLUG & PLAY [OFF]
LBL/RBN END [TYPE1]
PRE PEEL OFF [OFF]
BACK SPEED  [STD]
MAXI CODE SPEC. [TYPE1]
KB I/F      [OFF]
AUTO CALIB. [OFF]
LAN         [ON]
PRTR IP ADDRESS [192.168.010.020]
GATE IP ADDRESS [000.000.000.000]
SUBNET MASK  [255.255.255.000]
MAC ADDRESS  [00-80-91-34-00-CC]
TTF AREA    [640KB]
EXT CHR AREA [128KB]
BASIC AREA  [ 64KB]
PC SAVE AREA [ 64KB]
SOCKET PORT [OFF] [08000]
BASIC       [OFF]
BASIC TRACE [OFF]
DHCP        [OFF]
DHCP ID     [FFFFFFFFFFFFFFFFFFFF]
           [FFFFFFFFFFFFFF]
DHCP HOST NAME [          ]
RFID MODULE   [NONE]
RFID ERR CHECK [OFF]
RFID RETRY    [ 3]
RFID RD CYCLE [ 5] [2.0sec]
RFID WT CYCLE [ 5] [2.0sec]
RFID ADJ RETRY [+00mm]
PEEL OFF TRQ  [R0]
RTC BATT. CHK [ON]
RTC RENEWAL   [PAGE]
TONE TABLE   [TYPE1]
ISSUE CTRL MODE [1] SNS [CMD] PRT [CMD]
SPD [CMD] CUT [CMD] ROT [CMD] STS [OFF]
CUT MODE      [TYPE1]

```

- 自動自己診断
以下の項目を診断し、印刷します。

<メモリーチェック>

- | | | |
|------------------------------------|---------------------|--------------|
| － プログラムエリア（機種・作成日・バージョン・図番・チェックサム） | － フォントエリアチェックサム | － EEPROMチェック |
| － ブートエリア（機種・作成日・バージョン・チェックサム） | － ビットマップ漢字ROMチェックサム | － RAMチェック |

<センサーチェック>

- | | | |
|--------------------|---------------------------|------------------|
| － サーマルヘッドオープンセンサー | － センサーリボンバックテンションモーターセンサー | － 透過センサー |
| － フロントパネルオープンセンサー | － ハクリセンサー | － 反射センサー |
| － カッターホームポジションセンサー | － 外気温センサー | － 紙なしレベル設定値 |
| － リボン巻き取りモーター | － サーマルヘッド温度センサー | － 手動スレッシュホールド設定値 |
| | | － サーマルヘッド抵抗ランク |

<各種チェック>

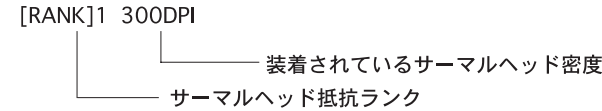
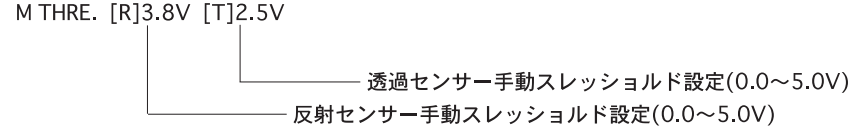
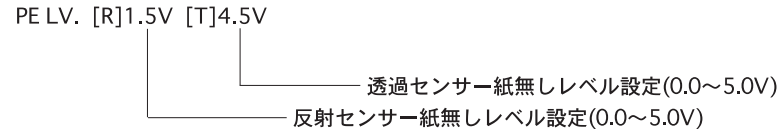
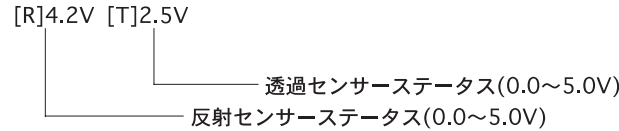
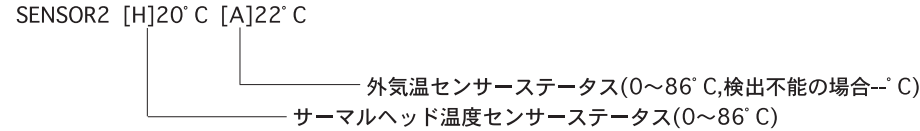
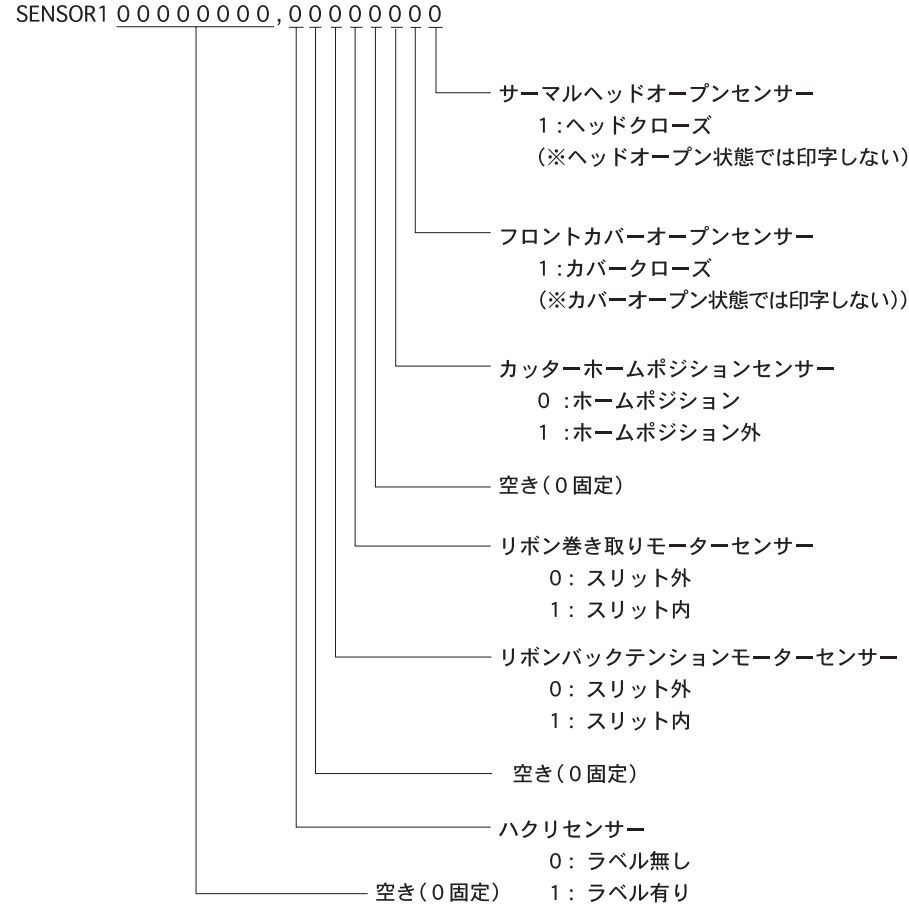
- | | |
|-------------------------|-----------------|
| － 拡張I/Oループバックチェック | － SIOループバックチェック |
| － 内部シリアル I/F ループバックチェック | － ハクリセンサーチェック |
| | － RFIDモジュールチェック |

印刷例を以下に示します。

```

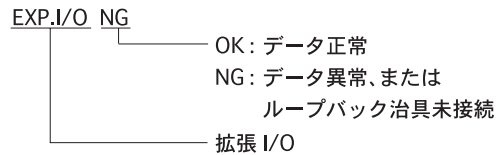
PROGRAM PR-T500M3 7FM00226000
  MAIN 15OCT2005 V1.0A:1A00
  BOOT 20SEP2005 V1.0 :8500
FONT      5600
KANJI     NONE      :0000
           NONE      :0000
EEPROM     OK
SDRAM     16MB
SENSOR1   00000000,00000111
SENSOR2   [H]23 C [A]22 C
           [R]4.2V [T]2.5V
PE LV.    [R]1.8V [T]4.5V
M THRE.    [R]0.0V [T]0.0V
           [RANK]1 300DPI
EXP.I/O    NG
EX.232C    NG
SIO        NG
STRIP      NG
RFID       NG
  
```


センサーチェックの内容

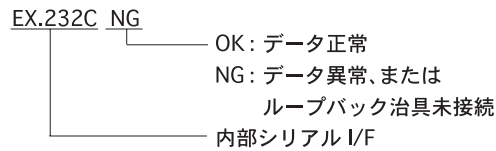


抵抗ランク	平均抵抗値 (Ω)
0	1 1 0 0 ~ 1 1 1 6
1	1 1 1 7 ~ 1 1 3 3

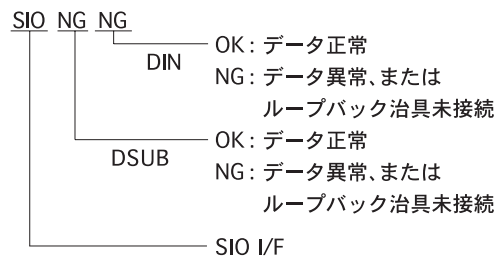
拡張I/Oチェックの内容



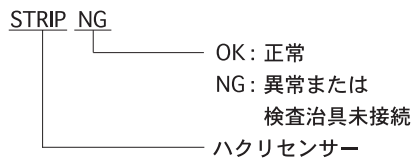
内部シリアルインターフェースチェックの内容



シリアルI/Oインターフェースチェックの内容



ハクリセンサーチェックの内容



- ヘッド断線チェック

プリンター内部のサーマルヘッドの結線を診断します。診断の結果はメニューを実行した後にディスプレイに表示されます。

< 1 > D I A G .	V 1 . 0 A
N O R M A L	E N D

正常

< 1 > D I A G .	V 1 . 0 A
H E A D	E R R O R

異常あり

異常が見つかった場合は、サーマルヘッド（消耗品）を別途購入して交換してください。サーマルヘッドの型番や交換手順についてはユーザーズマニュアルで説明しています。

パラメータ設定機能 (<2> PARAMETER SET)

本プリンターの各種パラメーターの設定をします。このメニューはメニューモードからもアクセスすることができます。

重要

ここで説明するメニュー内の一部の機能はお客様で設定を変更することはできません。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

1. 文字コード切り換え (【PC-850】、PC-852、PC-857、PC-8、PC-851、PC-855、PC1250、PC1251、PC1252、PC1253、PC1254、PC1257、LATIN9、Arabic、PC-866・UTF-8)

重要

このメニューはお客様で設定を変更することはできません。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

2. 0 の字体切り換え (【0 (スラッシュ無し)】、0 (スラッシュ有り))

重要

このメニューはお客様で設定を変更することはできません。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

3. RS-232C 通信速度切り換え (【9600bps】、19200bps、38400bps、115200bps、2400bps、4800bps)

重要

このメニューはお客様で設定を変更することはできません。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

4. RS-232C データ長切り換え (【8 ビット】、7 ビット)

重要

このメニューはお客様で設定を変更することはできません。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

5. RS-232C ストップビット長切り換え (【1 ビット】、2 ビット)

重要

このメニューはお客様で設定を変更することはできません。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

6. RS-232C パリティ切り換え (【EVEN】、ODD、NONE (無し))

重要

このメニューはお客様で設定を変更することはできません。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

7. RS-232C 伝送制御方式切り換え（【XON/XOFF AUTO (XON/XOFF 方式)】、XON+READY AUTO (XON/XOFF+READY/BUSY (DTR) 方式)、READY/BUSY (READY/BUSY (DTR) 方式)、XON/XOFF (XON/XOFF 方式)、READY/BUSY RTS (READY/BUSY (RTS) 方式)）

重要

このメニューはお客様で設定を変更することはできません。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

8. LCD 表示メッセージ言語切り換え（【JAPANESE (日本語)】、ITALIAN (イタリア語)、ENGLISH (英語)、GERMAN (ドイツ語)、FRENCH (フランス語)、DUTCH (オランダ語)、SPANISH (スペイン語)）

重要

このメニューはお客様で設定を変更することはできません。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

9. 自動正転待機切り換え（【OFF (正転待機無し)】、ON (正転待機有り)）

自動正転待機機能を切り替えます。

「自動正転待機機能」とは、ジョブの最終ラベルを印刷終了後、1秒間経っても次のコマンドを受信しない時に自動で約14mm (装置カッター部まで) の正転フィードを行う機能です。これにより用紙を手動でカットしたりラベルをはがしたりすることができるようになります。

MultiCoder 500M3MC/500M3PCは [ON] が初期値です。

10. 正転待機時の停止位置調整値 (-5.0mm ~ 【+0.0mm】 ~ 5.0mm)

正転待機停止位置を調整します。自動正転待機切り換えが「ON」の場合のみ表示します。値は「0.1mm」単位で設定できます。

11. 制御コード切り換え（【AUTO (自動切り換え)】、ESC LF NUL ([ESC] ~ [LF][NUL] モード)、{ | } ({ ~ |} モード)、MANUAL (制御コード指定モード)）

重要

このメニューはお客様で設定を変更することはできません。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

12. 制御コード 1 (00h ~ 【1Bh】 ~ FFh) /2 (00h ~ 【0Ah】 ~ FFh) /3 (【00h】 ~ FFh)

重要

このメニューはお客様で設定を変更することはできません。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

13. ハクリ待ちステータス切り換え（【OFF (切り換え無し)】、ON (切り換え有り)）

重要

このメニューはお客様で設定を変更することはできません。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

14. [FEED] スイッチ機能設定（【FEED (1枚送り)】、PRINT (イメージバッファ内容を1枚印刷)）

[FEED] スイッチの機能を切り替えます。押すと用紙を送るか、プリンター内にある印刷データを1枚分印刷するかを指定できます。

15. 漢字特殊コードの切り換え (【TYPE1】、TYPE2)



このメニューはお客様で設定を変更することはできません。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

16. Euro フォントコードの設定 (20h ~ 【B0h】 ~ FFh)



このメニューはお客様で設定を変更することはできません。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

17. 自動断線チェック設定 (【OFF (自動断線チェック無し)】、ON (自動断線チェック有り))

電源ON時に自動で断線チェックをするかどうかを指定します。異常を検出するとディスプレイに“サーマルヘッドエラー”と表示します。

18. セントロ ACK/BUSY タイミング設定 (【TYPE1】、TYPE2)

ACK/BUSY信号のタイミングを切り換えます。TYPE1ではACK信号がローからハイになったところでBUSY信号をハイからローとするのに対し、TYPE2ではACK信号がハイからローになったときにBUSY信号もハイからローにします。

19. WEB プリンター機能設定 (【OFF (WEB プリンター機能無し)】、ON (WEB プリンター機能有り))



このメニューはお客様で設定を変更することはできません。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

20. nInit 信号 ON 時のリセット処理切り換え (【OFF (リセット処理無し)】、ON (リセット処理有り))

nInit信号 (インプットプライム) がONになったときにプリンターをリセットするかどうかを設定します。

21. リボンニアエンド検出設定 (70m (残り70m でリボンニアエンド)、30m (残り30m でリボンニアエンド)、【OFF (リボンニアエンドの検出無し)】)

リボン切れが近いことを表示する目安として残り何mで検出するかを設定します。リボンニアエンドが検出されると、ERRORランプが点滅します。検出には若干の誤差が生じるため、設定値は目安にしてください。

22. 拡張 I/O 動作モード設定 (【TYPE1】、TYPE2)



このメニューはお客様で設定を変更することはできません。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

23. プラグ&プレイ動作設定 (【OFF (プラグ&プレイ動作無し)】、ON (プラグ&プレイ動作有り))

プラグ・アンド・プレイ動作の有無を切り換えます。この設定はパラレルインターフェースでのプラグ・アンド・プレイのための設定項目で、USBインターフェースに接続した場合は、この設定に関係なくプラグ・アンド・プレイの機能が起動します。

24. ラベルエンド／リボンエラー処理設定（【TYPE1（ラベルエンド／リボンエラー検出時、印刷途中で停止）】、TYPE2（ラベルエンド／リボンエラー検出時、可能な限り印刷終了後に停止））

ラベルエンドおよびリボンエラーが起きたときの処理方法を指定します。

- TYPE1
ラベルエンドまたはリボンエラー検出時は、印刷途中で即座にエラーを表示して印刷動作を停止します。
[RESTRAT] を押すと初期フィードを行った後、エラーを起こしたラベルの印刷から再開します。
- TYPE2
ラベルエンドを検出した時はその1枚を最後まで印刷し、ホームポジションで“カミガアリマセン*****^{*1}”を表示してエラーとなります。
[RESTRAT] を押すと初期フィード後、エラーが起きたときの次のラベルから印刷します。ただし最終枚目でラベルエンドとなった場合は、[RESTRAT] を押すと初期フィードのみを行います。



＜リボンエラーの検出について＞

- 残りのラベル長が30mm以上の場合、20mm印刷してエラー停止します。停止時は、“リボンエラー*****”を表示します。
[RESTRAT] を押すと初期フィード後、エラー対象の次のラベルから印刷します。ただし最終枚目でリボンエラーになった場合は、[RESTRAT] を押すと初期フィードのみを行います。
- 残りのラベル長が30mm未満の場合、その1枚は最後まで印刷し、ホームポジションでエラー停止します。停止時は、“リボンエラー*****”を表示します。
[RESTRAT] を押すと初期フィード後、エラー対象の次のラベルから印刷します。ただし最終枚目でリボンエラーになった場合は、[RESTRAT] を押すと初期フィードのみを行います。

25. プレハクリ処理設定（【OFF（プレハクリ動作無し）】、ON（プレハクリ動作有り））

プレハクリを行うかどうかを切り換えます。「プレハクリ」は、印刷またはフィード動作前にラベル紙の先端を台紙からはがす動作のことで、ハクリモジュールを装着した場合にのみ有効となります。プレハクリの調整方法についてはユーザーズマニュアルの5章で詳しく説明しています。

26. プレハクリ距離設定（-2.5mm ～ 【0.0mm】 ～ +9.9mm）

プレハクリをする距離を設定します。プレハクリ処理を「ON」にした場合にのみ表示されます。また、ハクリモジュールを装着した場合にのみ有効となります。プレハクリの調整方法についてはユーザーズマニュアルの5章で詳しく説明しています。

パラメーターを設定後、[FEED] でテストを実行し、[RESTART] でパラメーターの設定に戻ります。

27. バックフィード速度設定（【STD（3 インチ / 秒）】、LOW（2 インチ / 秒））

バックフィード速度を切り換えます。

カット印刷／ハクリ印刷時に印刷汚れが発生した場合は、バックフィード速度を「LOW（2インチ/秒）」にすることにより改善される場合があります。



＜バックフィード速度について＞

カット速度設定（[項32.](#)）を高速モードに設定し、直接感熱方式で印刷すると、バックフィード速度設定に関わらず、バックフィードの速度は4インチ/秒に固定されます。

カット速度設定	印刷方式	
	直接感熱方式	熱転写方式
TYPE 1（標準モード）	バックフィード速度の設定で動作します。	バックフィード速度の設定で動作します。
TYPE 2（高速モード）	バックフィード速度の設定を無視します（4インチ/秒に固定）。	バックフィード速度の設定で動作します。

*1 “*****” は残り枚数を表します。残り枚数表示は、[指定枚数] － [エラー停止時の印刷終了枚数（エラー発生時のラベルを含む）] または最終枚目でラベルエンドとなった場合はスペースを表示します。

28. MaxiCode 仕様設定 (【TYPE1】、TYPE2)



このメニューはお客様で設定を変更することはできません。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

29. KB I/F 設定 (【OFF】、KB60 (1)、KB60 (2)、KB80)



このメニューはお客様で設定を変更することはできません。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

30. ハクリモータートルク設定 (【R0】、R1、R2、R3)

ハクリモーターのトルクの強弱を設定します。トルクの設定はR0・R1・R2・R3の4段階の設定ができます。数字が高くなるにつれてトルクが高くなります。

R0：通常用の紙（コート紙や一般感熱紙）

R1：お客様特殊の用紙（R0より粘着力が高い用紙）

R2：お客様特殊の用紙（R1より粘着力が高い用紙）

R3：PET系の用紙

モータートルクの設定手順についてはユーザーズマニュアルの5章で詳しく説明しています。

31. 印加エネルギーテーブル設定 (【TYPE1】、TYPE2)



このメニューはお客様で設定を変更することはできません。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

32. カット速度設定 (【TYPE1】、TYPE2)

TYPE1：標準モード

TYPE2：高速モード

微調値設定機能 (<3> ADJUST SET)

各種微調値の設定を行うメニューです。このメニューはメニューモードからもアクセスすることができます。

スイッチ操作による各微調値は、プリンタードライバーの印刷設定ダイアログボックスやプロパティダイアログボックスからの各微調値に加算されます。

各微調値の最大値は以下のとおりです。

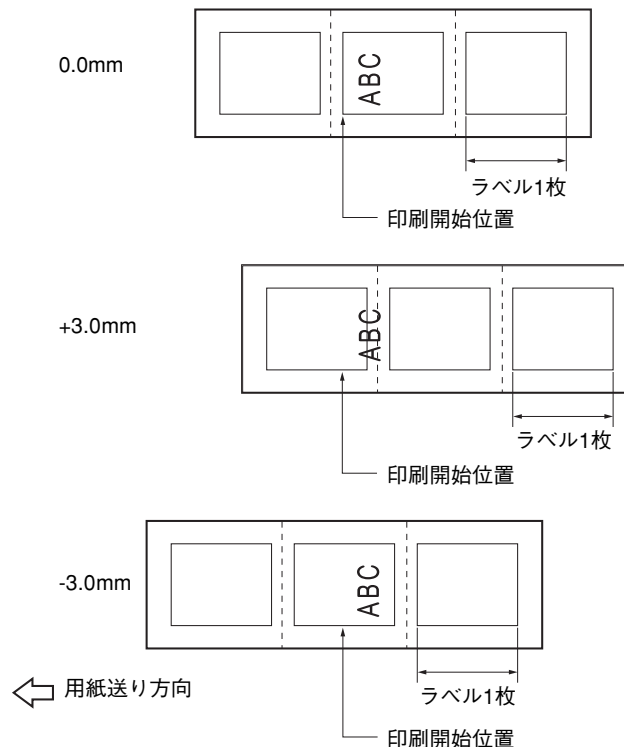
- フィード量微調値：±50.0mm
- カット（またはハクリ）位置微調値：±50.0mm
- バックフィード量微調値：±9.9mm
- 印刷濃度微調値（熱転写および感熱）：±10（ステップ）
- X方向座標微調値：±99.9mm
- リボンモーター駆動電圧微調値（巻き取り側）：－15～＋2（ステップ）
- リボンモーター駆動電圧微調値（バックテンション側）：－15～＋10（ステップ）
- 反射センサー手動スレッシュホールド微調値：0.0～4.0V
- 透過センサー手動スレッシュホールド微調値：0.0～4.0V

1. フィード量微調（-50mm ～ 【0.0mm】 ～ +50mm）



カット印刷／ハクリ印刷時は設定可能な微調量が制限されるため、設定値どおりの位置決めができない場合があります。十分な試し印刷をした上でご利用ください。

フィード量を微調します。微調方向は以下の図のとおりです。

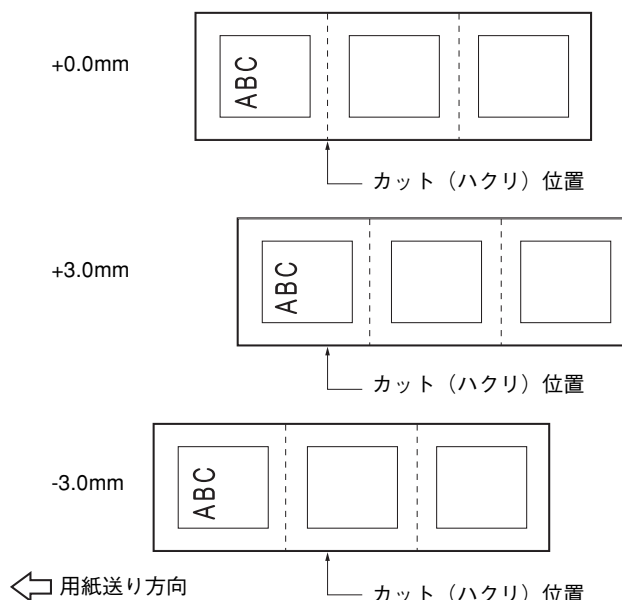


2. カット（ハクリ）位置微調（-50mm ～ 【0.0mm】 ～ +50mm）



カット印刷／ハクリ印刷時は設定可能な微調量が制限されるため、設定値どおりの位置決めができない場合があります。十分な試し印刷をした上でご利用ください。

カット位置（ハクリ位置）を微調します。微調方向は以下の図のとおりです。



<カッター使用時の22.0mm以下のラベル対応>

通常使用状態において、カット印刷可能なラベルの最小ラベルピッチは22.0mmです。

22.0mm以下のラベル（規格外のサイズ）を使用した場合、ラベル間のギャップ部分をカットした後、ホームポジションまでバックフィードする際、ラベルのエッジ部分がサーマルヘッドのエッジに引っ掛かり、正規のホームポジションまでバックフィードできないことがあります。この場合、カット位置微調値を調整することでこの問題を回避することができます。



この方法を用いるとヘッドとカッター間に印刷済みラベルが1枚以上取り残されることになるため、ラベル印刷またはフィードにより、ヘッドとカッター間に残っているラベルを取り出すようにしてください。

ー カット位置微調値算出方法

以下の計算式によりカット位置微調値を算出することができます。ただし、この微調値を使用しても正規のホームポジションまで逆転フィードできない場合は、任意の微調値で調整してください。

$$\begin{aligned} \text{カット位置微調値} &= (\text{ヘッドとカッターの間に残っている枚数}) \times (\text{ラベルピッチ}) \\ &= \left(\frac{22.0\text{mm}}{\text{ラベルピッチ}} \right)^* \times (\text{ラベルピッチ}) \end{aligned}$$

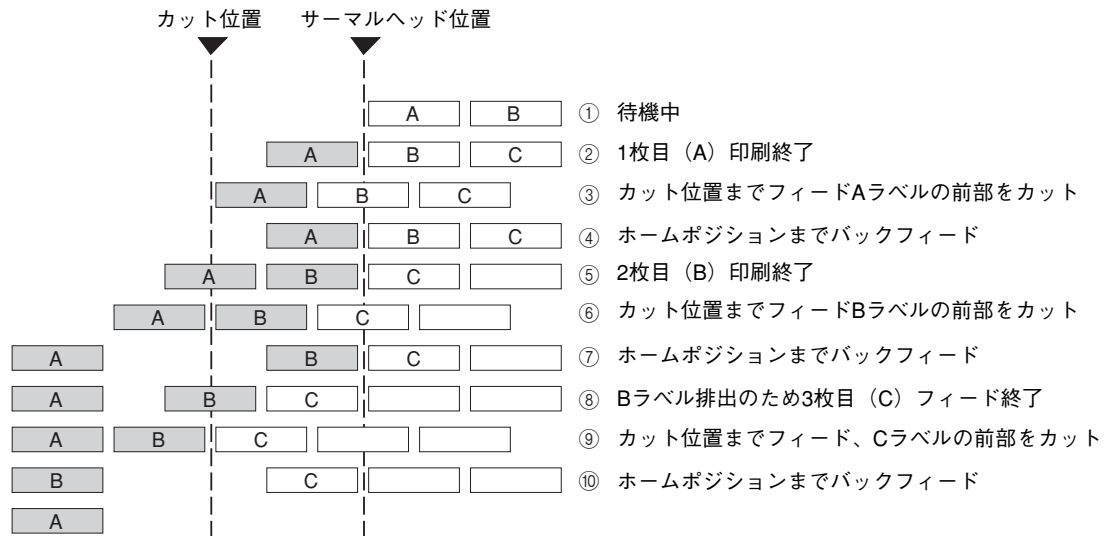
* 除算結果は小数点切り捨て

（例）ラベルピッチ＝20.0mmの場合

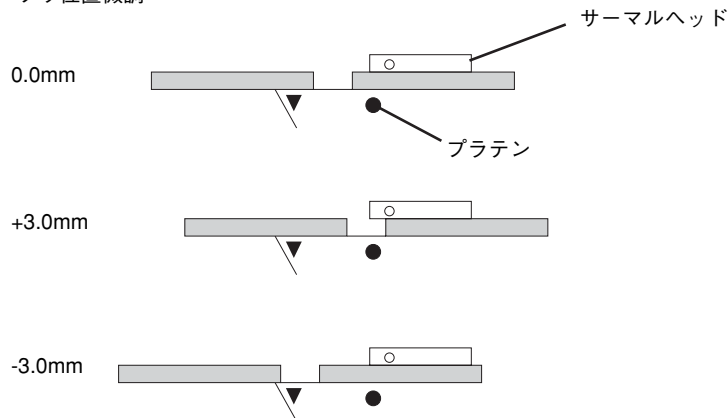
$$\text{カット位置微調値} = \left(\frac{22.0\text{mm}}{20.0\text{mm}} \right) \times (20.0\text{mm}) = 1 \times 20.0\text{mm} = +20.0\text{mm}$$

ー 動作例

2枚印刷、カットマルチ=1の場合

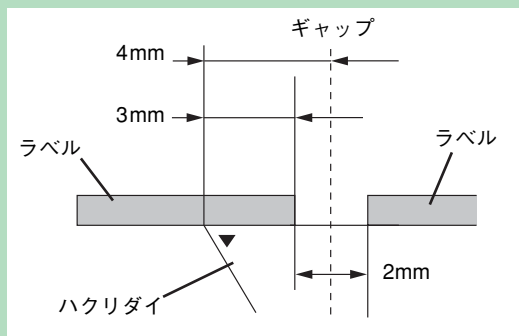


ハクリ位置微調



✓ チェック

- ハクリ印刷時の印刷停止位置は、ラベル間ギャップの中心からハクリダイ先端までの距離が、4mmになるように停止します。これは、ラベル間ギャップ2mmを想定して設計しているためです。
- ラベル間ギャップが大きい場合など、停止位置が適切でないときは、ハクリ位置微調で印刷停止位置を変更してください。

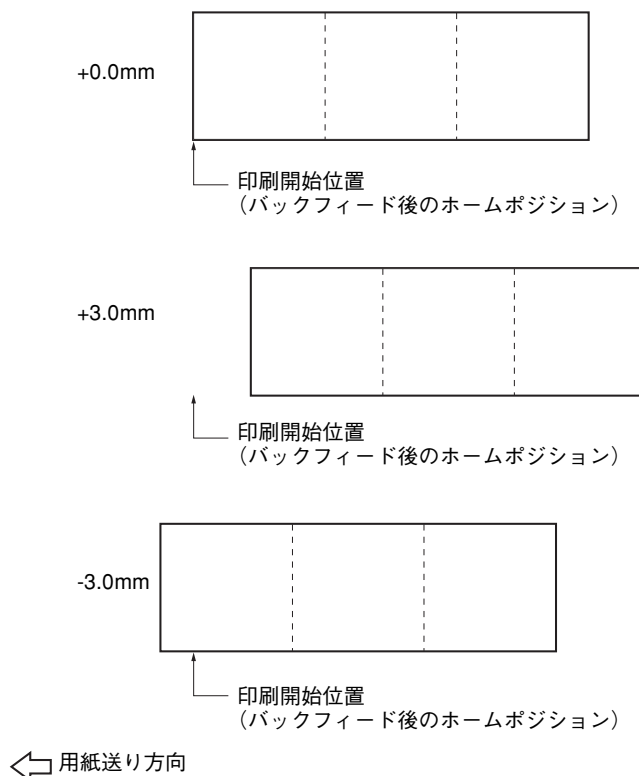


3. バックフィード量微調 (-9.9mm ~ 【0.0mm】 ~ +9.9mm)



カット印刷／ハクリ印刷時は設定可能な微調量が制限されるため、設定値どおりの位置決めができない場合があります。十分な試し印刷をした上でご利用ください。

バックフィード量を微調します。微調方向は以下の図のとおりです。



バックフィード動作時は、条件によって正転した距離と同じ距離だけバックフィードしても、元の位置まで戻らない場合があります。

用紙検出センサーを使用して印刷する場合、サーマルヘッドと用紙センサー間の距離 (67.9mm) とほぼ同じサイズのラベルピッチ (またはタグピッチ) の用紙を使用してバックフィードを伴う動作 (カット印刷、ハクリ印刷、自動正転待機) をする場合、バックフィードして元の位置まで戻らないことによるエラーが発生することがあるため、+方向 (バックフィード量を多くする) のバックフィード量でエラーを起こさないよう微調整してください。

4. X方向座標微調 (-99.9mm ~ 【0.0mm】 ~ +99.9mm)

横方向位置を微調します。微調整は用紙の印刷幅の範囲内で行ってください (マイナス方向に微調を行って座標0に到達したフィールドは、それ以上マイナス方向に調整しても0のままとなります)。



自己診断結果印刷およびテスト印刷のときは、X方向座標の微調値は無視されます。

5. 印刷濃度微調 (熱転写／感熱) (-10 ~ 【0】 ~ +10)

印刷濃度を調整します。熱転写と感熱を別々に設定できます。値は1ステップ単位で変更できます。

6. リボンモーター駆動電圧微調 (巻き取り側 (-15 ~ 【0】 ~ +2) / バックテンション側 (-15 ~ 【0】 ~ +10))

リボンモーターの駆動電圧を微調します。設定は巻き取り側とバックテンション側を個別に設定することができます。1ステップあたり5%の電圧値の増減をします。

7. 反射センサー手動スレッシュホールド微調 (0.0V ~ 【1.0V】 ~ 4.0V)

反射センサーの手動スレッシュホールド値を微調します。0.0Vに設定しても、電源OFF/ONの操作の際に初期値の1.0Vに補正されます。

8. 透過センサー手動スレッシュホールド微調 (0.0V ~ 【1.4V】 ~ 4.0V)

透過センサーの手動スレッシュホールド値を微調します。0.0Vに設定しても、電源OFF/ONの操作の際に初期値の1.4Vに補正されます。

テスト印刷機能 (<4> TEST PRINT)

本プリンターでさまざまなテスト印刷を行えるメニューです。

このメニューで提供する機能について説明します。操作の具体的な説明についてはユーザーズマニュアルの1章に記載されています。

重要

このメニュー内の一部の機能はお客様で設定を変更することはできません。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

チェック

- X方向座標微調を除く各種微調パラメーターは、テスト印刷でも有効です。
- テスト印刷中にエラーが発生した場合は、エラーメッセージを表示して印刷を停止します。また、[PAUSE] を押してエラーを解除すると、システムモードメニューの表示に戻りますが、エラー復帰後の自動的な再印刷はしません。
- メニュー選択またはパラメーター設定後に、[PAUSE] を押すことでパラメーターは有効となり、電源をOFFにするまでパラメーターの設定内容を保持します。

1. テスト印刷モード選択 (【PRINT CONDITION (テスト印刷条件パラメーター設定)】、SLANT LINE (1DOT) (斜線 1 ドット印刷)、SLANT LINE (3DOT) (斜線 3 ドット印刷)、CHARACTERS (キャラクター印刷)、BARCODE (バーコード印刷)、NON-PRINTING (白紙印刷))

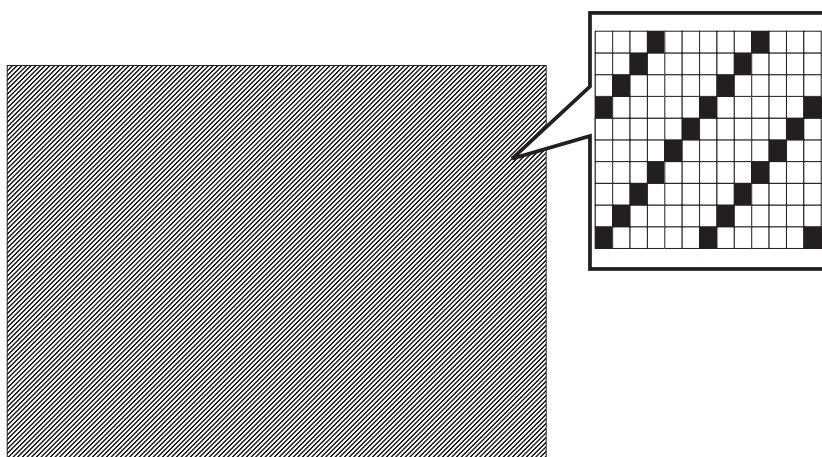
テスト印刷モードを選択します。

PRINT CONDITIONは印刷枚数などの条件を設定するメニューで、その他のパラメーターはテストパターンです。テストパターンを選択すると、PRINT CONDITIONで設定した条件でテスト印刷を行います。テスト印刷をする前には必ずPRINT CONDITIONでテスト印刷のパラメータ設定を確認・変更してください。

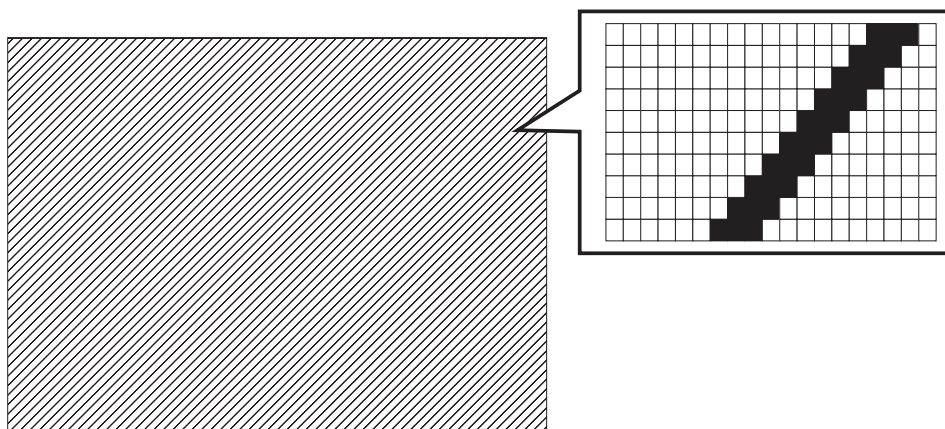
重要

FACTRY TEST、およびAUTO PRINT (TRAN)、AUTO PRINT (REFL) は実行しないでください。

各テスト印刷モードの印刷結果を以下に示します。



<テスト印刷結果例：斜線印刷1ドット>



<テスト印刷結果例：斜線印刷3ドット>



<テスト印刷結果例：キャラクター印刷>



<テスト印刷結果例：バーコード印刷>

2. 枚数設定 (【1 枚】、3 枚、5 枚、10 枚、50 枚、100 枚、500 枚、1000 枚、5000 枚)

PRINT CONDITIONを選択したときに表示される印刷条件設定用のパラメーターです (以降のパラメーターも同じです)。テスト印刷の印刷枚数を指定します。

3. 印刷速度 (2 インチ / 秒、【4 インチ / 秒】、6 インチ / 秒)

テスト印刷の印刷速度を指定します。

4. センサー指定 (NONE (位置検出無し)、REFLECT. (反射センサー)、【TRANS. (透過センサー)】)
テスト印刷のセンサータイプを指定します。透過センサーを指定した場合、ラベル間ギャップは3mmとなります。
5. 印刷方式 (【TRANSFR (熱転写方式)】、DIRECT (感熱方式))
テスト印刷の印刷方式を指定します。



リボンを装着していない状態で熱転写方式を選択すると“リボンエラー”を起こしてテスト印刷ができません。

6. 印刷タイプ (【[S] NO CUT (連続印刷)】、[C] WITH CUT (カット印刷)、[H] PEEL OFF (ハクリ印刷))
テスト印刷の印刷タイプを指定します。



カット印刷はオプションのカッターモジュールが、ハクリ印刷はオプションのハクリモジュールが装着されている場合に指定してください。

7. ラベルサイズ (5mm ~ 【76mm】 ~ 999mm)
テスト印刷のラベル長を指定します。



イメージバッファ長より大きなラベルサイズは指定できません。イメージバッファ長より大きな値を指定した場合は、イメージバッファ長分を印刷して停止するか、エラーが発生して停止します。

8. 紙送りモード (【FEED (紙送りあり)】、NO FEED (紙送りなし))
紙送りするかどうかを指定します。紙送りありを選んで [PAUSE] を押すと、ラベルサイズで設定した長さ分の紙送り動作を行い、“PRINT CONDITION” のメニューに戻ります。用紙送りの動作を確認したら、テスト印刷パターンを選択してテスト印刷を行ってください。

センサー表示／調整機能 (<5> SENSOR ADJ.)

このメニューでは本プリンターに内蔵の各種センサーの状態を表示させたり、用紙検出センサーの用紙検出能力（電圧値）をお使いの用紙に適した設定したりすることができます。次に用紙検出センサーを調整する手順を示します。この手順はプリンターの電源がONにできる状態ならびに用紙がセットされた状態で行います。

① システムモードに入る。

手順の詳細については「[システムモードの入り方と終了方法](#)」（18ページ）を参照してください。

< 1 > D I A G . V 1 . 0 A

② [FEED] または [RESTART] のいずれかを数回押して、センサー表示／調整機能のメニューを表示させる。

FEED

または

RESTART

< 5 > S E N S O R A D J .

③ [PAUSE] を押す。

PAUSE

センサーを調整する項目が表示されます（最初にサーマルヘッドの温度センサー（H）と外気温センサー（A）による現在の温度が表示されます。

< 5 > S E N S O R A D J .
[H] 2 9 ° C [A] 2 9 ° C

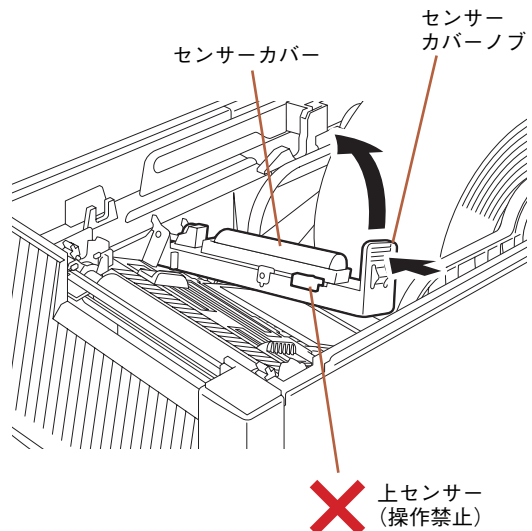
④ [PAUSE] を押す。

反射センサーの現在の電圧値が表示されます。

< 5 > S E N S O R A D J .
[R E F L E C T] 4 . 2 V

⑤ プリンター本体のトップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にする。

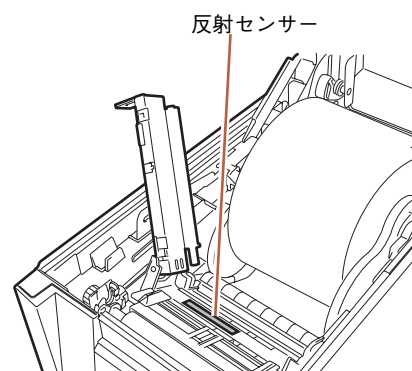
⑥ センサーカバーノブをつまみ、左に押しながらかき上げてセンサーカバーを左側に全開にする。



重要

センサーカバーを開いている間は上図に示す上センサーを動かさないでください。センサーを動かすことでセンサーケーブルがゆるみカバーを閉める際にケーブルを挟み故障の原因となります。

⑦ タグの白い部分が反射センサーの上側を遮るようにセットしてセンサーカバーを閉じる。



⑧ トップカバーを確実に閉じる。

- ⑨ [FEED] か [RESTART] のいずれかを 3 秒以上押し続ける。

反射センサーの調整を完了し、調整後の値とその右側に“*”を表示します。“*”を表示したら、スイッチから手を放してください。

```
< 5 > S E N S O R   A D J .
[ R E F L E C T ]      4 . 8 V *
```

“SENSOR ERROR（センサーエラー）”が表示された場合は、[PAUSE] を数回押して手順②の表示に戻してやり直してください。

- ⑩ [PAUSE] を押す。

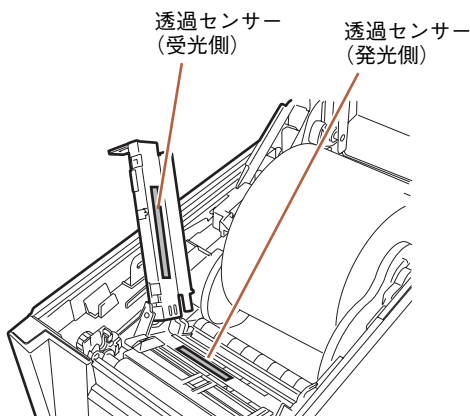
透過センサーの現在の電圧値が表示されます。

```
< 5 > S E N S O R   A D J .
[ T R A N S . ]      2 . 4 V
```

- ⑪ トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にした後、センサーカバーノブをつまみ、左に押しながら引き上げてセンサーカバーを左側に全開にする。

手順⑥の図と「重要」を併せて参照してください。

- ⑫ ラベルをはがした台紙が透過センサーを遮る位置にセットしてセンサーカバーを閉じる。



- ⑬ トップカバーを確実に閉じる。

- ⑭ [FEED]か[RESTART]のいずれかを3秒以上押し続ける。
透過センサーの調整を完了し、調整後の値とその右側に“*”を表示します。“*”を表示したら、スイッチから手を放してください。

```
< 5 > S E N S O R   A D J .
[ T R A N S . ]      4 . 1 V *
```

“SENSOR ERROR（センサーエラー）”が表示された場合は、[PAUSE] を数回押して手順⑩の表示に戻してやり直してください。

- ⑮ [PAUSE] を押す。

反射センサー（R）と透過センサー（T）の用紙なし（PE）での電圧値が表示されます。

```
< 5 > S E N S O R   A D J .
[ P E ] R 0 . 1 V   T 4 . 8 V
```

- ⑯ トップカバー開放ボタンを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にした後、センサー上にセットされている用紙を取り除く。

センサーカバーの取り扱いについては手順⑥の図と「重要」を併せて参照してください。

- ⑰ トップカバーを確実に閉じる。

- ⑱ [FEED]か[RESTART]のいずれかを3秒以上押し続ける。
反射センサーと透過センサーの調整を完了し、調整後の値とその右側に“*”を表示します。“*”を表示したら、スイッチから手を放してください。

- ⑲ [PAUSE] を押す。

センサー調整メニューの最初のメニューに戻ります。

```
< 5 > S E N S O R   A D J .
```

以上で調整は完了です。

RAMクリア機能 (<6> RAM CLEAR)

本プリンターに組み込まれているRAM（メモリー）のクリアなどをするメニューです。

重要

このメニューを操作しないでください。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

IPアドレス設定機能 (<7> IP ADDRESS)

本プリンターをネットワークプリンターとして使用するためのアドレス設定をするメニューです。

重要

パラレルインターフェース接続およびUSB インタフェース接続で運用する場合はネットワーク機能を無効にしておいてください。設定は [\[LAN設定機能 \(<7> LAN\)\] \(11ページ\)](#) で切り替えます。

1. IP アドレス設定 (000.000.000.000 ~ 【192.168.010.020】 ~ 255.255.255.255)

プリンターのIPアドレスを設定します。

チェック

ディスプレイにはカーソルは表示されません。

“IP ADDRESS” をディスプレイの1行目に表示しているところ (2行目は空白) で [PAUSE] を押すと現在設定されているIPアドレスを表示し、設定を変更できる状態となります。

現在のIPアドレスを表示した時点では、はじめの8ビットに対する設定を変更することができます。[FEED] または [RESTART] でパラメーターを変更してください。

<7> IP ADDRESS
192.168.010.020

PAUSE

で決定

はじめにこの8ビットに対する変更ができる

FEED

RESTART

で変更

パラメーターが確定したら、[PAUSE] を押すと1つ右の8ビットの設定を変更することができます。設定を変更する必要のない8ビット部については [FEED] または [RESTART] を押さずにもう一度 [PAUSE] を押すと1つ右の8ビットへ移動します。

<7> IP ADDRESS
010.168.010.020

PAUSE

で決定

1つ右の8ビットに移動する

FEED

RESTART

で変更

一番右の8ビットで [PAUSE] を押すと、ゲートウェイIPアドレスの設定へ切り替わります。

2. ゲートウェイアドレス設定 (【000.000.000.000】 ~ 255.255.255.255)

ゲートウェイアドレスを設定します。

[IPアドレス設定 \(000.000.000.000 ~ 【192.168.010.020】 ~ 255.255.255.255\)](#) と同じ操作で設定してください。

<7> IP ADDRESS
010.020.010.020

PAUSE

で決定

1つ右の8ビットに移動する

FEED

RESTART

で変更

3. サブネットマスク設定 (000.000.000.000 ~ 【255.255.255.0】 ~ 255.255.255.255)

サブネットマスクを設定します。

[IPアドレス設定 \(000.000.000.000 ~ 【192.168.010.020】 ~ 255.255.255.255\)](#) と同じ操作で設定してください。

<7> IP ADDRESS
010.020.010.152

1つ右の8ビットに移動する

FEED

RESTART

で変更

PAUSE

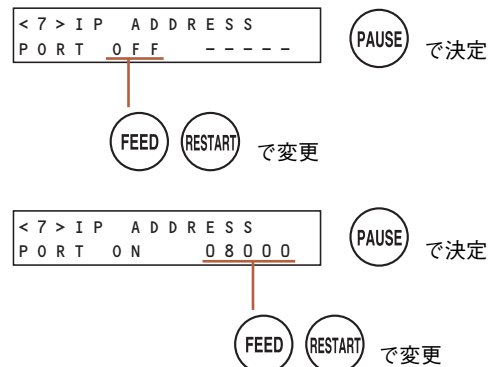
で決定すると、

<7> IP ADDRESS
GATEWAY IP ADRES

に切り替わる。

4. ソケットポート設定
 (ポートの有効/無効: OFF (無効)、【ON (有効)】)
 (ソケットポート番号: 00000 ~ 【08000】 ~ 65535)

ポートの有効/無効切り換えおよびソケットポート番号を設定します。ポートを有効 (ON) にして [PAUSE] を押すとポート番号の設定ができます。



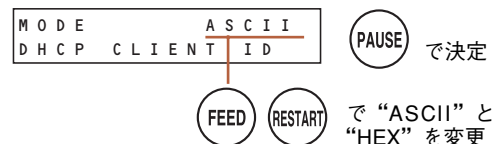
5. DHCP 設定 (【OFF (無効)】、ON (有効))
 DHCP設定の有効/無効を切り換えます。

6. DHCP クライアント ID 設定 (00h ~ 【FFh】)

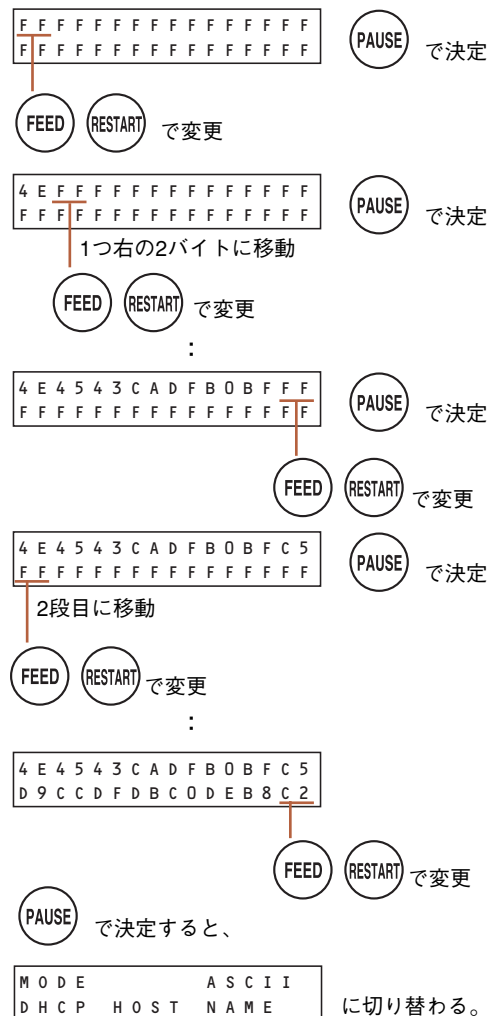
DHCPクライアントIDを設定します。DHCPクライアントIDはASCII (アスキー文字) とHEX (16進数文字) の選択ができます。ASCII入力の場合、各バイトのデータがASCII文字で表示されます。



ASCII入力では00h~1Fhは入力できません。



<HEX を選んだ場合の例>



7. DHCP ホスト名設定 (20h ~ 【FFh】)

DHCPホスト名を設定します。DHCPホスト名はASCII文字で入力します。入力の方法は[DHCPクライアントID設定 \(00h ~ 【FFh】\)](#)と同じ要領です。

BASIC機能 (<8> BASIC)

**重要**

このメニューを操作しないでください。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

工場機能 (<9> FOR FACTORY)

**重要**

このメニューを操作しないでください。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

RFID機能 (<10> RFID)

**重要**

このメニューを操作しないでください。設定を変更すると誤動作の原因となるため、初期値のままにしておいてください。

メモ

2章

プリンタードライバー

プリンタードライバーは、MultiCoder 500M3で印刷を行うために必要なソフトウェアです。ここでは以下について説明します。

- 印刷の手順 [48ページ](#)
- プリンタードライバーの選択 [50ページ](#)
- 印刷先の変更 [52ページ](#)
- 共有プリンターに設定する [59ページ](#)
- 印刷の詳細設定 [61ページ](#)
- ユーザー定義用紙サイズの登録 [79ページ](#)



本書では以下のWindowsオペレーティングシステム*¹に関する説明をしています。その他のオペレーティングシステム*¹については「<http://121ware.com>」を参照してください。

- Microsoft Windows Vista 日本語版
- Microsoft Windows XP 日本語版
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- Microsoft Windows 2000 日本語版

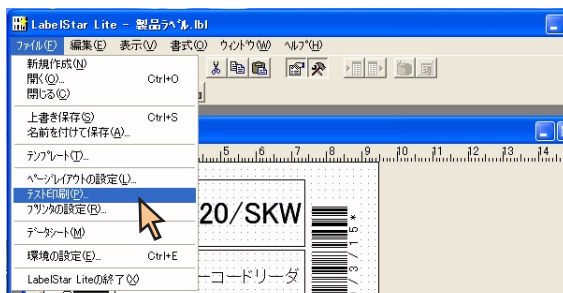
*¹ USB インターフェース接続において、OS のアップグレードの組み合わせによっては、正常に動作しない場合があります。また、PC-9821 シリーズのUSB インターフェース接続には対応していません。

印刷の手順

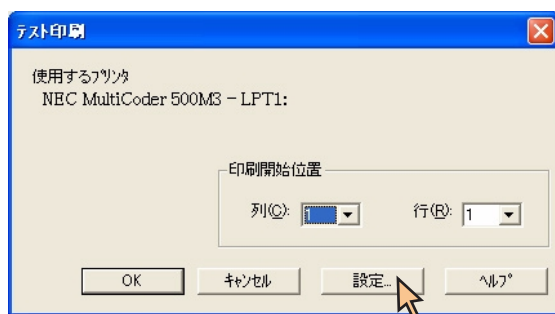
ここでは、Windows XPで本プリンターのプリンタソフトウェアCD-ROMに収録されている「LabelStar Lite」を使用した場合を例にとって印刷手順を説明します。LabelStar Liteの使い方についてはLabelStar Liteのマニュアルまたはヘルプを参照してください。また、お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれません。

- ① LabelStar Liteを起動して登録している帳票を選び、**[印刷]** をクリックする。

[印刷] ダイアログボックスが開きます。



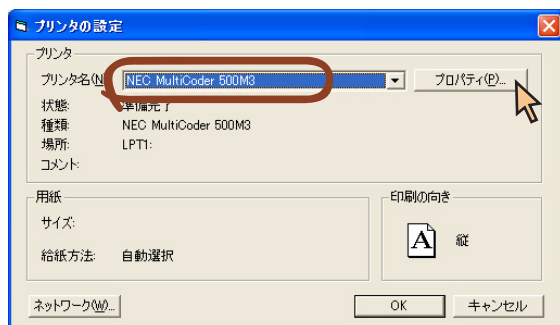
- ② **[設定]** をクリックする。



- ③ 使用するプリンター名として「NEC MultiCoder 500M3」が選択されていることを確認して**[プロパティ]**をクリックする。

もし選択されていなければ、選択し直します。プリンターを「通常使うプリンタ」として設定しておきたい場合は、[50ページ](#)の「プリンタードライバーの選択」を参照してください。

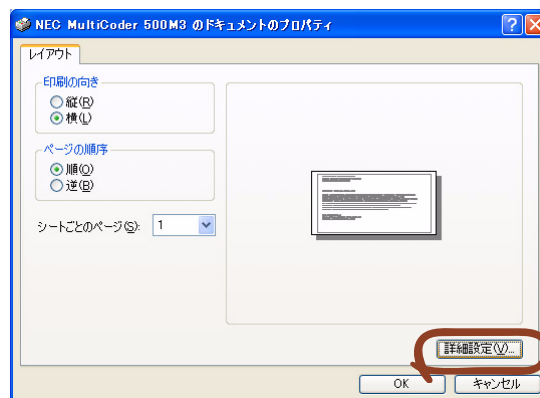
本プリンターのプロパティダイアログボックスが表示されます。



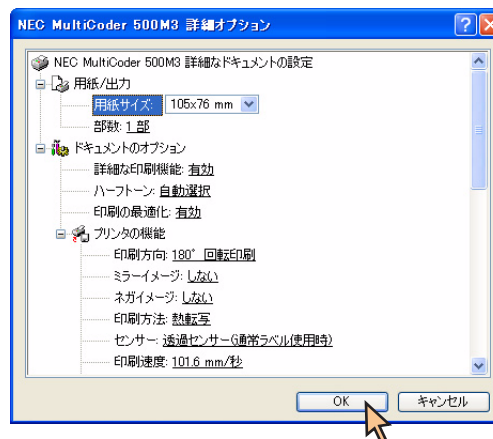
- ④ 印刷の設定をする。

印刷の向きなどを設定します。さらに詳しい設定をしたい場合は、**[詳細設定]** をクリックし、設定を変更します。Windows 2000の場合は、**[レイアウト]** シートまたは**[用紙/品質]** シートで設定を変更します。

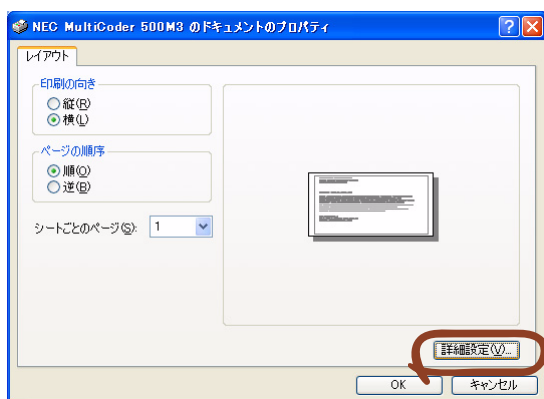
設定項目の詳細については「[印刷の詳細設定](#)」(61ページ)を参照してください。



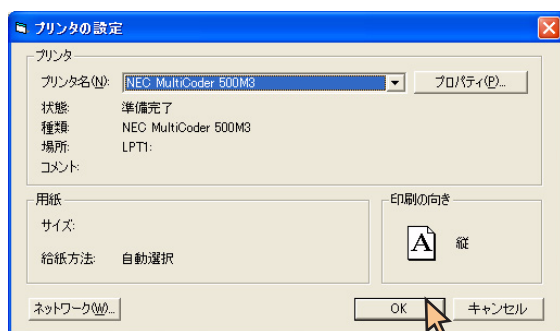
- ⑤ **[用紙サイズ]** や**[部数]**などの詳細な設定をして**[OK]** をクリックする。



⑥ [OK] をクリックする。

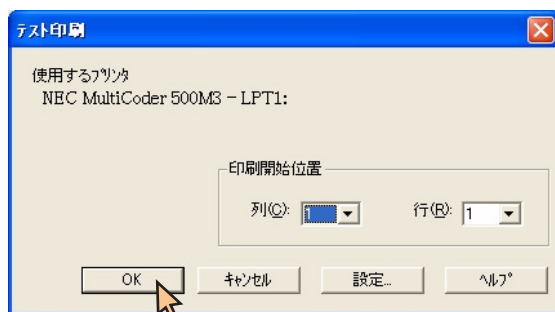


⑦ [OK] をクリックする。



⑧ 印刷開始位置を指定して [設定] をクリックする。

印刷が開始されます。



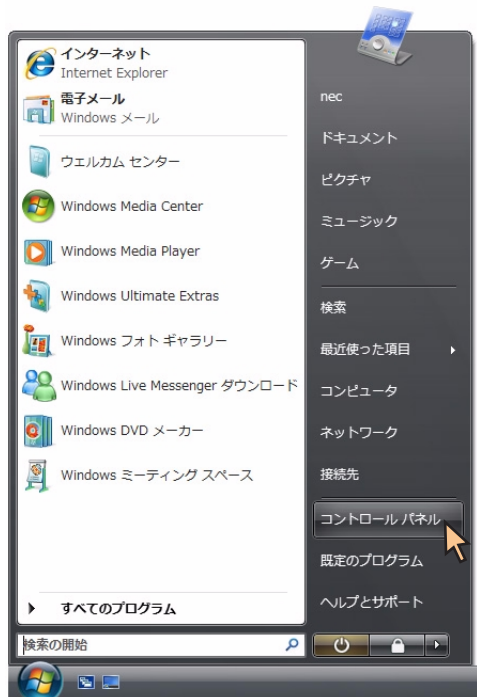
プリンタードライバーの選択

1台のコンピュータに複数のプリンタードライバーをインストールしている場合は、あらかじめ使用するプリンタードライバーを選択してから印刷する必要があります。次の手順でプリンタードライバーを選択します。

① [プリンタとFAX] フォルダーまたは [プリンタ] フォルダーを開く。

Windows Vistaの場合

- ① [スタート] から [コントロールパネル] をクリックします。



- ② [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。

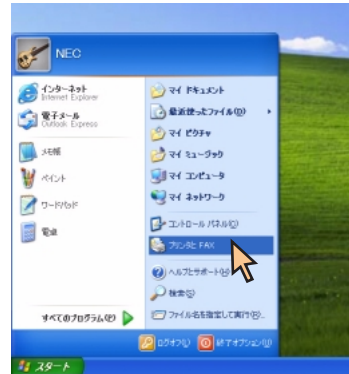


Windows XP Professional/Server 2003の場合

[スタート] の [プリンタとFAX] をクリックします。

Windows XP Home Editionの場合

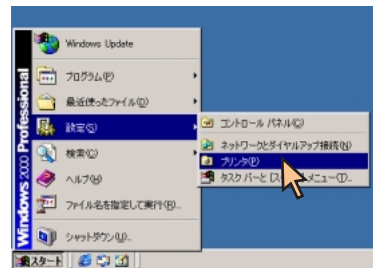
[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[プリンタとその他のハードウェア]、[プリンタとFAX] の順にクリックします。



Windows XP Professional 日本語版での画面例

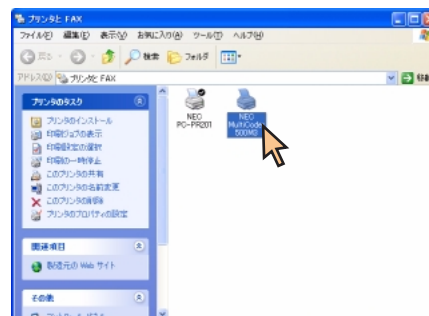
Windows 2000の場合

[スタート] の [設定] から [プリンタ] をクリックします。

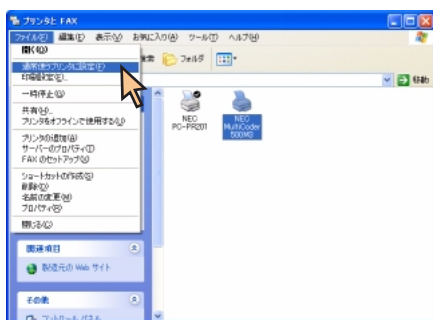


② 「NEC MultiCoder 500M3」アイコンをクリックする。

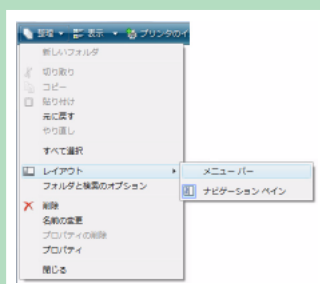
ドライバーのインストール時に付けた名前が表示されます。



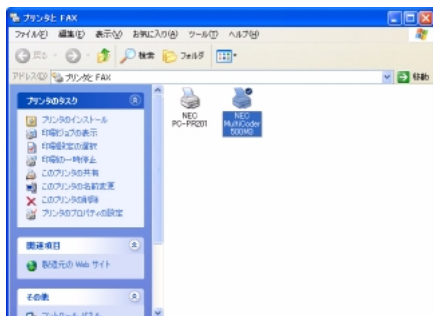
- ③ [ファイル] メニューの [通常使うプリンタに設定] (Windows Vistaの場合) または [通常使うプリンタ] (その他のWindowsの場合) をクリックする。



Windows Vistaをお使いのコンピュータで、[ファイル] メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、[整理] メニューから [レイアウト] を選び、[メニューバー] をクリックしてチェックマークを付けてください。



これでプリンタードライバーが選択されます。



印刷先の変更

本プリンターは次のインターフェースをサポートしています。

- パラレルインターフェース（LPT：プリンターポート）
- USBインターフェース（USBnnn：Virtual printer port for USB（nnnは任意の数字））
- LANインターフェース（<IPアドレス>：Standard TCP/IP Port）

上記のカッコ内に示す「ポート（印刷先）」はプリンタードライバーのインストールの際に登録されます。プリンターの接続先を変更した場合は、プリンターのプロパティダイアログボックスでもポートの設定を変更する必要があります。ここではWindows XP 日本語版の環境でインストール済みのプリンタードライバーの印刷先を変更する方法について説明します。その他のOSも同じ手順で変更できます（異なる部分については該当する部分で説明を加えています）。



チェック

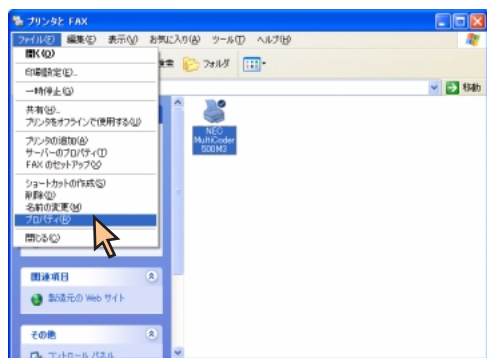
印刷先は添付のソフトウェアCD-ROMを使ったプリンタードライバーのインストール手順の中で設定することもできます。詳しくはプリンターに添付のユーザーズマニュアルの2章を参照してください。

パラレルインターフェースへの切り替え

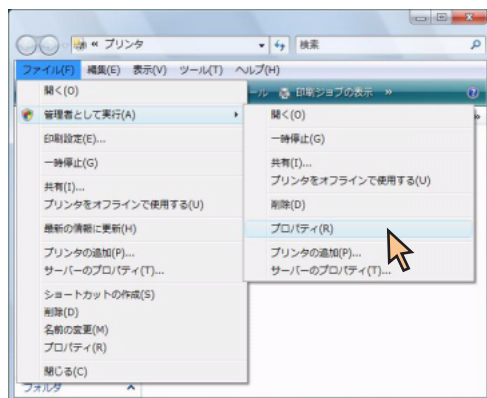
プリンタードライバーをインストールする際に接続先をUSBまたはLANにした設定をパラレルインターフェースに切り替える手順です。

1 [MultiCoder 500M3のプロパティ]のダイアログボックスを表示させる。

[プリンタ] フォルダーまたは [プリンタとFAX] フォルダーの [NEC MultiCoder 500M3] アイコンをクリックし、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。



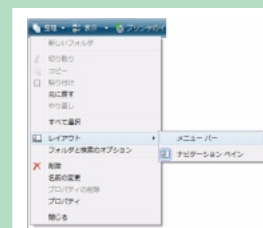
Windows Vistaをお使いのコンピュータの場合は、[ファイル] メニューの [管理者として実行] から [プロパティ] をクリックします。



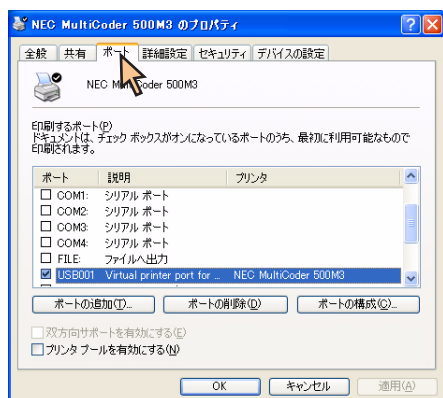
- Windows Vistaの利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなどWindows Vistaのシステムの変更に关わる操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または [続行] の操作をして先に進んでください。
- 「標準ユーザー」のアカウントで [ファイル] メニューの配下にある [プロパティ] を選んでもプリンターのプロパティは表示されますが、印刷先の設定は変更できません。



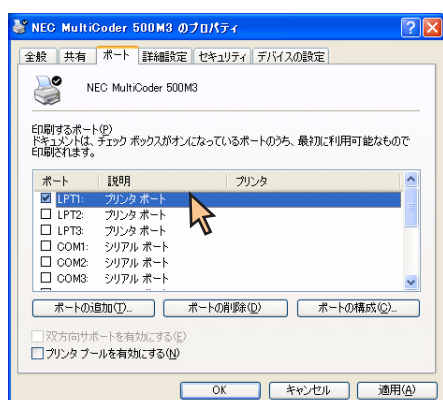
Windows Vistaをお使いのコンピュータで、[ファイル] メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、[整理] メニューから [レイアウト] を選び、[メニューバー] をクリックしてチェックマークを付けてください。



② [ポート] シートを開く。



③ [ポート] の一覧から [LPTn] (nは任意の数字) をクリックする。



④ [適用] または [OK] をクリックする。



以上で完了です。

USBインターフェースへの切り替え

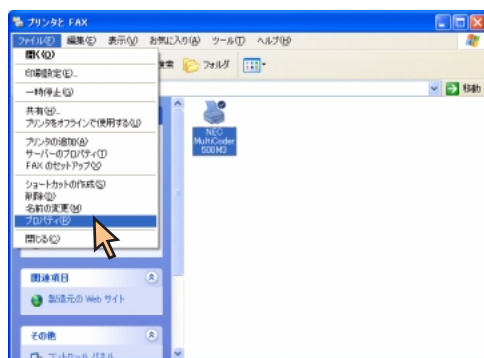
プリンタードライバーをインストールする際に接続先をパラレルインターフェースまたはLANにした設定をUSBに切り替える手順です。

✓チェック

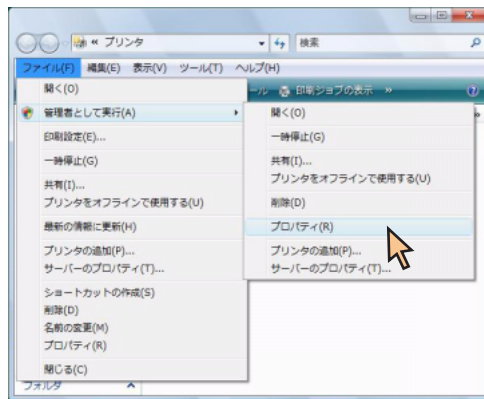
ここに示す手順において、[ポート] の一覧に該当のポートが存在しない場合は、プリンターに添付のユーザズマニュアルを参照してプラグ・アンド・プレイでプリンタードライバーをインストールしてください。

① [MultiCoder 500M3のプロパティ] のダイアログボックスを表示させる。

[プリンタとFAX] フォルダーまたは [プリンタ] フォルダーの [NEC MultiCoder 500M3] アイコンをクリックし、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。



Windows Vistaをお使いのコンピュータの場合は、[ファイル] メニューの [管理者として実行] から [プロパティ] をクリックします。

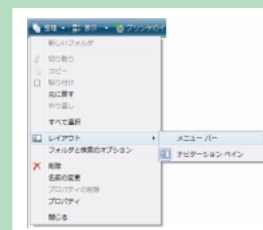


✳重要

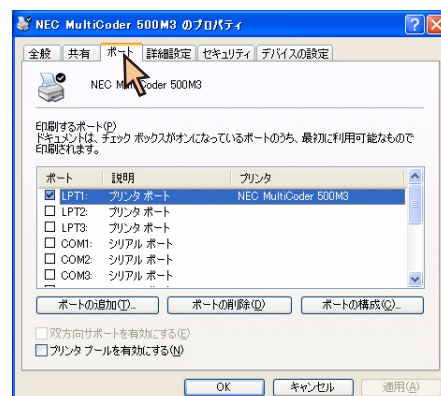
- Windows Vistaの利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなどWindows Vistaのシステムの変更に関わる操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または [続行] の操作をして先に進んでください。
- 「標準ユーザー」のアカウントで [ファイル] メニューの配下にある [プロパティ] を選んでもプリンターのプロパティは表示されますが、印刷先の設定は変更できません。

✓チェック

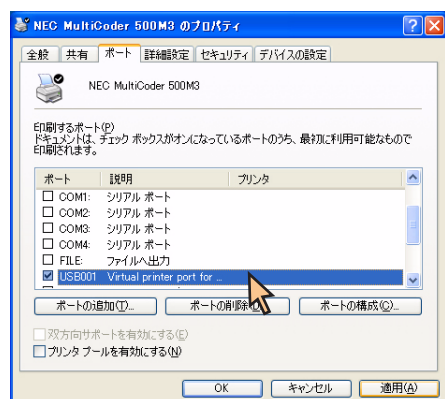
Windows Vistaをお使いのコンピュータで、[ファイル] メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、[整理] メニューから [レイアウト] を選び、[メニューバー] をクリックしてチェックマークを付けてください。



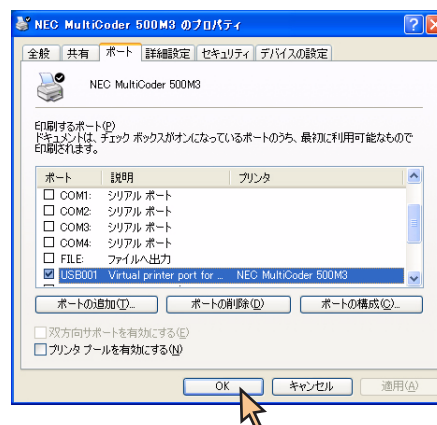
② [ポート] シートを開く。



- ③ [ポート] の一覧から [USBnnn] (nnnは任意の数字) をクリックする。



- ④ [適用] または [OK] をクリックする。



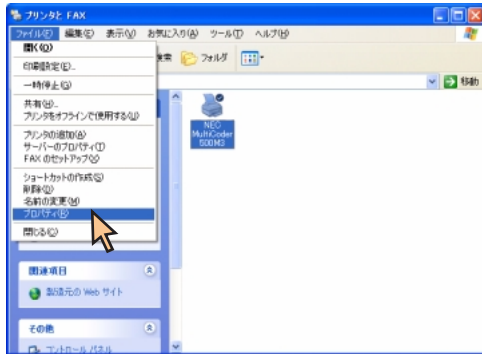
以上で完了です。

LANインターフェースへの切り替え

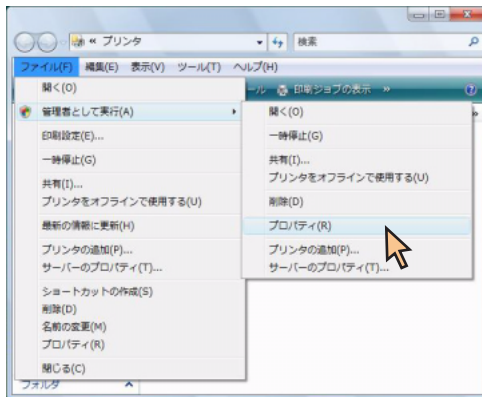
プリンタードライバーをインストールする際に接続先をパラレルインターフェースまたはUSBにした設定をLANに切り替える手順です。プリンターソフトウェアのインストールにより作成されたプリンターの「ポート」プロパティシート上でを行います。印刷先は「Standard TCP/IP Port」を指定します。

① [MultiCoder 500M3のプロパティ]のダイアログボックスを表示させる。

[プリンタとFAX] フォルダーまたは [プリンタ] フォルダーの [NEC MultiCoder 500M3] アイコンをクリックし、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。



Windows Vistaをお使いのコンピュータの場合は、[ファイル] メニューの [管理者として実行] から [プロパティ] をクリックします。

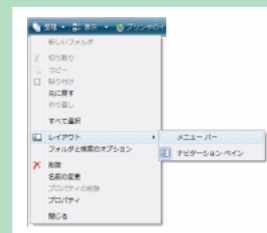


重要

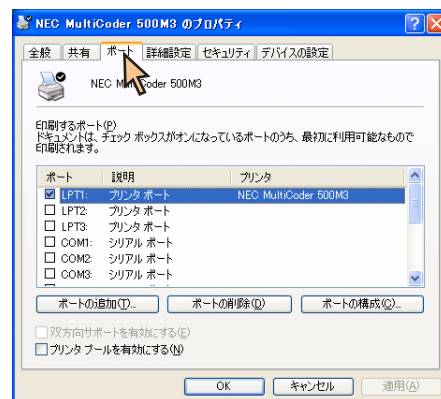
- Windows Vistaの利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなどWindows Vistaのシステムの変更に關する操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または「続行」の操作をして先に進んでください。
- 「標準ユーザー」のアカウントで [ファイル] メニューの配下にある [プロパティ] を選んでもプリンターのプロパティは表示されますが、印刷先の設定は変更できません。

チェック

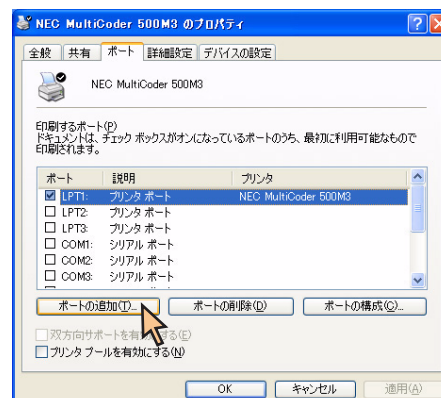
Windows Vistaをお使いのコンピュータで、[ファイル] メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、[整理] メニューから [レイアウト] を選び、[メニューバー] をクリックしてチェックマークを付けてください。



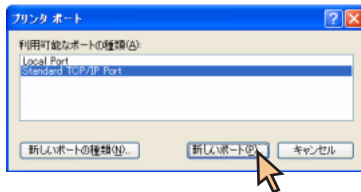
② [ポート] シートを開く。



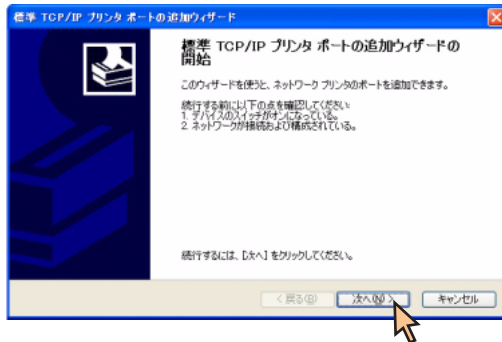
③ [ポートの追加] をクリックする。



- ④ [Standard TCP/IP Port] を選んで、[新しいポート] をクリックする。



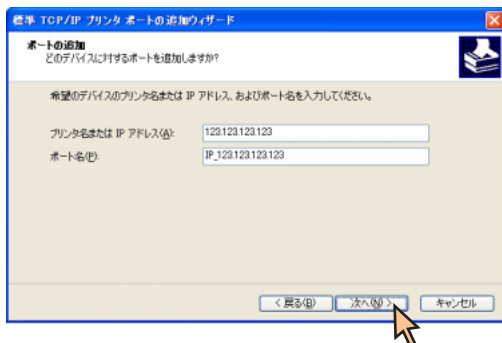
- ⑤ [次へ] をクリックする。



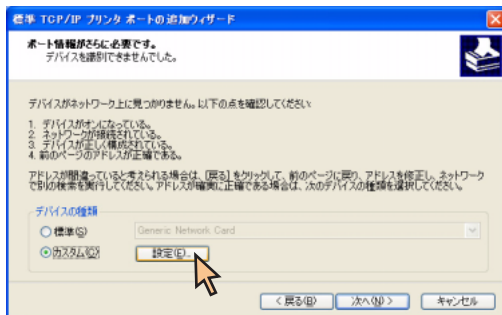
- ⑥ プリンターに設定したIPアドレスを入力し、[次へ] をクリックする。

[ポート名] は自動的に入力されます。

この手順で入力されたIPアドレスがネットワーク上に設定されていない場合、手順⑦に示すダイアログボックスが表示されます。表示されなかった場合は手順⑩に進んでください。

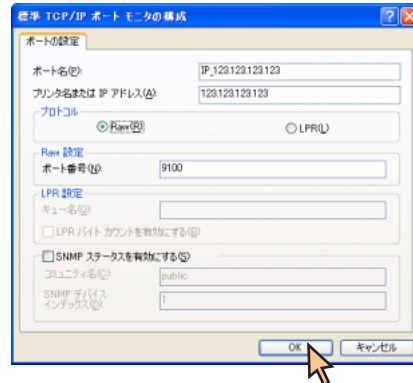


- ⑦ [デバイスの種類] で [カスタム] をクリックし、[設定] をクリックする。



- ⑧ ポートの設定をして [OK] をクリックする。

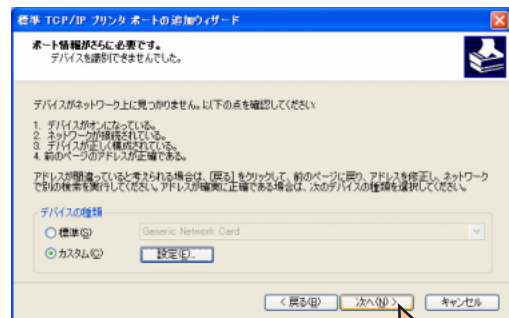
プロトコルは [Raw]、Raw設定のポート番号はプリンターに設定したソケットポート番号に設定します (ソケットポート番号の設定は、[IPアドレス設定機能](#) (<7> IP ADDRESS) の「[ソケットポート設定](#)」(44ページ) を参照してください)。
[SNMPステータスを有効にする] のチェックを外してください。



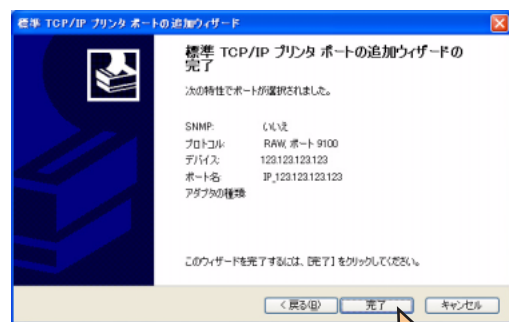
チェック

本プリンターの出荷時のポート番号は「8000」です。

- ⑨ [次へ] をクリックする。



- ⑩ [完了] をクリックする。

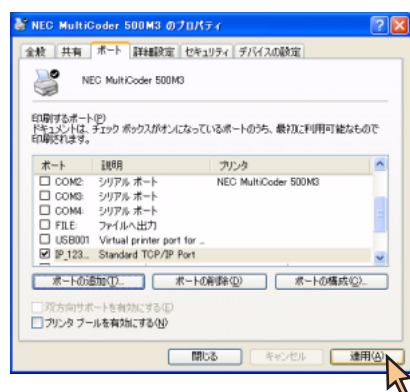


- ⑪ [閉じる] をクリックする。



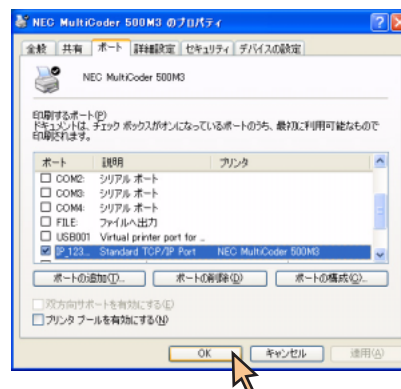
12 [適用] をクリックする。

[プリンタ] の欄にプリンタードライバーの名前が表示されます。



13 [OK] をクリックする。

印刷先の変更が完了しました。



共有プリンターに設定する

MultiCoder 500M3をWindows Vista 日本語版/Windows XP 日本語版/2000 日本語版/Server 2003 日本語版環境のネットワークで共有する場合の設定について説明します。

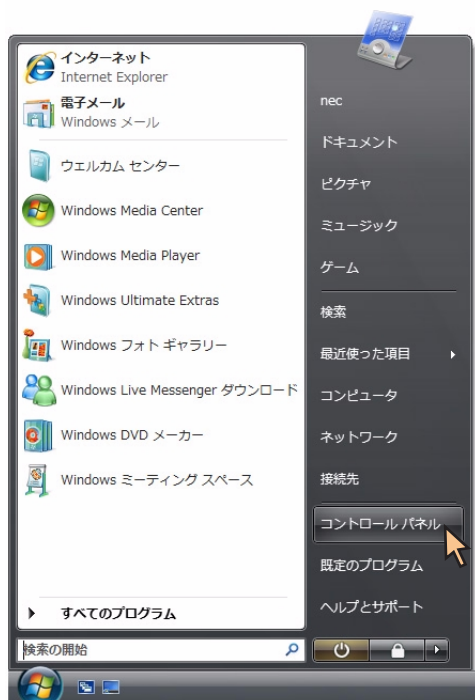
ネットワーク環境で共有プリンターをお使いになるためには、コンピューターにあらかじめ「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」などクライアントソフトウェアを組み込んでおく必要があります。詳しくはOSの取扱説明書をご覧ください。

ここではWindows XP 日本語版の環境で共有プリンターに設定する方法について説明します。その他のOSも同じ手順で変更できます（異なる部分については該当する部分で説明を加えています）。

① [プリンタ] フォルダーまたは [プリンタとFAX] フォルダーを開く。

Windows Vistaの場合

- ① [スタート] から [コントロールパネル] をクリックします。



- ② [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。

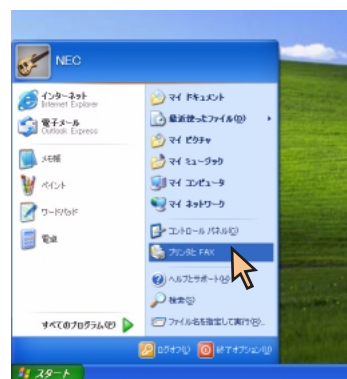


Windows XP Professional/Server 2003の場合

[スタート] の [プリンタとFAX] をクリックします。

Windows XP Home Editionの場合

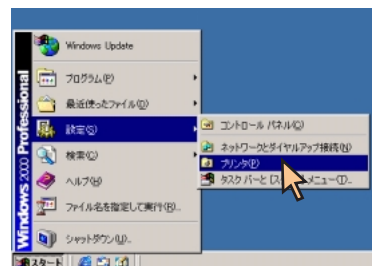
[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[プリンタとその他のハードウェア]、[プリンタとFAX] の順にクリックします。



Windows XP Professional 日本語版での画面例

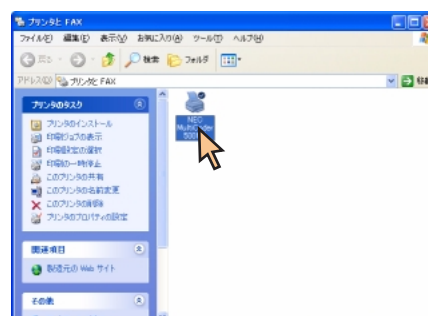
Windows 2000の場合

[スタート] の [設定] から [プリンタ] をクリックします。



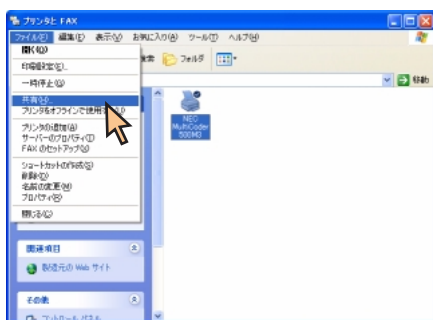
② 「NEC MultiCoder 500M3」アイコンをクリックする。

ドライバーのインストール時に付けた名前が表示されます。

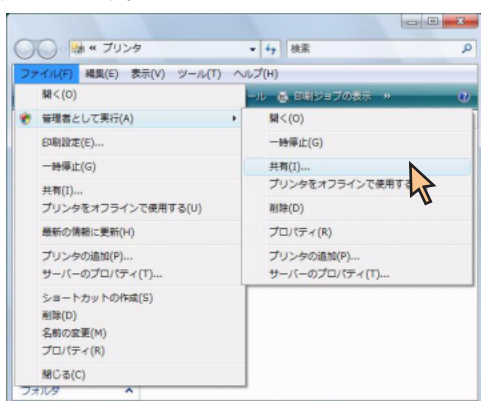


③ [ファイル] メニューの [共有] をクリックする。

[NEC MultiCoder 500M3のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。



Windows Vistaをお使いのコンピュータの場合は、[ファイル] メニューの [管理者として実行] から [共有] をクリックします。



重要

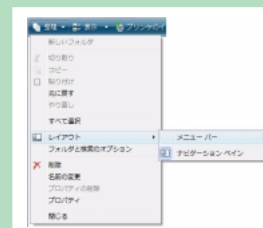
- Windows Vistaの利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなどWindows Vistaのシステムの変更に關する操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。

表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または [続行] の操作をして先に進んでください。

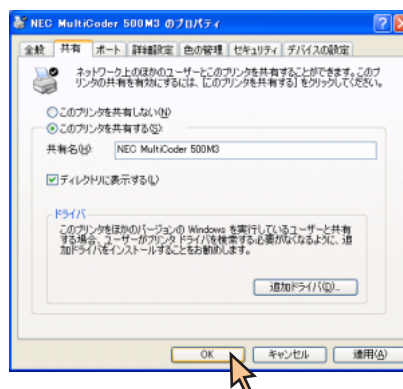
- 「標準ユーザー」のアカウントで [ファイル] メニューの配下にある [共有] を選んでもプリンターのプロパティは表示されますが、共有設定を変更するためには管理者権限のパスワードの入力が必要です。

チェック

Windows Vistaをお使いのコンピュータで、[ファイル] メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、[整理] メニューから [レイアウト] を選び、[メニューバー] をクリックしてチェックマークを付けてください。



④ [このプリンタを共有する] または [共有する] をチェックし、そのプリンターの共有名を入力し、[OK] をクリックする。



チェック

[共有] シート内の [追加ドライバ] から64ビット版のコンピュータ用のプリンタードライバーのインストールを起動させることができますが、MultiCoder 500M3は64ビット版のコンピュータおよびオペレーティングシステムをサポートしていません。

これで共有プリンターの設定は完了です。

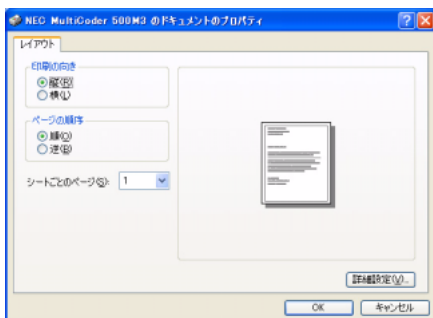
印刷の詳細設定

次のような2つの「プロパティ」ダイアログボックスと呼ばれる画面を使って印刷の詳細な設定を行います。

ここではWindows XP 日本語版のプリンタードライバーを中心に説明します。その他のOSをお使いの場合は、画面の表示が多少異なりますが、プリンタードライバーが提供する機能はほとんど同じです。OSによって異なる機能やメニュー項目については該当の説明部分で説明を加えています。

「印刷設定」ダイアログボックス

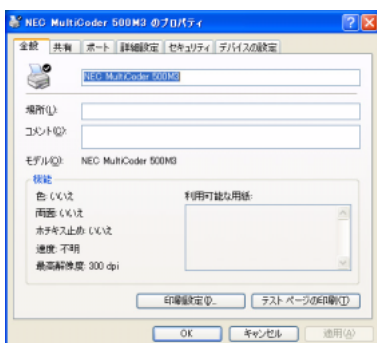
印刷の詳細な設定をするダイアログボックスです。次のプロパティシートから構成されています。



[「印刷設定」ダイアログボックスで詳細設定を行う（「レイアウト」シート）](#)

「プロパティ」ダイアログボックス

プリンターのポートや共有などに関する設定をするダイアログボックスです。次の6枚のプロパティシートから構成されています。



- [「全般」シート](#)
- [「共有」シート](#)
- [「ポート」シート](#)
- [「詳細設定」シート](#)
- [「色の管理」シート（Windows Vistaのみ）](#)
- [「セキュリティ」シート](#)*
- [「デバイスの設定」シート](#)

* Windows XP Home Editionの場合、表示されません。
Windows XP Professionalの場合、設定によって表示されないことがあります。

✓ チェック

アプリケーションによっては、ダイアログボックスの設定を変更するタイミングに関係なくアプリケーションからの設定が優先されるものがあります。また、「スタート」からの設定変更に合わせて、アプリケーションの設定も自動的に変わるなど、使用するアプリケーションによって異なりますのでアプリケーションのマニュアルを参照してください。

【プロパティ】 ダイアログボックスを開く

プロパティダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

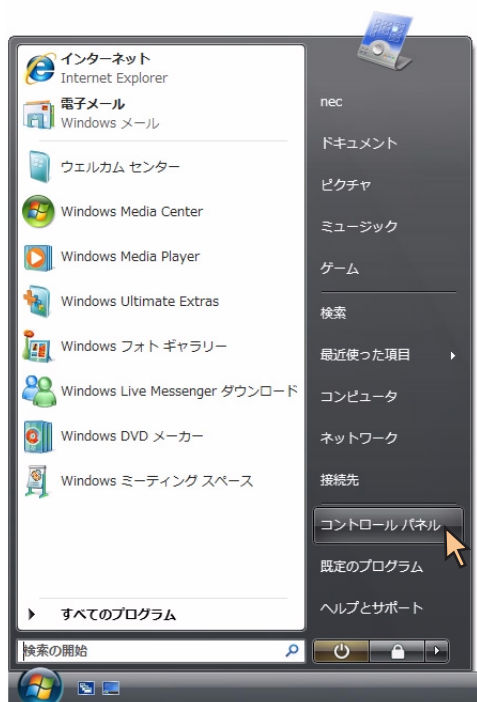
- デスクトップ上の「スタート」ボタンを使って呼び出す方法
ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションでの基本設定となります。
- アプリケーションのメニューから呼び出す方法
一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示されないことがあります。

【スタート】 ボタンを使って呼び出す

- ① 「プリンタ」フォルダーまたは「プリンタとFAX」フォルダーを開く。

Windows Vistaの場合

- ① 「スタート」から「コントロールパネル」をクリックします。



- ② 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」をクリックします。

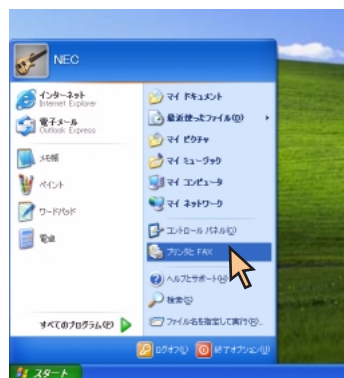


Windows XP Professional/Server 2003の場合

「スタート」の「プリンタとFAX」をクリックします。

Windows XP Home Editionの場合

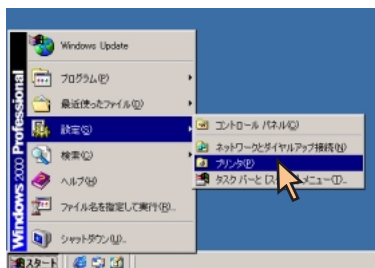
「スタート」から「コントロールパネル」をクリックし、「プリンタとその他のハードウェア」、「プリンタとFAX」の順にクリックします。



Windows XP Professional 日本語版
での画面例

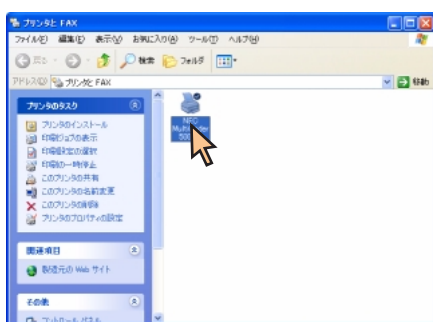
Windows 2000の場合

「スタート」の「設定」から「プリンタ」をクリックします。

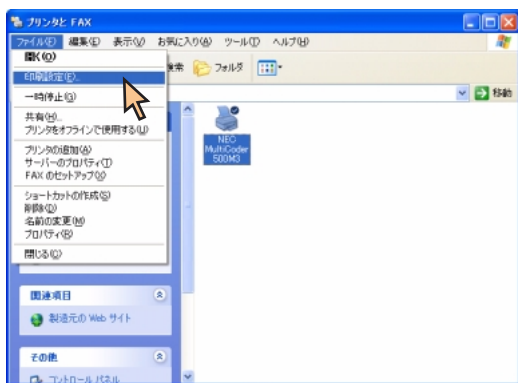


2 「NEC MultiCoder 500M3」アイコンをクリックする。

「印刷設定」ダイアログボックスを開きたいときは手順③へ、
「プロパティ」ダイアログボックスを開きたいときは手順④へ進んでください。

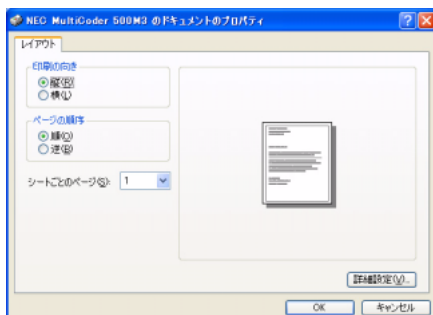


3 「ファイル」メニューの「印刷設定」をクリックする。

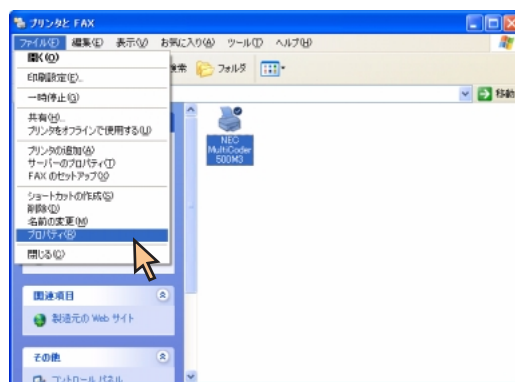


「印刷設定」ダイアログボックスが開きます。

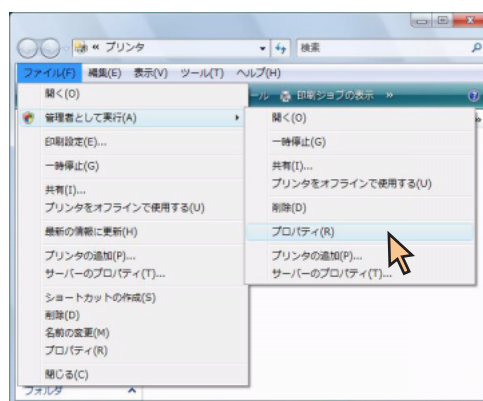
このプロパティシートについては、[67ページ](#)からの「「印刷設定」ダイアログボックスで詳細設定を行う」を参照してください。



4 「ファイル」メニューの「プロパティ」をクリックする。



Windows Vistaをお使いのコンピュータの場合は、「ファイル」メニューの「管理者として実行」から「プロパティ」をクリックします。

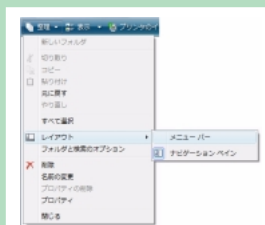


重要

- Windows Vistaの利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなどWindows Vistaのシステムの変更に關する操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または「続行」の操作をして先に進んでください。
- 「標準ユーザー」のアカウントで「ファイル」メニューの配下にある「プロパティ」を選んで印刷機のプロパティは表示されますが、印刷先の設定は変更できません。

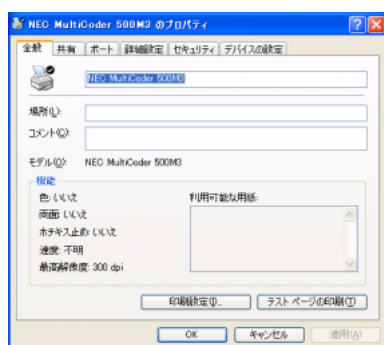


Windows Vistaをお使いのコンピュータで、[ファイル] メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、[整理] メニューから [レイアウト] を選び、[メニューバー] をクリックしてチェックマークを付けてください。



[プロパティ] ダイアログボックスが開きます。

各プロパティシートについては、[76ページ](#)からの「[プロパティ] ダイアログボックスで詳細設定を行う」を参照してください。



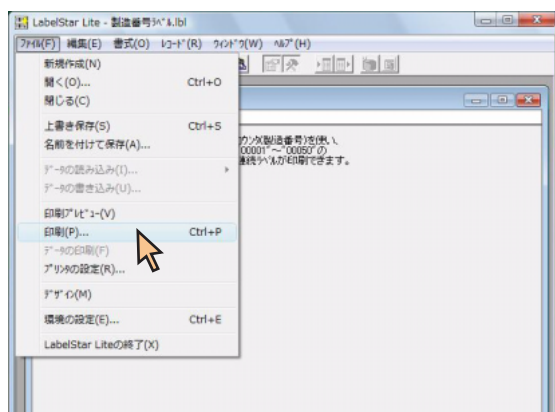
アプリケーションを使って呼び出す

アプリケーションからプロパティダイアログボックスを呼び出す場合、[ファイル] メニューの [印刷] または [プリンタの設定] を使います。(ほとんどの場合、[ファイル] メニューの中にありますが、メニューの構成はアプリケーションによって違います。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

ここでは本プリンターに添付のソフトウェアCD-ROMに収録されている「LabelStar Lite」を使った例を示します。

- ① [データシート] の表示状態で [ファイル] メニューの [印刷] を選ぶ。

[印刷] ダイアログボックスが開きます。

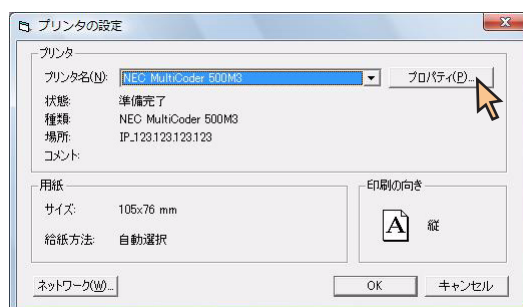


- ② [設定] をクリックする。

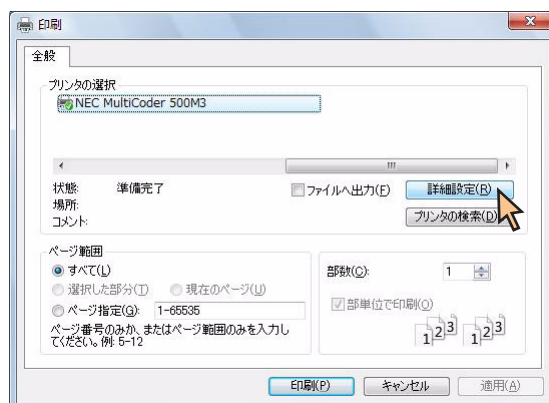


- ③ [プロパティ] または [詳細設定] をクリックする。

使用しているアプリケーションによってボタン名が異なることがあります。



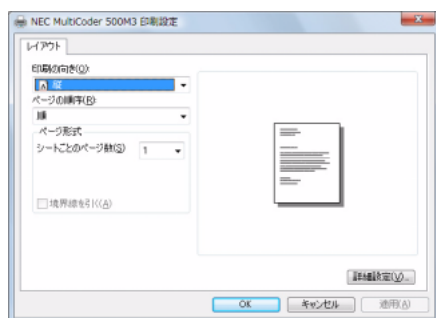
LabelStar Liteなどの場合



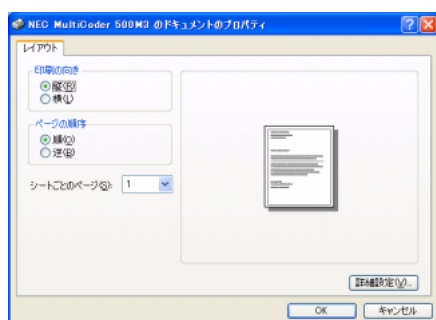
ワードパッドなどの場合

4 印刷の設定を行う。

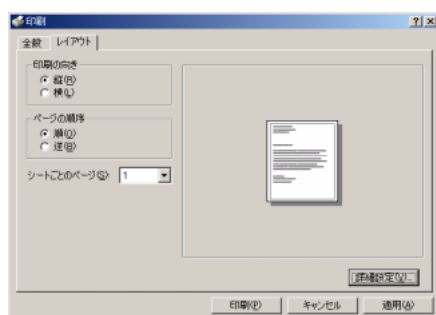
Windows 2000の場合は[レイアウト]シートおよび[用紙/品質]シートで、印刷の設定を行います。



Windows Vistaの場合



Windows XP/Server 2003の場合



Windows 2000の場合

✓ チェック

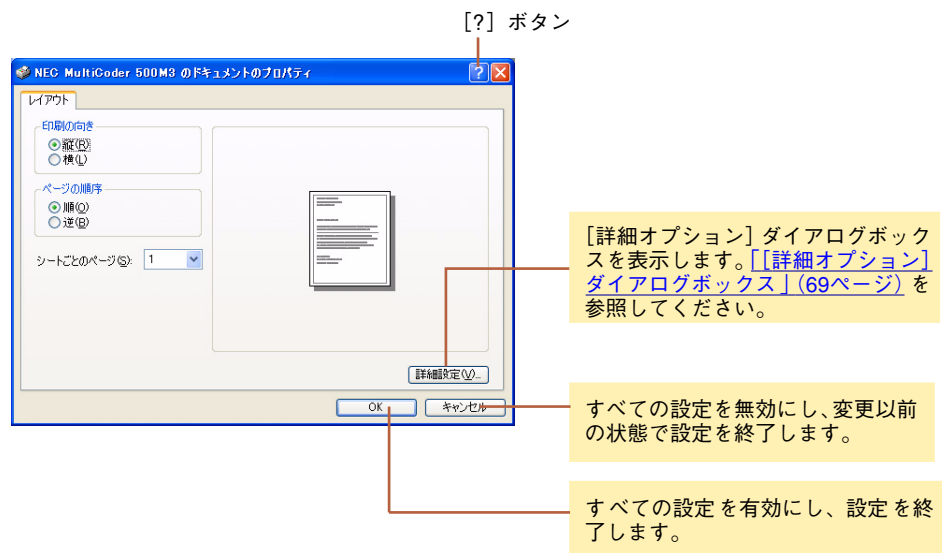
アプリケーションによっては、アプリケーション上からすべてのプロパティシートを開けなかったり、設定内容を変更できない場合があります。その場合は[スタート]から開くか、アプリケーションのヘルプや添付のマニュアルをご覧ください。

アプリケーションを使って呼び出した場合に設定した内容は、そのアプリケーション内でのみ有効となります。プリンタードライバー自体の設定は変わりません。

【印刷設定】 ダイアログボックスで詳細設定を行う（【レイアウト】 シート）

【印刷設定】 ダイアログボックスは【レイアウト】 シートの1枚のプロパティシートから構成されています。このプロパティシートは印刷の向き、ページの順序など印刷のレイアウトに関する設定を行うものです。印刷の向き、ページの順序などを設定すると右側に表示されているイラストが設定に応じて変化します。以下にこのシート上の項目について説明します。右上の【?】 ボタンをクリックした後、項目やボタンをクリックすることにより説明を表示させることもできます。

各プロパティシート共通に使用されている4つのボタンには以下のような機能があります。



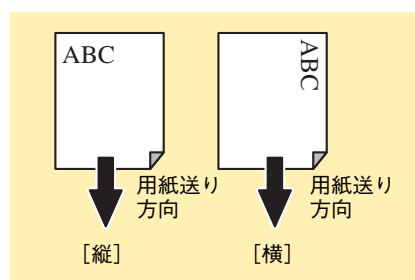
✓ チェック

Windows Vistaでは、プリンタードライバーのダイアログボックス上にヘルプボタン（【?】 ボタン）はありません。

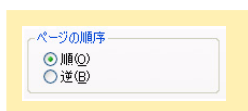
印刷の向き



縦： 用紙を縦長にを使って印刷します。
横： 用紙を横長にを使って印刷します。



ページの順序



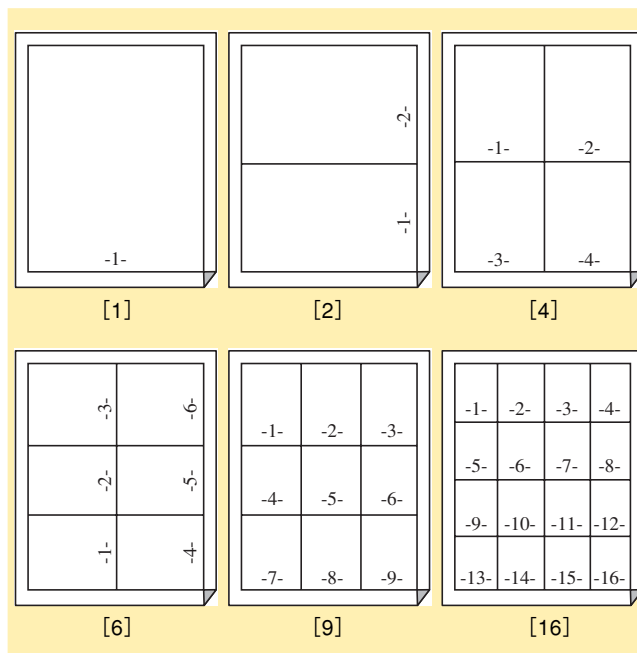
順： 用紙をページの始めから順に印刷します。
逆： 用紙をページの終わりにから順に印刷します。

シートごとのページ: 1

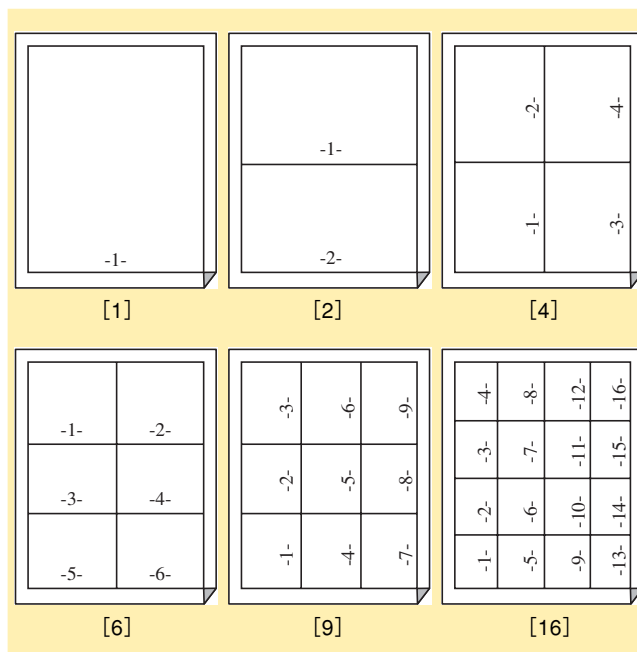
シートごとのページ

1枚の用紙にドキュメントの何ページ分（1～16ページ）を印刷するかを指定します。
 設定している用紙サイズの幅と高さによって印刷結果は次のようになります。

•用紙幅＜用紙高さの場合



•用紙幅＝用紙高さ、または用紙幅＞用紙高さの場合



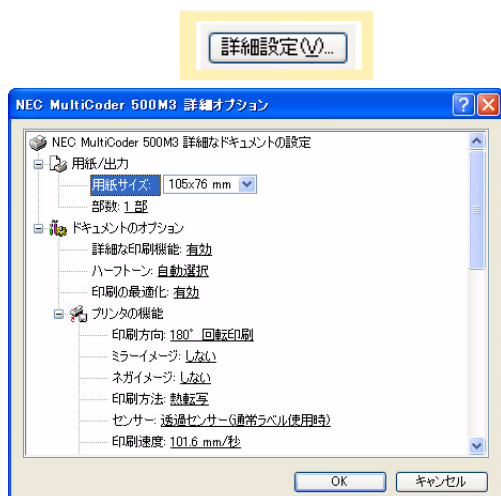
境界線を引く（Windows Vista 日本語版のみ）

Windows Vistaでは「シートごとのページ」で1枚に複数ページを印刷する設定にした場合にページ間に境界線を引くか動かを選択します。



[詳細オプション] ダイアログボックス

[印刷設定] ダイアログボックスの [詳細設定] をクリックすると、[詳細オプション] ダイアログボックスが表示されます。



このダイアログボックスで印刷の詳細に関する以下の設定を行うことができます。

チェック

このダイアログボックスで右クリックすると、次のメニューを表示します。

- 変更したオプションを元に戻す
変更した設定をプロパティシートを開いたときの状態に戻します（設定を変更した場合にのみ表示します）。
- ヘルプ（Windows Vista 日本語版を除く）
右クリックした項目に関する説明を表示します。
- バージョン情報
本プリンターに関する情報を表示します。

用紙サイズ

印刷用紙のサイズを選択します。

MultiCoder 500M3がサポートする用紙サイズについては [79 ページ](#) を参照してください。

部数

印刷部数を選択します。複数部数に設定すると、部単位に印刷するかどうかを選択することができます。

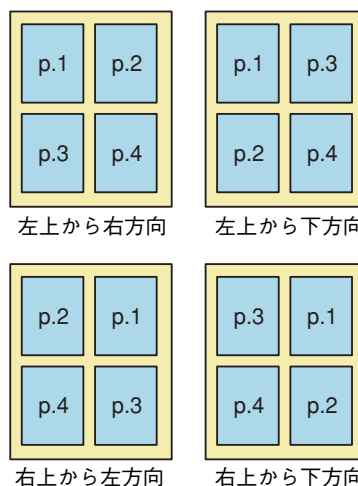
詳細な印刷機能

[詳細オプション] ダイアログボックスで設定した印刷機能を有効にするか、無効にするかを選択します。

シートごとのページレイアウト（Windows Vista 日本語版のみ）

1枚（シート）に複数のページを印刷する際のページの配置（レイアウト）を指定します。

以下は、1枚に4ページ分を配置する場合での設定と印刷結果の例です。印刷結果のイメージは [レイアウト] シートの右側のペインにも表示されます。

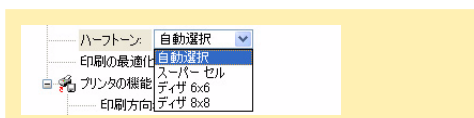


左上から右方向

左上から下方向

右上から左方向

右上から下方向



ハーフトーン

グラフィックスを印刷するときに使用するハーフトーンの設定方法を選択します。

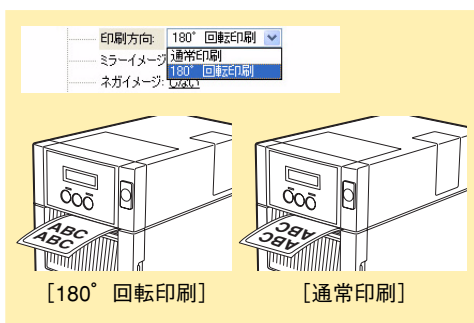
プリンターによって最適なハーフトーンの品質を決定するには、「自動選択」を選択します。カラーのグラフィックスを印刷するときに、プリンターで対応していない色を使う場合は、ディザリングの設定をオンにしてください。ディザリングを使うと、プリンターの色を混ぜ合わせて特定の色を作ることができます。



印刷の最適化

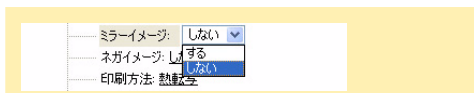
印刷の最適化機能を有効にするか、無効にするかを選択します。

有効にすると、TrueTypeフォントからデバイスフォントへの置き換えや文書内の横書き／縦書きのスキャンなどの印刷の最適化をプリンタードライバーが行います。ただし、ドキュメント内でテキストとグラフィックスが重なり合っている場合、グラフィックスの上に配置されたテキストが正しく印刷されないことがあります。



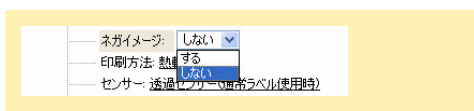
印刷方向

印刷イメージを180度回転させて印刷するかどうかを指定します。出荷時の設定 [180° 回転印刷] は印刷済みの印刷内容をプリンター前面から見て正しく読める向きで印刷します。[通常印刷] にすると印刷データの先頭から印刷するため、印刷結果をプリンター前面からみると、さかさまにみえます。



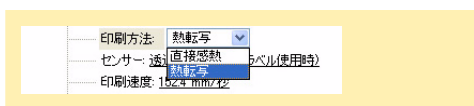
ミラーイメージ

ミラーイメージで印刷するかどうかを指定します。



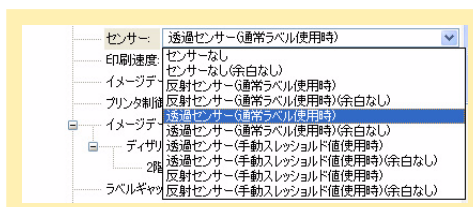
ネガイメージ

ネガイメージで印刷するかどうかを指定します。



印刷方法

用紙の印刷方式の種別を選択します。リボンを使った熱転写方式で印刷をする場合は [熱転写] を選択します。リボンを使わず感熱方式で印刷する場合は [直接感熱] を選択します。



センサー

センサーの種別と機能の使用有無を選択します。



設定を変更したら、プリンターのユーザーズマニュアルを参照してしきい値の調整を必ずしてください。

[反射センサー]は、用紙の裏面の黒マークを使用して用紙位置を自動的に調整する場合に選択します。

プリンタードライバーで指定したラベルサイズに従った印刷中もタグの裏面に設けられた黒マークを反射センサーにて自動的に検出し、1枚ごとに用紙位置を微調整します。

[透過センサー]は、ラベルとラベルの間（ラベル間ギャップ）を使用して用紙位置を自動的に調整する場合に選択します。

プリンタードライバーで指定したラベルサイズに従った印刷中もラベルとラベルの間（ラベル間ギャップ）を透過センサーにて自動的に検出し、1枚ごとに用紙位置を微調整します。

[センサーなし] は、プリンターのセンサーを使用せず、プリンタードライバーで指定したラベルサイズに従った印刷をする場合に選択します。

上記に示すセンサーの選択に加え、センサーしきい値の使用有無と用紙送り動作をそれぞれ選択することができます。

<手動スレッシュホールド値使用／通常ラベル使用時（センサーしきい値の使用有無）>

この機能は、[反射センサー] および [透過センサー] を使用する場合にのみ選択することができます。

プリンターで設定したセンサーしきい値（スレッシュホールド値）を使用して用紙位置を自動的に調整する場合は[手動スレッシュホールド値使用]を選択します。

スレッシュホールド値を使用しない場合は、[通常ラベル使用時]を選択します。

<余白なし（用紙送り動作）>

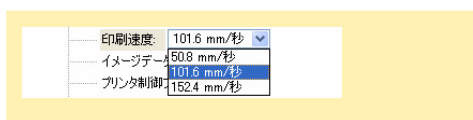
この機能は、1ページ中で、データのあるところまで印刷を行います。

[反射センサー] および [透過センサー] の場合は、印刷後、センサーによる用紙の区切り（黒マークまたはラベル間ギャップ）を検出するまで用紙を送ります。

[センサーなし] の場合は、印刷後、余白は紙送りされません。

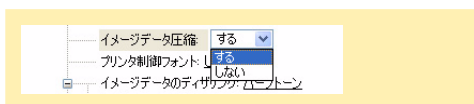


この設定で印刷する場合は、[「印刷方向」\(70ページ\)](#)を「通常印刷」に設定してください。



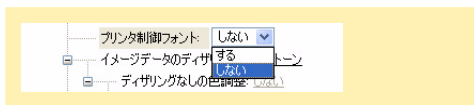
印刷速度

印刷速度を指定します。



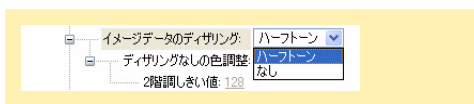
イメージデータ圧縮

イメージデータを圧縮するかどうかを指定します。



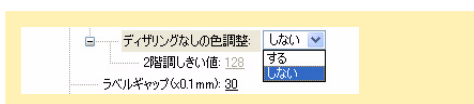
プリンタ制御フォント

印刷文書に埋め込まれたプリンター制御フォントを使用するかどうかを設定します。詳細は「[プリンター制御フォントの使用](#)」(83ページ)を参照してください。
「[印刷の最適化](#)」(70ページ)が有効の場合にのみ使用できません。



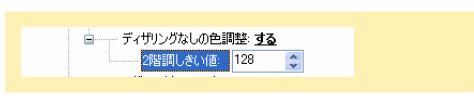
イメージデータのディザリング

イメージデータ内の黒（グレーは除く）と白以外の部分の表現方法の設定をします。本プリンタードライバーによるディザリングを使用する場合は「ハーフトーン」を選択します。この機能を利用せずに2階調（白黒）印刷をしたい場合は「なし」を選択すると、配下の設定ができるようになります。



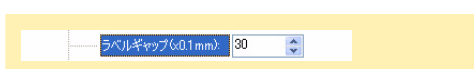
ディザリングなしの色調整

2階調で印刷する際のしきい値を標準の設定にするか手動で設定するかを選択します。「する」を選ぶとその配下の設定に従って2階調での印刷をします。「しない」を選ぶと標準の2階調しきい値（128）で印刷します。



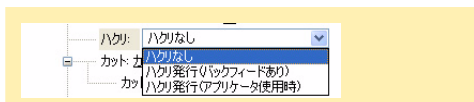
2階調しきい値

イメージデータ内の色調を2階調で印刷するためのしきい値を設定します。[0]に近くなるにつれてイメージデータは白く印刷され、[255]に近くなるにつれて黒く印刷されます。



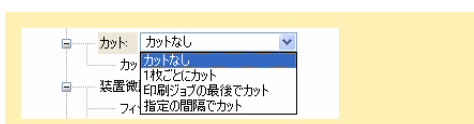
ラベルギャップ

ラベル間ギャップの大きさを設定します。タグの場合は印刷しない領域を設定します。
0（0.0mm）～200（20.0mm）の間を0.1mm単位で設定できます。ラベル間の距離が2.0mmの場合は、「20」を指定します。



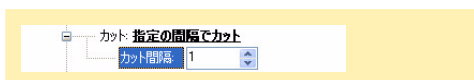
ハクリ

ハクリ印刷するかどうかを設定します。
ハクリモジュールを装着してハクリ印刷をする場合は「ハクリ発行(バックフィードあり)」を選択します。



カット

カット印刷するかどうかを指定します。
カット間隔は次の印刷ジョブには引き継がれません。また、複数部数印刷や部単位印刷時でもカット間隔が優先されます。

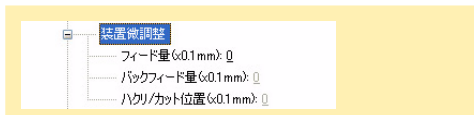


カット間隔

何枚ごとにカットするかを指定します。

前述の「カット」で「指定の間隔でカット」を選択した場合に指定できます。

1（枚）から100（枚）までを1枚単位で指定できます。



装置微調整

「装置微調整」のツリー配下には以下に示すとおり、プリンターの「フィード量」、「バックフィード量」、「ハクリ/カット位置」の微調整をする項目があります。

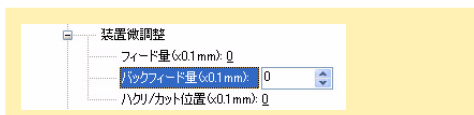


フィード量

自動的に位置決めされた印刷開始位置に対し、後方（プラス値）または前方（マイナス値）で止まる位置を指定します。500（+50.0mm）～0～-500（-50.0mm）の間を1（0.1mm）単位で設定できます。

システムモードまたはメニューモードでフィード量微調が設定されている場合、微調値はここで設定した値とシステムモードまたはメニューモードで設定した値を加えた値でフィードします。

また最大値は、用紙サイズ以内に制限されます。

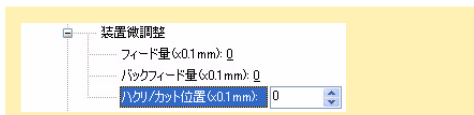


バックフィード量

剥離後またはカット後、用紙をホームポジションまでバックフィードする量を指定します。

99（+9.9mm）～0～-99（-9.9mm）の間を1（0.1mm）単位で設定できます。

システムモードまたはメニューモードでバックフィード量微調が設定されている場合、微調値はここで設定した値とシステムモードまたはメニューモードで設定した値を加えた値でバックフィードします。

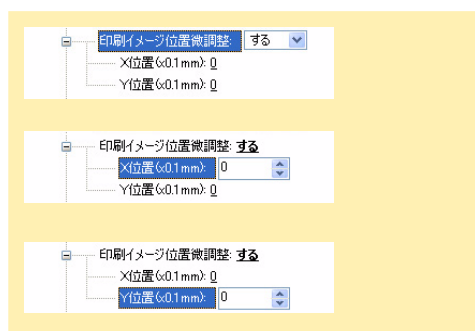


ハクリ/カット位置

自動的に位置決めされたハクリ/カット位置に対し、後方または前方でハクリ/カットする位置を指定します。

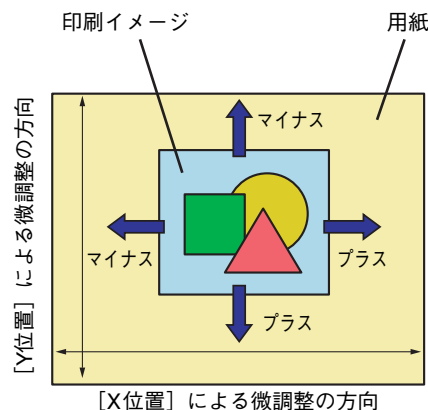
500（+50.0mm）～0～-500（-50.0mm）の間を1（0.1mm）単位で設定できます。

システムモードまたはメニューモードで位置微調が設定されている場合、微調値はここで設定した値とシステムモードまたはメニューモードで設定した値を加えた値となります。

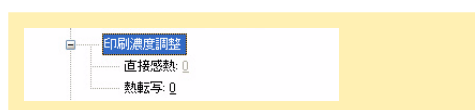


印刷イメージ位置微調整

印刷イメージ位置微調整を行うかどうかを設定します。微調整を行う場合は、[する] を選択します。微調整を行わない場合は、[しない] を選択してください。[する] を選択すると、[X位置] および [Y位置] に値を入力することができるようになります。



[X位置] の微調整は、印刷イメージをX軸方向に右（プラス）または左（マイナス）に位置を調整します。
[Y位置] の微調整は、印刷イメージをY軸方向に下（プラス）または上（マイナス）に位置を調整します。



印刷濃度調整

[印刷濃度調整] のツリー配下では、印刷方式別に印刷濃度の調整が行えます。



直接感熱

直接感熱（感熱方式）時の自動的に設定された印刷濃度に対し微調を行います。

[印刷方法] で [直接感熱] を選択し、[印刷濃度調整] を [する] にしたときに設定できます。

10～0～-10の間を1単位で設定できます。[10]を選択すると最も濃く印刷され、[-10]を選択すると最も薄く印刷されます。システムモードまたはメニューモードで濃度調整が設定されている場合、濃度はここで設定した値とシステムモードまたはメニューモードで設定した値を加えた値の濃度で印刷します。

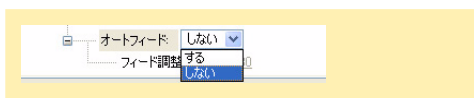


熱転写

熱転写時の自動的に設定された印刷濃度に対し微調を行います。

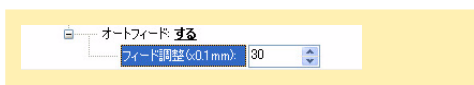
[印刷方法] で [熱転写] を選択し、[印刷濃度調整] を [する] にしたときに設定できます。

10～0～-10の間を1単位で設定できます。[10]を選択すると最も濃く印刷され、[-10]を選択すると最も薄く印刷されます。システムモードまたはメニューモードで濃度調整が設定されている場合、濃度はここで設定した値とシステムモードまたはメニューモードで設定した値を加えた値の濃度で印刷します。



オートフィード

印刷後に自動的に用紙を送るかどうかを指定します。



フィード調整

印刷後に自動的に用紙を送る量を指定します。

前述の[オートフィード]を[する]にした場合に設定できます。

30 (+3.0mm) ~ 2000 (+200.0mm) の間を 1 (0.1mm) 単位で設定できます。

プリンターは印刷開始時に自動的に印刷開始位置までバックフィードします。

【プロパティ】 ダイアログボックスで詳細設定を行う

プロパティダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

【プロパティ】ダイアログボックスで設定できる項目について、各プロパティシートごとに説明します。詳細はダイアログボックス右上の「？」ボタンをクリックした後、続けて項目をクリックすることにより表示されるヘルプでも説明されています。

各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。

また、各プロパティシート共通に使用されている3つのボタンには以下のような機能があります。

タブ



すべての設定を有効にし、設定を終了します。

現在開いているプロパティシート内の設定に変更します。

すべての設定を無効にし、変更以前の状態で設定を終了します。



チェック

Windows Vistaでは、プリンタードライバーのダイアログボックス上にヘルプボタン（「？」ボタン）はありません。

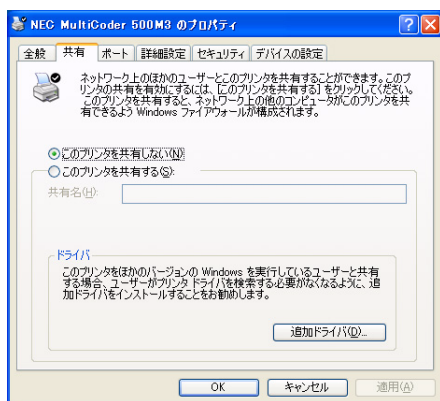
【全般】 シート



このプロパティシートはWindows Vista/Windows XP/2000/Server 2003対応のプリンタードライバー共通のもので、

【場所】や【コメント】には印刷の際の参照となる情報を登録しておくことができます。また、プリンターの持つ機能の一覧や印刷設定ダイアログボックスの表示、テストページの印刷などもできます。

[共有] シート



このプロパティシートはWindows Vista/Windows XP/2000/Server 2003対応のプリンタードライバー共通のもです。

プリンターをネットワーク上の「共有プリンタ」として使用する際にこのシートで設定します。[\[共有プリンタに設定する\] \(59ページ\)](#) で詳しい手順を説明しています。

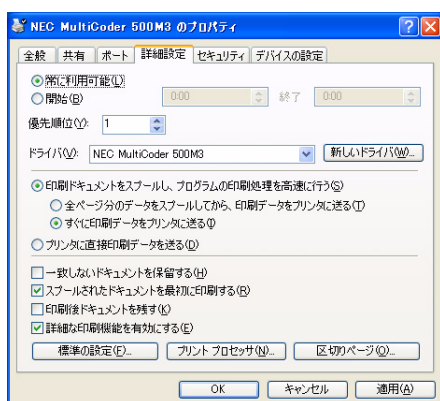
[ポート] シート



このプロパティシートはWindows Vista/Windows XP/2000/Server 2003対応のプリンタードライバー共通のもです。

プリンターとコンピューターの接続方法（パラレルポートやUSB、ネットワーク）を変更した際などにこのシートで接続先（ポート）の指定をします。[\[印刷先の変更\] \(52ページ\)](#) で詳しい手順を説明しています。

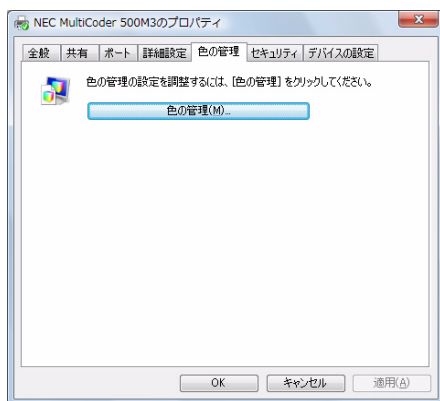
[詳細設定] シート



このプロパティシートはWindows Vista/Windows XP/2000/Server 2003対応のプリンタードライバー共通のもです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。特に説明のない限り、初期状態の設定でご利用ください。

【色の管理】シート (Windows Vistaのみ)



このプロパティシートはWindows Vista対応のプリンタードライバーにのみあります。

通常で使用になっている上では設定の変更は必要ありません (MultiCoder 500M3はカラー印刷に対応していません)。

【セキュリティ】シート



このプロパティシートはWindows Vista/Windows XP/2000/Server 2003対応のプリンタードライバー共通のもので、

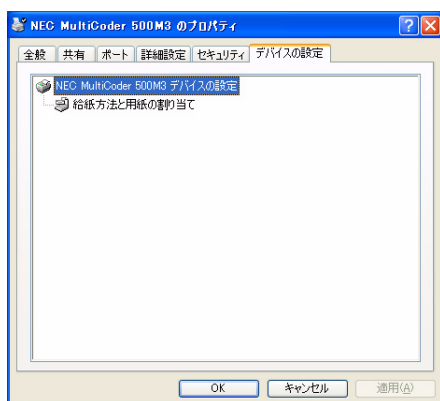
通常で使用になっている上では設定の変更は必要ありません。

Windows XP Home Editionの場合、表示されません。
Windows XP Professionalの場合、設定によって表示されないことがあります。

重要

変更の内容によっては印刷の権限を失うことなどがあります。変更する前にシステム管理者にお問い合わせの上、設定してください。

【デバイスの設定】シート



このプロパティシートは使用しません。

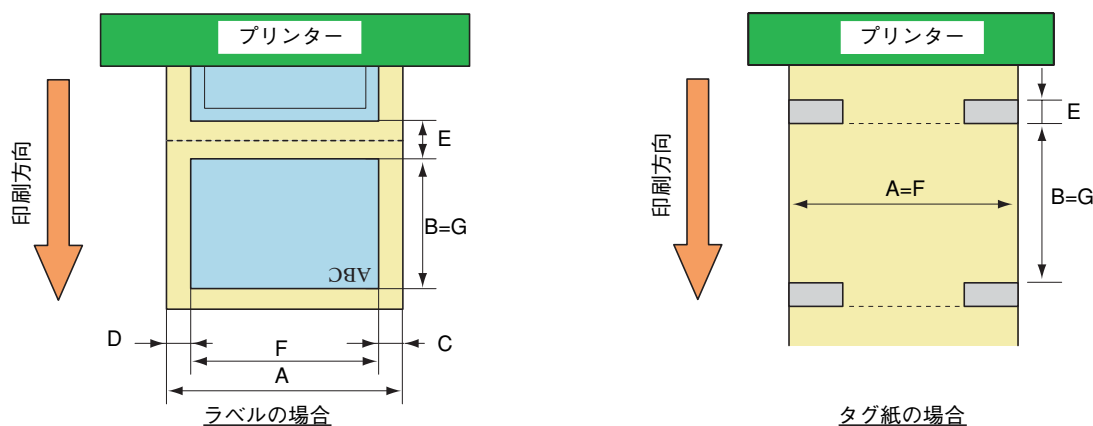
ユーザー定義用紙サイズの登録

次の手順でユーザー定義用紙サイズを登録します。

ここではWindows XP 日本語版の環境でユーザー定義用紙サイズを登録する方法について説明します。その他のOSも同じ手順で登録できます（異なる部分については該当する部分で説明を加えています）。

用紙サイズについて

本プリンタードライバーがサポートする用紙の種類は次のとおりです*¹。用紙サイズは「[用紙サイズ](#)」(69ページ)で選択することができます。



用紙サイズ		A	B	C	D	E* ² (ラベルギャップ)	F	G
105×76mm	mm	108.0	76.0	1.5	1.5	3.0	105.0	76.0
	インチ	4.25	2.99	0.06	0.06	0.12	4.13	2.99
2×4インチ	mm	53.8	101.6	1.5	1.5	3.0	50.8	101.6
	インチ	2.12	4.00	0.06	0.06	0.12	2.00	4.00
4×4インチ	mm	104.6	101.6	1.5	1.5	3.0	101.6	101.6
	インチ	4.12	4.00	0.06	0.06	0.12	4.00	4.00
4×6インチ	mm	104.6	152.4	1.5	1.5	3.0	101.6	152.4
	インチ	4.12	6.00	0.06	0.06	0.12	4.00	6.00
ユーザー定義サイズ (最小)	mm	22.0	8.0	0	0	2.0	22.0	8.0
	インチ	0.87	0.31	0	0	0.12	0.87	0.31
ユーザー定義サイズ (最大) * ³	mm	118.0	996.9	6.15	6.15	2.0	105.7	996.9
	インチ	4.65	39.25	0.25	0.25	0.12	4.16	39.25

*¹ 本プリンターで使用可能な用紙サイズはユーザーズマニュアルの3章「用紙の取り扱いと印刷」を参照してください。

*² ラベルの場合、ラベルギャップはラベルとラベルの間になります。

タグ紙の場合、ラベルギャップは黒マークの長さになります。センサーを使用しない場合も最少2.0mmを設定してください。

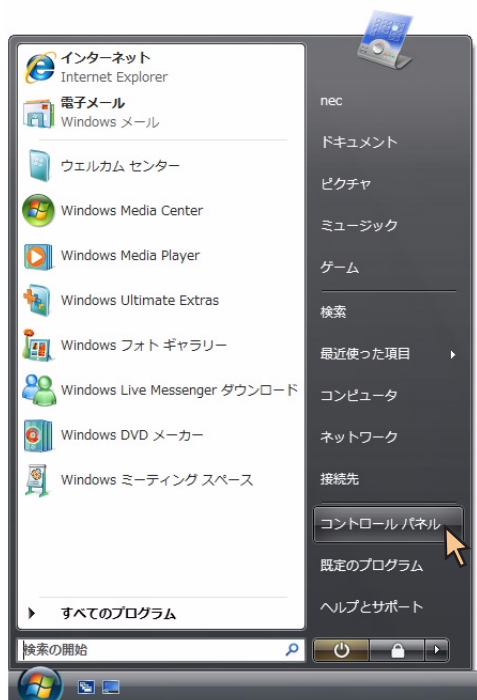
*³ ユーザー定義サイズの最小は、用紙高さとはラベルギャップを合わせて999.0mmです。

登録手順

① [プリンタ] フォルダーまたは [プリンタとFAX] フォルダーを開く。

Windows Vistaの場合

- ① [スタート] から [コントロールパネル] をクリックします。



- ② [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。

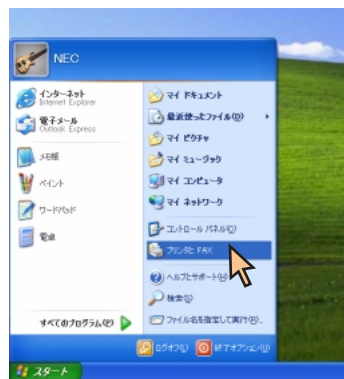


Windows XP Professional/Server 2003の場合

[スタート] の [プリンタとFAX] をクリックします。

Windows XP Home Editionの場合

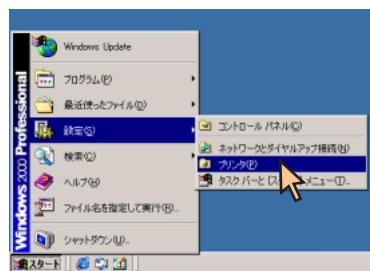
[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[プリンタとその他のハードウェア]、[プリンタとFAX] の順にクリックします。



Windows XP Professional 日本語版での画面例

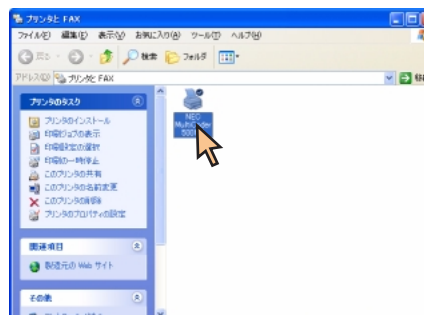
Windows 2000の場合

[スタート] の [設定] から [プリンタ] をクリックします。

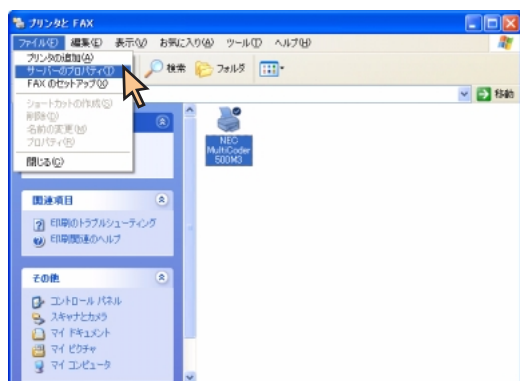


② 「NEC MultiCoder 500M3」アイコンをクリックする。

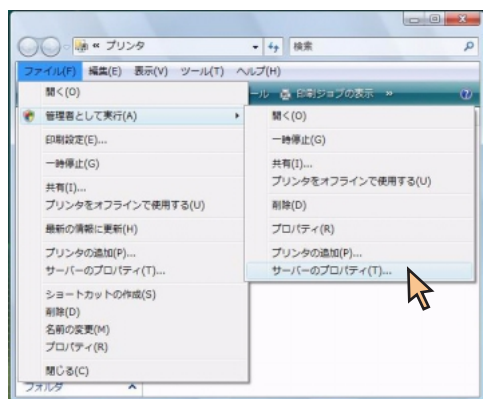
ドライバーのインストール時に付けた名前が表示されます。



- ③ [ファイル] メニューの [サーバーのプロパティ] をクリックし、[プリントサーバーのプロパティ] ダイアログボックスを開く。



Windows Vistaをお使いのコンピュータの場合は、[ファイル] メニューの [管理者として実行] から [サーバーのプロパティ] をクリックします。

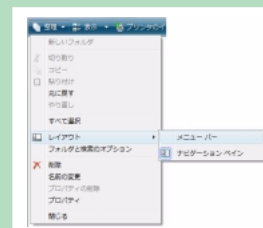


重要

- Windows Vistaの利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなどWindows Vistaのシステムの変更に關する操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または [続行] の操作をして先に進んでください。
- 「標準ユーザー」のアカウントで [ファイル] メニューの配下にある [サーバーのプロパティ] を選んでもプリンターのプロパティは表示されますが、用紙サイズの定義 (追加・削除・変更) は変更できません。

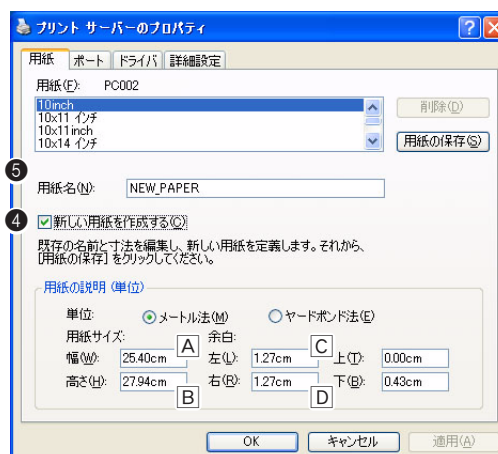
チェック

Windows Vistaをお使いのコンピュータで、[ファイル] メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、[整理] メニューから [レイアウト] を選び、[メニューバー] をクリックしてチェックマークを付けてください。



- ④ [用紙] シートにおいて [新しい用紙を作成する] をチェックする。

- ⑤ [用紙名] に用紙の名前を設定する。



チェック

すでに登録されている用紙と同じ名前を設定することはできません。

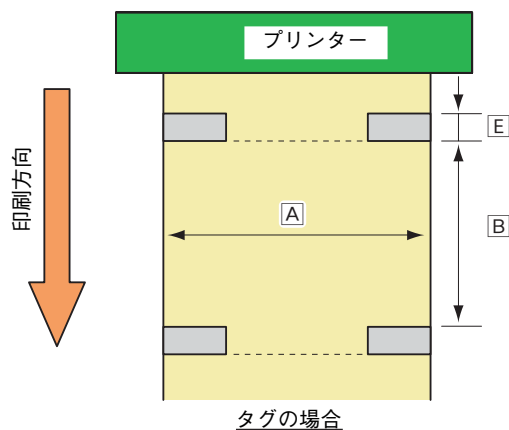
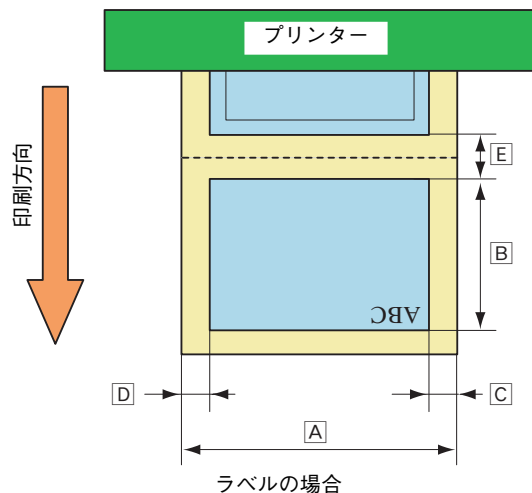
6 [単位]を指定して[用紙サイズ]と[余白]を設定する。

幅はラベルの台紙を含む大きさになります (A)。

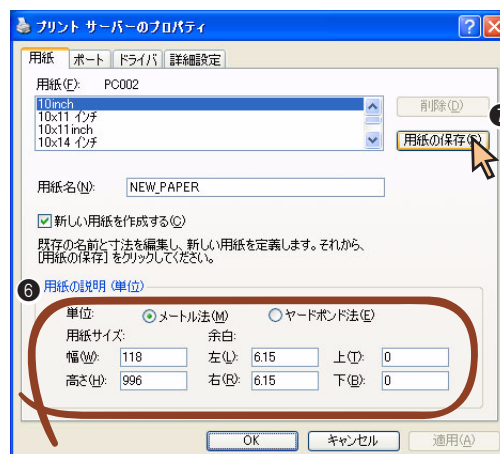
高さはレベルの台紙を含まない大きさになります (B)。

左右の余白は台紙とラベルの間になります (CとD)。

上下の余白は“0”としてください。Eはプリンタードライバーの「[詳細オプション] ダイアログボックス」(69ページ)の「ラベルギャップ」(72ページ)で設定してください。



7 [用紙の保存] をクリックする。

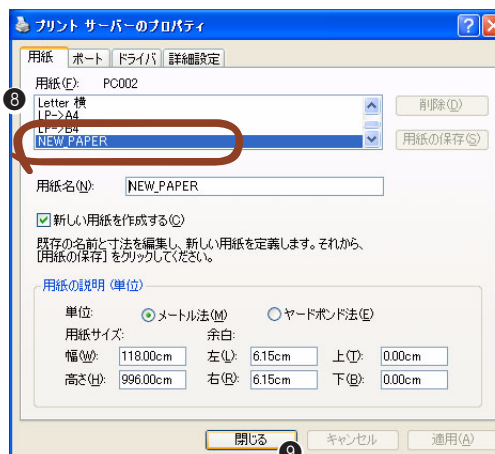


✓ チェック

- すでに登録されている用紙と同じ用紙サイズを設定することはできません。
- 本プリンタードライバーで設定できる用紙サイズについては「[用紙サイズについて](#)」(79ページ)を参照してください。

8 [用紙] 一覧に新しい用紙が表示されたことを確認する。

9 [閉じる] をクリックする。



プリンター制御フォントの使用方法

プリンター制御フォントとは、アプリケーション内の任意のページでカットを指定するためのフォントです。アプリケーション内に記載されたプリンター制御フォントは印刷されません。

様式には「CT」と「」の2種類があり、それぞれカットの動作が異なります。

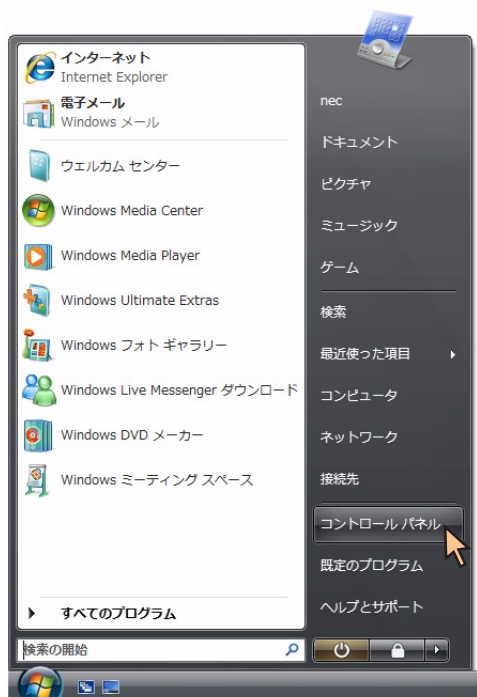
プリンタードライバーの設定

プリンタードライバーに対してプリンター制御フォントを有効にする方法を以下に示します。

① [プリンタ] フォルダーまたは [プリンタとFAX] フォルダーを開く。

Windows Vistaの場合

- ① [スタート] から [コントロールパネル] をクリックします。



- ② [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。

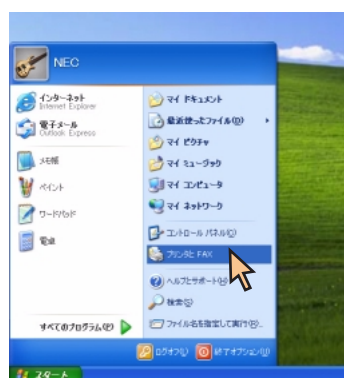


Windows XP Professional/Server 2003の場合

[スタート] の [プリンタとFAX] をクリックします。

Windows XP Home Editionの場合

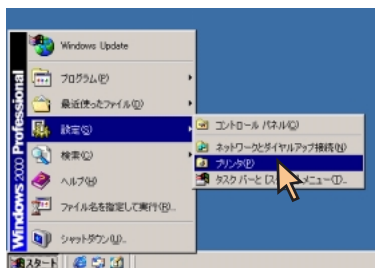
[スタート] から [コントロールパネル] をクリックし、[プリンタとその他のハードウェア]、[プリンタとFAX] の順にクリックします。



Windows XP Professional 日本語版での画面例

Windows 2000の場合

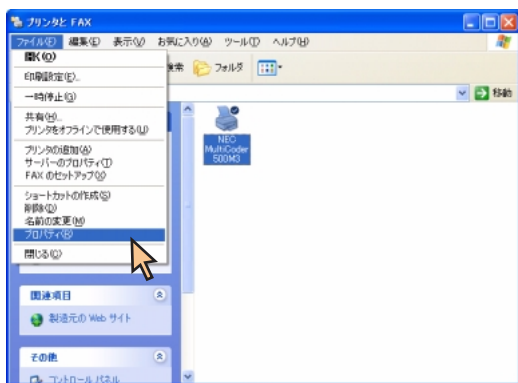
「スタート」の「設定」から「プリンタ」をクリックします。



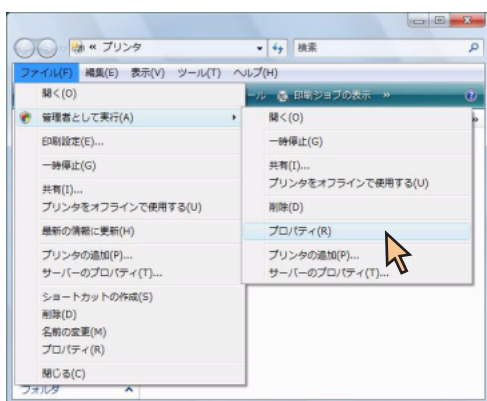
2 「NEC MultiCoder 500M3」アイコンをクリックする。

プリンタードライバーに対する操作をまとめたコンテキストメニューが表示されます。

3 「ファイル」メニューの「プロパティ」をクリックする。



Windows Vistaをお使いのコンピュータの場合は、「ファイル」メニューの「管理者として実行」から「プロパティ」をクリックします。

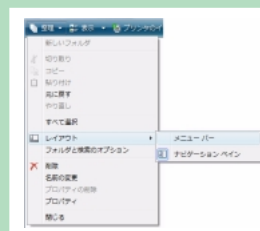


重要

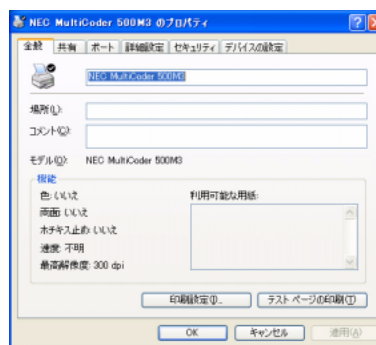
- Windows Vistaの利用者は「管理者」と「標準ユーザー」のいずれかのアカウントを持っています。「標準ユーザー」でプリンターのプロパティなどWindows Vistaのシステムの変更に关する操作をする場合は、管理者権限を持ったパスワードの入力を要求されます。また、「管理者」のアカウントを持っていてもこれらの操作をする前に確認のメッセージが表示されます。表示されたメッセージに従って管理者のパスワードの入力または「続行」の操作をして先に進んでください。
- 「標準ユーザー」のアカウントで「ファイル」メニューの配下にある「プロパティ」を選んでもプリンターのプロパティは表示されますが、印刷先の設定は変更できません。

チェック

Windows Vistaをお使いのコンピュータで、「ファイル」メニューなどのメニューバーが表示されていない場合は、「整理」メニューから「レイアウト」を選び、「メニューバー」をクリックしてチェックマークを付けてください。



「プロパティ」ダイアログボックスが開きます。



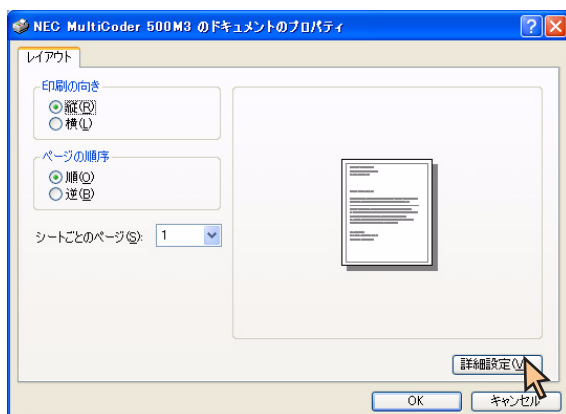
4 [全般] シートの [印刷設定] をクリックする。

[NEC MultiCoder 500M3 印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。

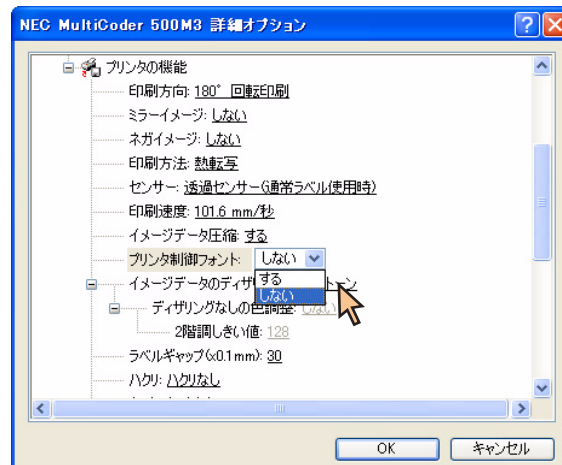


5 [詳細設定] をクリックする。

[NEC MultiCoder 500M3詳細オプション] ダイアログボックスが表示されます。



6 [プリンタ制御フォント] を [する] に設定して、[OK] をクリックする。



「印刷の最適化」(70ページ) が有効の場合のみ使用できます。

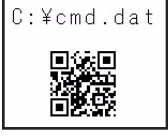
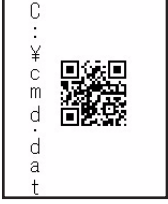
7 [NEC MultiCoder 500M3印刷設定] ダイアログボックスおよび [NEC MultiCoder 500M3のプロパティ] ダイアログボックスでそれぞれ [OK] をクリックしてダイアログボックスを閉じる。

以上でプリンタードライバー側の設定は完了です。

アプリケーションでの指定方法

アプリケーション上の文字列をプリンター制御フォントで記載することで、プリンタードライバーは記載された文字列をプリンタードライバーに対する命令として解釈します。
プリンター制御フォントで記載された文字列は印刷されません。

プリンター制御フォントには、文書内に直接命令を埋め込むものと、外部ファイルに記載された命令を取り込むための2種類のフォントがあり、それぞれに横書き用と縦書き用があります。
フォント名は以下のとおりです（「@」が付いたフォントは縦書き用です）。

フォント名	説明	受付可能な命令	入力例
NEC プリンタ制御	文書内に埋め込む場合に使用する横書き用フォント	- CTn (n=0~9999までの半角数字) ~n (n=0~9999までの半角数字)	
@NEC プリンタ制御	文書内に埋め込む場合に使用する縦書き用フォント	- CTn (n=0~9999までの半角数字) ~n (n=0~9999までの半角数字)	
NEC プリンタ制御 (ファイル)	外部ファイルを参照する場合の横書き用フォント	ファイル名 (パスを含む) 外部ファイル内の受付可能な命令 - CTn (n=0~9999までの半角数字) ~n (n=0~9999までの半角数字)	
@NEC プリンタ制御 (ファイル)	外部ファイルを参照する場合の縦書き用フォント	ファイル名 (パスを含む) 外部ファイル内の受付可能な命令 - CTn (n=0~9999までの半角数字) ~n (n=0~9999までの半角数字)	

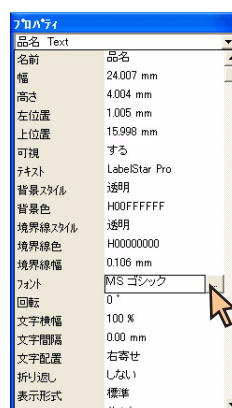
ここではLabelStar Liteを例に説明します。

① LabelStar Liteを起動して、任意のファイルを開く。

② [プロパティ] ウィンドウで目的のテキストボックスを選択して、[フォント] の参照ボタンをクリックする。

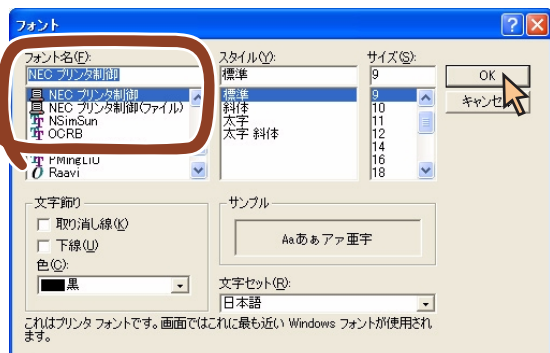
[フォント] ダイアログボックスを表示します。

他のアプリケーションの場合は、アプリケーションのヘルプを参照してフォントを変更するための手順を確認し、ダイアログボックスを表示をさせてください。



プリンター制御フォントに修飾しようとしているテキストボックス内の文字列は、[「\[NECプリンタ制御\] フォントを使ったカット指定」\(88ページ\)](#) および [「\[NECプリンタ制御 \(ファイル\)\] フォントを使ったカット指定」\(90ページ\)](#) で説明する命令またはファイル名であることを確認してください。

- ③ フォントの一覧から、プリンター制御フォントを選択して [OK] をクリックする。



[プロパティ] ウィンドウの [フォント] に設定されます。

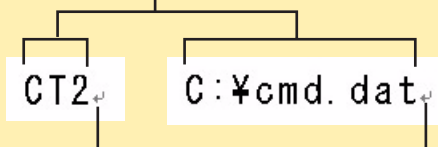


重要

フォント指定時の注意事項

- プリンター制御フォントを記述する場合は、文字列をすべて同じプリンター制御フォントおよびフォントサイズで記述してください。
- 記述後に改行する際、プリンター制御フォントで改行しないようにしてください。

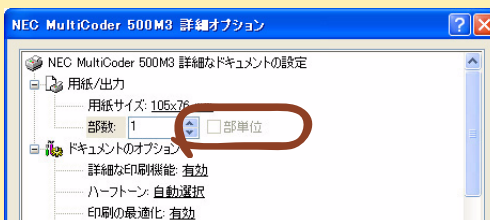
命令または外部ファイル名にはプリンター制御フォントを同じサイズで指定する。



改行する場合は、プリンター制御フォント以外の通常フォントを指定してから改行する。

部数の設定について

部数印刷を指定する場合は、[部単位] のチェックを外してください。[部単位] がオンの場合は、毎ページカットされます。



「NECプリンタ制御」フォントを使ったカット指定

「NECプリンタ制御」フォントまたは「@NECプリンタ制御」フォントで修飾された文字列について、プリンタードライバーは次の2種類の記述を命令として受け付けます。

✓ チェック

- ・ 文書中にプリンター制御フォントによるカット指定がない、または無効な記述がされている場合は、1 枚ごとにカットを行います。
- ・ 記述をプリンター制御フォントに指定していない場合は、文字列として印刷されます。
- ・ 記述の入力上の注意事項については「[フォント指定時の注意事項](#)」(87ページ) を参照してください。
- ・ 印刷時の部数指定については「[部数の設定について](#)」(87ページ) を参照してください。

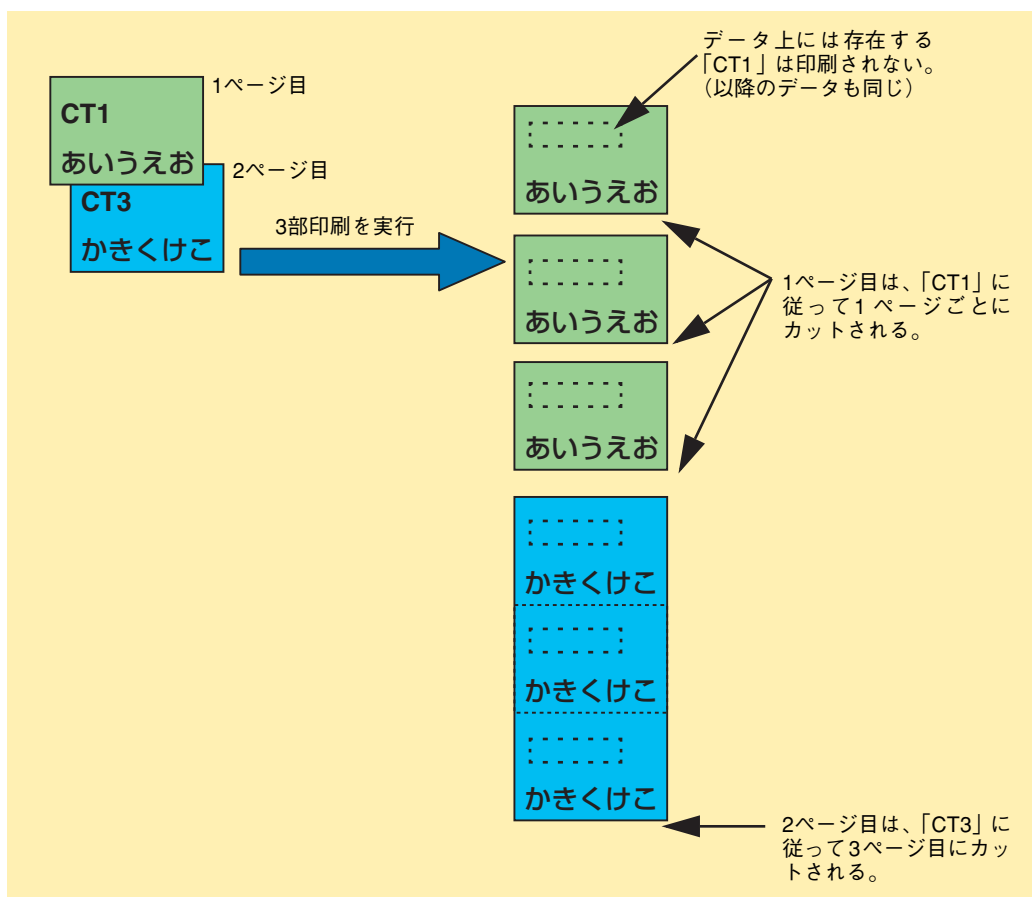
CT (任意のページでカットする)

「CT」に続く数字で指定されたページ数を印刷後にカットします。

指定方法

CTn 「n」は0～9999までの半角の数値です。
nに0を指定した場合、指定したページではカットしません。
nに1を指定した場合、指定したページを1枚印刷することにカットします。
nに2を指定した場合、指定したページを2枚印刷することにカットします。

使用例（2ページ、3部印刷の場合）

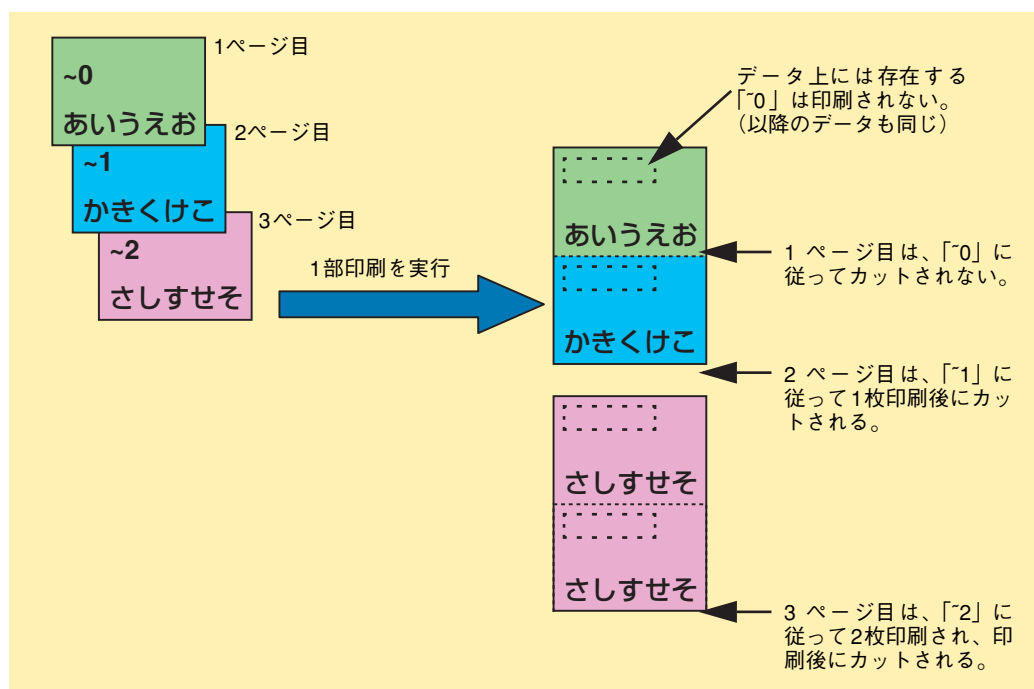


~（任意ページの複部数印刷後にカットする）

「~」に続く数字で指定された枚数だけ同じページを印刷し、カットします。

指定方法 ~ n 「 n 」は0~9999までの半角の数値です。
 n に0を指定した場合、指定したページを1ページ印刷後にカットしません。
 n に1を指定した場合、指定したページを1ページ印刷後にカットします。
 n に2を指定した場合、指定したページを2ページ印刷後にカットします。

使用例（3ページ、1部印刷の場合）



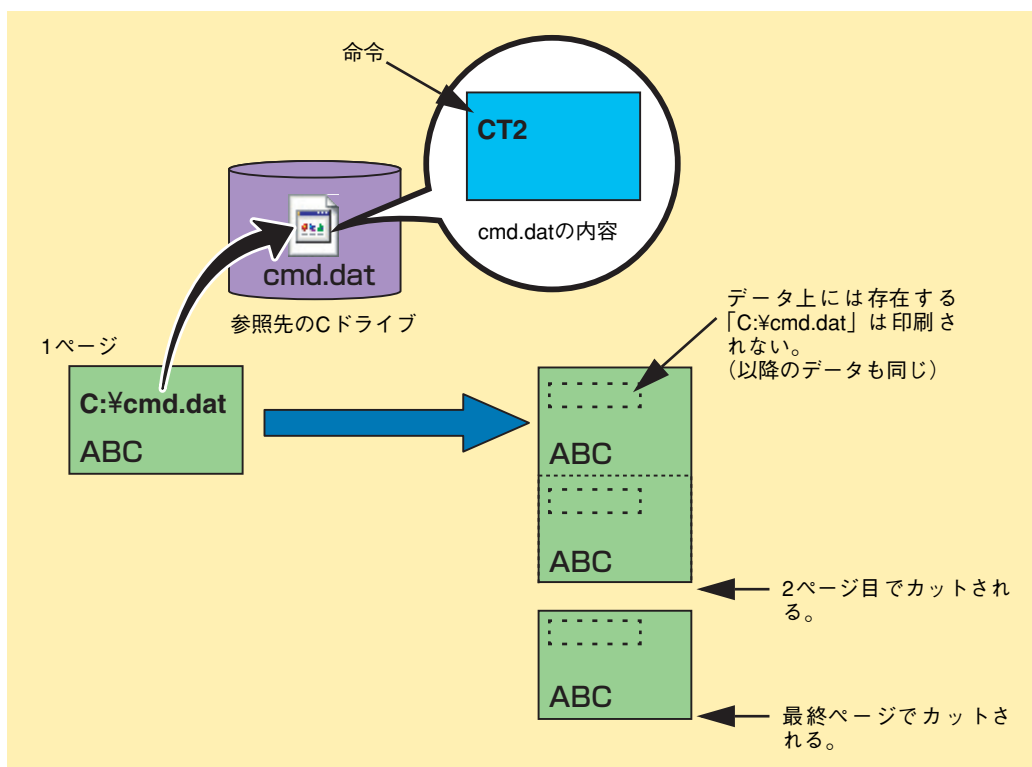
「NECプリンタ制御（ファイル）」フォントを使ったカット指定

「NECプリンタ制御（ファイル）」フォントまたは「@NECプリンタ制御（ファイル）」フォントで修飾された文字列をプリンタードライバーは外部ファイルへの参照パスとして受け付けます。

外部ファイルは、[「『NECプリンタ制御』フォントを使ったカット指定」\(88ページ\)](#) で示す記述が記載されたデータファイルで、データファイル内の記述を変更することで一括してカット動作を変更させることができますようになります。

指定方法	〈コマンドファイルパス〉	命令が記述されたデータファイルのファイルパスを指定します。 ファイル内に記述された文字列を命令として出力します。 テキスト形式のデータファイルのパスを指定してください。 指定されたデータファイルに記載されている内容を出力します。
------	--------------	---

使用例（1ページを「C:\¥cmd.dat」ファイルに従って3部印刷の場合）



3章

リモートパネル

リモートパネルは、MultiCoder 500M3の操作パネルから行う各種設定をご使用のコンピューターの画面上で実行できるように作成されたソフトウェアです。

ここではリモートパネルの起動方法、リモートパネルの使い方について説明します。

リモートパネルの設定項目の詳細については、リモートパネルのヘルプをご覧ください。



チェック

- リモートパネルはWindows Vista 日本語版、Windows XP 日本語版、Windows 2000 日本語版、Windows Server 2003 日本語版、Windows Me 日本語版、Windows 98 日本語版、Windows NT 4.0 日本語版で動作します。リモートパネルのインストール方法についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。
- リモートパネルを動作させるためにはプリンタードライバーが必要です。
- Windows Me 日本語版、Windows 98 日本語版、およびWindows NT 4.0 日本語版のプリンタードライバーは以下のインターネットホームページからダウンロードしてください。

<http://121ware.com>

リモートパネルの起動

「リモートパネル」は以下の方法で開きます。

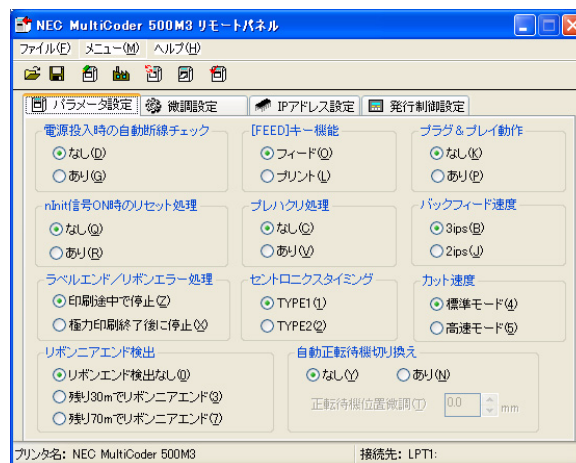
「スタート」の「すべてのプログラム」から、「NEC Multi-Coder 500M3リモートパネル」フォルダの「NEC Multi-Coder 500M3リモートパネル」をクリックします。



右のようなリモートパネルが表示されます。

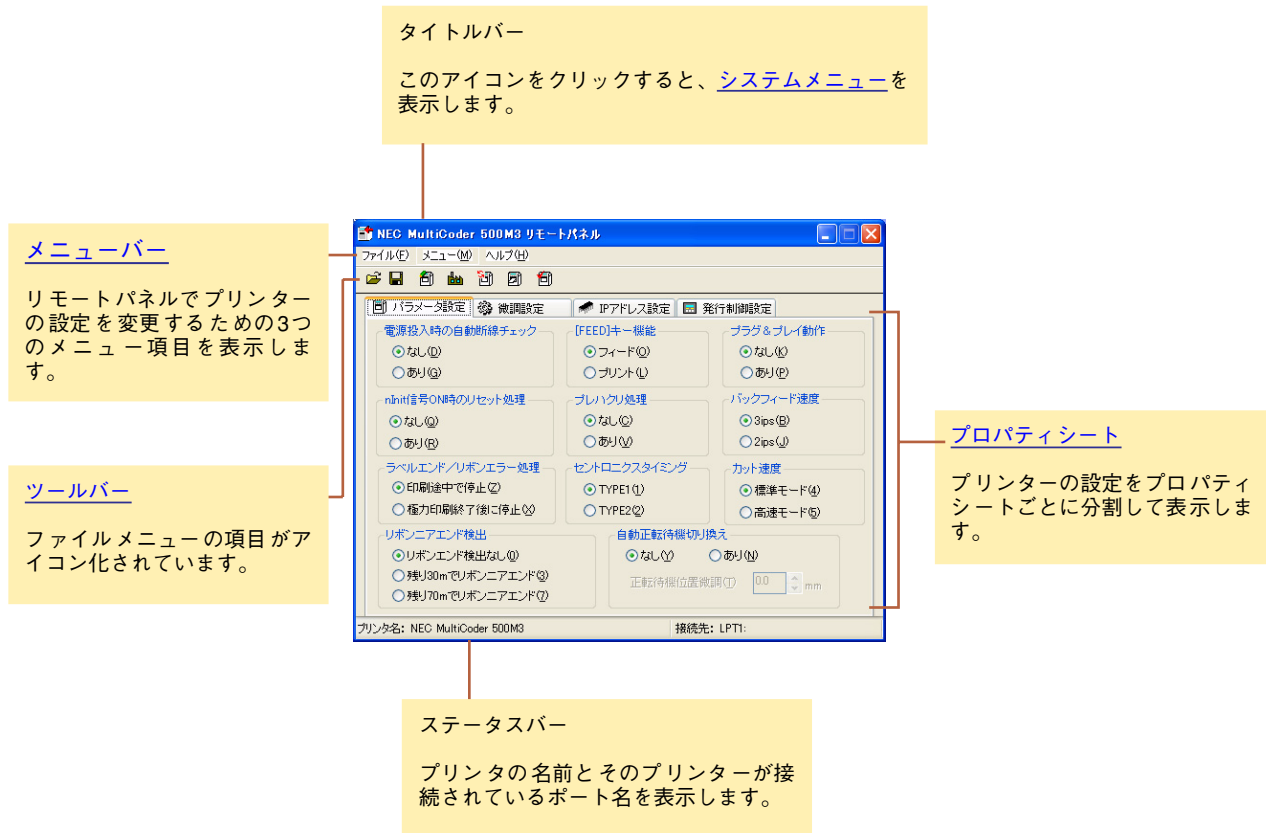
チェック

- リモートパネルの起動時の設定表示は、プリンター本体の設定状態にかかわらず、前回の設定値を表示します。初めて使用される場合は工場出荷設定の値を表示します。
- 複数のMultiCoder 500M3プリンタードライバをインストールしているコンピュータではリモートパネルを表示する前にプリンターの選択画面が表示されます。プリンターを選択するとそのプリンター用のリモートパネルが表示されます。



リモートパネルの使い方

リモートパネルを起動すると次のような「リモートパネル」メインダイアログボックスが表示されます。



システムメニュー



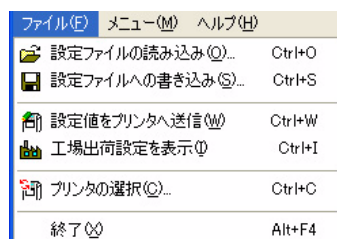
- **元のサイズに戻す**
アイコン化されているリモートパネルをウィンドウ状態に戻します。アイコン化されていないときはグレー表示されます。
- **移動**
リモートパネルのウィンドウを移動します。リモートパネルがアイコン表示されているときは移動できないため、グレー表示されます。
- **サイズ変更**
使用できないためグレー表示されます。
- **最小化**
リモートパネルをアイコン表示します。すでにアイコン表示されているときはグレー表示されます。
- **最大化**
使用できないためグレー表示されます。
- **閉じる**
リモートパネルを終了します。

メニューバー

リモートパネルでプリンターの設定を変更するための3つのメニュー項目を表示します。

ファイル

「ファイル」をクリックすると、リモートパネルで設定した値を書き込んだり、工場出荷時の設定値に戻して表示させたりすることができます。



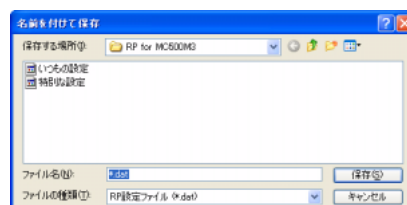
設定ファイルの読み込み

この項目をクリックすると「ファイルを開く」ダイアログボックスが表示され、保存しておいた設定値を使用することができます。



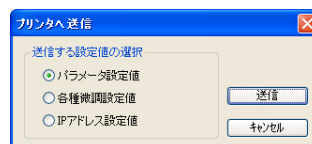
設定ファイルへの書き込み

この項目をクリックするとリモートパネル設定ファイルを保存するための右のダイアログボックスが表示されます。



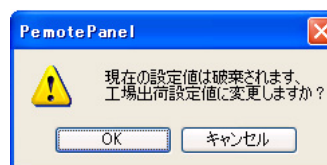
設定値をプリンタへ送信

選択されているプリンターにリモートパネルで変更した設定値を書き込むことができます。



工場出荷設定値を表示

リモートパネル上の設定値をすべて工場出荷設定値に戻して表示することができます。このとき右のダイアログボックスが表示されます。



このとき [キャンセル] をクリックすると工場出荷設定値には戻さず、メインダイアログボックスに戻ります。[OK] をクリックすると右のダイアログボックスを表示し、工場出荷設定値を表示します。



✓チェック

この項目を選択すると工場出荷設定値に戻して表示されますが、プリンター本体の設定値は変更されません。[設定値をプリンタに送信]を選択してはじめて設定値は変更されます。

プリンタの選択

リモートパネルで設定変更したいプリンターを選択することができます。ご使用のコンピュータに複数のMultiCoder 500M3プリンタードライバがインストールされている場合のみ、プリンタを選択するため右のダイアログボックスが表示されます。

設定を変更または表示したいプリンターをリストビュー上で選択します。リストビューにはプリンター名および接続先が表示されます。

[OK] をクリックするとリストビュー上で選択されているプリンターの設定を表示/設定するリモートパネルが起動します。



リストビュー

✓チェック

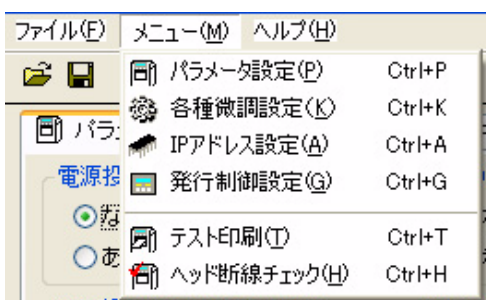
ご使用のコンピュータにMultiCoder 500M3プリンタードライバが1つしかインストールされていない場合は、[プリンタの選択] はグレー表示され、選択できません。

終了

リモートパネルを終了することができます。

メニュー

リモートパネルで設定変更したい項目を選択することができます。



設定変更したい項目を選択します。メニュー上の仕切り線より上にある3つの設定項目の詳細については、[「3章 プロパティシート」\(99ページ\)](#) またはリモートパネルのヘルプをご覧ください。

テスト印刷

選択しているプリンターに対してテスト印刷を実行します。プリンターに添付のテスト用ラベルをプリンターにセットしてください。

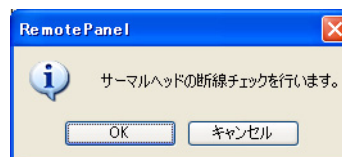
テスト印刷の印刷結果例を以下に示します。

印 刷 試 験

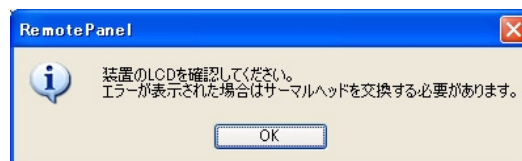


ヘッド断線チェック

選択しているプリンターに対してサーマルヘッドの診断をします。ヘッド断線チェックを実行すると右のメッセージが表示されます。



[OK] をクリックするとチェックを開始し、右のメッセージを表示します。[OK] をクリックしてメッセージに従って選択しているプリンターのディスプレイ表示を参照してください。

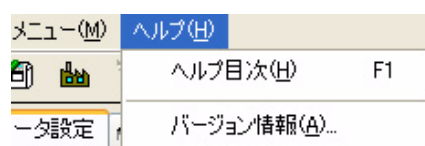


異常を示すメッセージが表示されている場合は、もう一度チェックをやり直してみてください。それでも異常を示すメッセージが表示された場合は、サーマルヘッド（消耗品）の交換が必要です。サーマルヘッドの交換についてはプリンターに添付のユーザズマニュアルを参照してください。

```
< 1 > D I A G .      V 1 . 0 A
H E A D   E R R O R
                          異常あり
```

ヘルプ

ヘルプをクリックすると、リモートパネルのヘルプやバージョン情報を表示することができます。



ヘルプ目次

リモートパネルのヘルプを表示します。

バージョン情報

リモートパネルのバージョン情報を表示します。

ツールバー



・[設定ファイルの読み込み] ボタン

このボタンをクリックすると「ファイルを開く」ダイアログボックスが表示され、保存しておいた設定値を使用することができます。



・[設定ファイルへの書き込み] ボタン

このボタンをクリックするとリモートパネル設定ファイルを保存するためのダイアログボックスが表示されます。



・[設定値をプリンタへ送信] ボタン

このボタンをクリックするとプリンターにリモートパネルで変更した設定値を書き込むことができます。



・[工場出荷設定を表示] ボタン

リモートパネル上の設定値をすべて工場出荷設定値に戻して表示することができます。このとき次のダイアログボックスが表示されます。



このとき「キャンセル」を選択すると工場出荷設定値には戻さず、メインダイアログボックスに戻ります。

「OK」を選択すると次のダイアログボックスを表示し、工場出荷設定値を表示します。



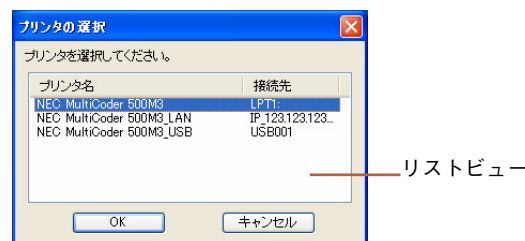
✓ チェック

この項目を選択すると工場出荷設定値に戻して表示されますが、プリンター本体の設定値は変更されません。「設定値をプリンタに送信」を選択してはじめて設定値は変更されます。



- **〔プリンタの選択〕 ボタン**

このボタンをクリックするとリモートパネルで設定変更したいプリンターを選択することができます。ご使用のコンピュータに複数のMultiCoder 500M3プリンタードライバがインストールされている場合のみ、プリンターを選択するため次のダイアログボックスが表示されます。設定または表示したいプリンターをリストビュー上で選択します。リストビューにはプリンター名および接続先が表示されます。



〔OK〕 をクリックするとリストビュー上で選択されているプリンターの設定を表示/設定するリモートパネルが起動します。

✓ **チェック**

ご使用のコンピュータにMultiCoder 500M3プリンタードライバが1つしかインストールされていない場合は、〔プリンタの選択〕 はグレー表示され、選択できません。



- **〔テスト印刷〕 ボタン**

このボタンをクリックするとテスト印刷を実行します。詳しくは[「テスト印刷」\(96ページ\)](#)を参照してください。



- **〔ヘッド断線チェック〕 ボタン**

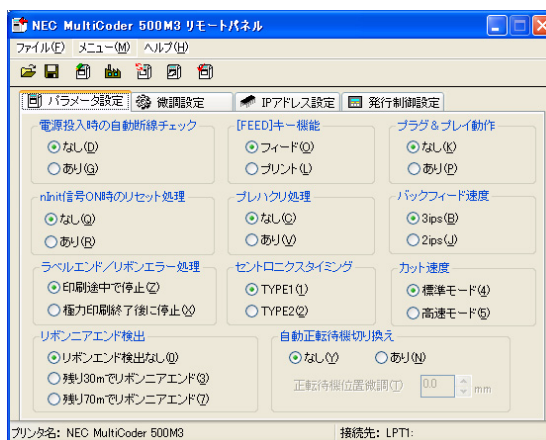
このボタンをクリックするとサーマルヘッドの断線チェックを実行します。詳しくは[「ヘッド断線チェック」\(96ページ\)](#)を参照してください。

プロパティシート

リモートパネルは次の4つのプロパティシートを持っています。プロパティシートの切り替えは3つのタブまたは「メニュー」の中から切り替えることができます。

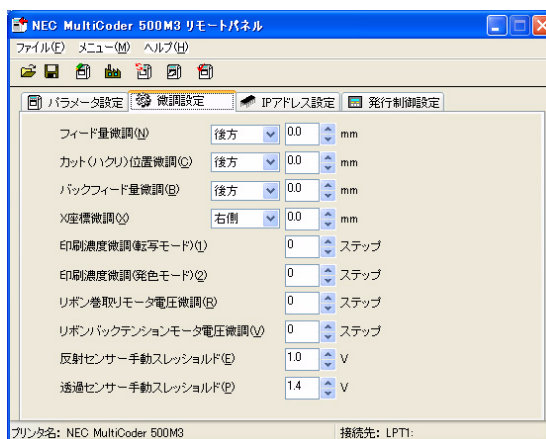
- パラメータ設定

プレハクリ処理の設定などプリンターのパラメーター設定に関するプロパティの集まりです。各種設定の初期値や詳細な機能については「[1章 操作パネルを使って 設定変更する](#)」(1ページ)の「[システムモード](#)」(15ページ)またはヘルプを参照してください。



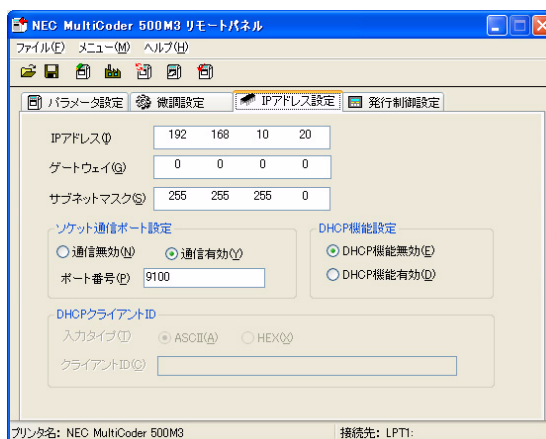
- 各種微調設定

プリンターのフィード量など印刷のための微調整をするプロパティです。各種設定の初期値や詳細な機能については「[1章 操作パネルを使って 設定変更する](#)」(1ページ)の「[システムモード](#)」(15ページ)またはヘルプを参照してください。



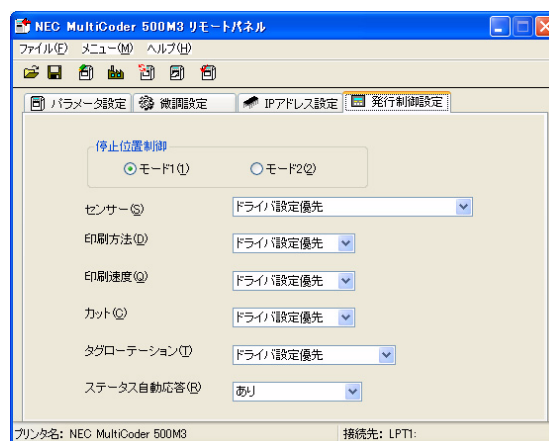
- IPアドレス設定

プリンターをネットワークプリンターとして使用する場合はIPアドレスやゲートウェイアドレスなどを設定するプロパティです。各種設定の初期値や詳細な機能については「[1章 操作パネルを使って 設定変更する](#)」(1ページ)の「[システムモード](#)」(15ページ)またはヘルプを参照してください。



- 発行制御設定

印刷時にプリンターの各種制御動作を指定するプロパティです。各種設定の初期値や詳細な機能については「[1章 操作パネルを使って 設定変更する](#)」(1ページ)の「[メニューモード](#)」(2ページ) またはヘルプを参照してください。

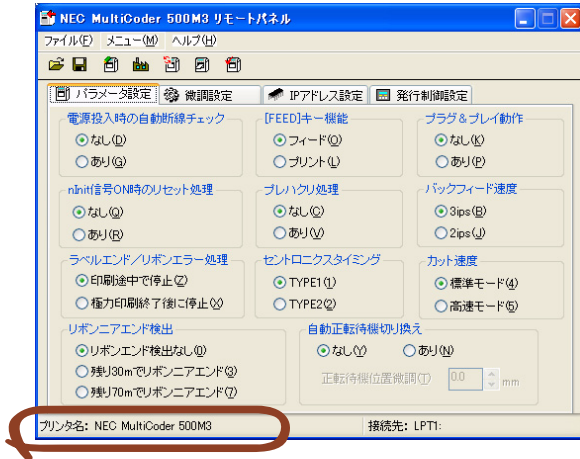


設定変更手順

リモートパネルを使った設定変更は以下の手順で行います。

① 設定を変えたいプリンターかどうか確認する。

ステータスバーでプリンター名で確認してください。もし希望のプリンターでない場合はツールバーの「プリンタの選択」ボタンをクリックするか「ファイル」メニューから「プリンタの選択」を選んで変更します。

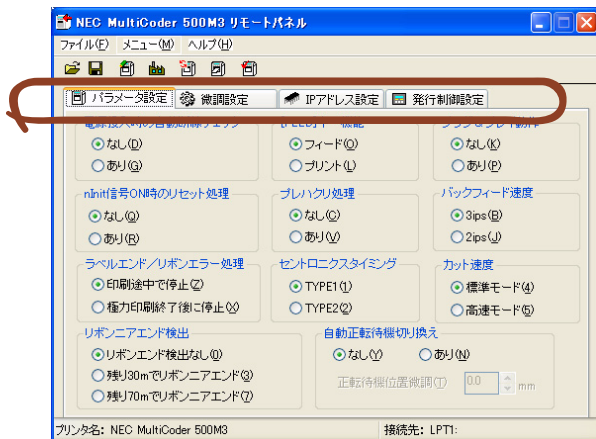


チェック

プリンターの変更はMultiCoder 500M3プリンタードライバーが複数インストールされている場合のみ可能です。

② 設定をしたいプロパティを表示する。

プリンターのパラメーター、および微調設定、IPアドレスの4つのプロパティのうち、表示したいタブをクリックするか、「メニュー」から選択してください。



チェック

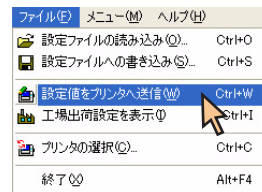
- リモートパネルは、対応機種プリンタードライバーがインストールされていない場合、起動できません。対応機種プリンタードライバーをインストールしてから、再度リモートパネルを起動してください。
- リモートパネルから設定値を送信する場合、接続先を確認し、正しい接続先になっていることを確認してから送信してください。また、コンピューターと送信先プリンターが正しく接続されていることを確認し、誤って他のプリンターに送信しないように注意してください。

③ プロパティシートで設定を変更する。

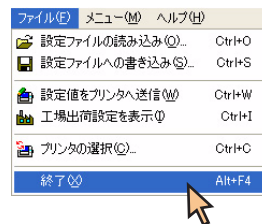
設定項目の詳細については、「[1章 操作パネルを使って設定変更する](#)」(1ページ) またはリモートパネルのヘルプをご覧ください。

④ 変更した設定内容をプリンターに書き込む。

ツールバーの「設定値をプリンタへ送信」ボタンをクリックするか「ファイル」メニューから「設定値をプリンタへ送信」を選択します。



⑤ 「ファイル」メニューから「終了」を選択し、リモートパネルを終了する。



これでリモートパネルの設定変更は終了です。

メモ

付録 技術情報

ここでは、本プリンターの初期状態、その他の技術情報について説明します。

初期状態

本プリンターの購入時の初期状態について示します。

項 目	初期値
フィード量微調（プリンタードライバー）	0mm
カット・ハクリ位置微調（プリンタードライバー）	0mm
バックフィード量微調（プリンタードライバー）	0mm
印刷濃度微調（熱転写）（プリンタードライバー）	0
印刷濃度微調（直接感熱（感熱））（プリンタードライバー）	0
リボンモーター駆動電圧微調（巻き取り側）（プリンタードライバー）	0
リボンモーター駆動電圧微調（バックテンション側）（プリンタードライバー）	0
フィード量微調（操作パネルのメニュー機能）	0mm
カット・ハクリ位置微調（操作パネルのメニュー機能）	0mm
バックフィード量微調（操作パネルのメニュー機能）	0mm
印刷濃度微調（熱転写）（操作パネルのメニュー機能）	0
印刷濃度微調（感熱）（操作パネルのメニュー機能）	0
リボンモーター駆動電圧微調（巻き取り側）（操作パネルのメニュー機能）	0
リボンモーター駆動電圧微調（バックテンション側）（操作パネルのメニュー機能）	0
X方向座標微調（操作パネルのメニュー機能）	0mm
透過センサー手動スレッシュホールド微調	1.4V
反射センサー手動スレッシュホールド微調	1.0V
文字コード種別	PC-850
0の字体	“0”（スラッシュ無し）
通信速度	9600bps
データ長	8ビット
ストップビット長	1ビット
パリティ	EVEN
伝送制御	XON/XOFF+READY/BUSY方式（DTR方式）（電源ON時XON、電源OFF時XOFF出力有り）
メッセージ表示言語	日本語
自動正転待機	正転待機なし*1
制御コード種別	自動切り換え
ハクリ待ちステータス切り換え	無し
[FEED] キー機能	1枚紙送り
漢字特殊コード	TYPE1
Euroフォントコード	B0H
自動断線チェック自動断線チェック	無し
ACK/BUSYタイミング	TYPE1
WEBプリンター機能	無し
nInit信号ON時のリセット処理	無し
リボンニアエンド設定検出	無し
拡張I/O動作モード	標準モード
プラグ&プレイ設定	無し
ラベルエンド／リボンエラー処理設定	ラベル／リボンエラー検出時、印刷途中で停止
プレハクリ処理設定	プレハクリ動作無し
バックフィード速度	3インチ/秒

項 目	初期値
MaxiCode仕様設定	既存バージョンとの互換仕様
キーボードI/F	OFF
ハクリモータートルク設定	R0
印加エネルギーテーブル設定	TYPE1
カット速度設定	TYPE1
オートキャリブレーション設定	OFF
LAN有効／無効設定	ON（有効）
ステータス応答	有り
ラベルピッチ	76.2mm
有効印刷長	74.2mm
有効印刷幅	105.7mm
印刷方法	熱転写
センサー種別	透過センサー
フィード速度	4インチ/秒
印刷モード	連続印刷
PCセーブ自動呼び出し	有り
ベーシックインタプリター設定	ベーシックインタプリター機能無効
ベーシックインタプリタートレース設定	トレース機能無効
DHCP設定	DHCP機能無効
RFIDモジュール設定	RFIDモジュールなし
RFIDエラータグ検出設定	無効
RFID印刷リトライ回数設定	3回
RFID読み取りリトライ回数設定	5回
RFID読み取りリトライ時間設定	4.0秒
RFID書き込みリトライ回数設定	5回
RFID書き込みリトライ時間設定	2.0秒
RFID調整リトライ設定	無効：0mm
停止位置制御モード設定	1
センサー指定	印刷コマンド優先
印刷方式	印刷コマンド優先
印刷速度指定	印刷コマンド優先
カット指定	印刷コマンド優先
タグローテーション指定	印刷コマンド優先
自動ステータス送信	あり

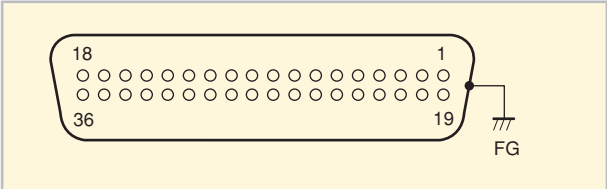
* 1 MultiCoder 500M3MC/500M3PC は「あり」が初期値です。

インターフェース

パラレルインターフェース

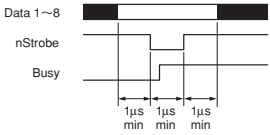
本プリンターのパラレルインターフェースはIEEE1284互換に準拠しています。

コネクターピン配置



ピン 番号	信号名	ピン 番号	信号名
1	nStrobe	19	TWISTED PAIR GND (PIN1)
2	Data1	20	TWISTED PAIR GND (PIN2)
3	Data2	21	TWISTED PAIR GND (PIN3)
4	Data3	22	TWISTED PAIR GND (PIN4)
5	Data4	23	TWISTED PAIR GND (PIN5)
6	Data5	24	TWISTED PAIR GND (PIN6)
7	Data6	25	TWISTED PAIR GND (PIN7)
8	Data7	26	TWISTED PAIR GND (PIN8)
9	Data8	27	TWISTED PAIR GND (PIN9)
10	nAck	28	TWISTED PAIR GND (PIN10)
11	Busy	29	TWISTED PAIR GND (PIN11)
12	PError	30	TWISTED PAIR GND (PIN31)
13	Select	31	nInit
14	nAutoFd	32	nFault
15	NC	33	0V
16	0V	34	NC
17	CHASSIS GND	35	NC
18	+5V (検出用)	36	nSelectIn

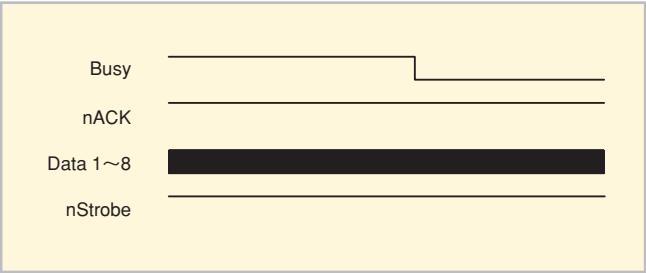
インターフェース信号の機能

ピン番号	信号名	略称	方向 プリンター ⇄コンピューター	機能
1	データストロブ	nStrobe	←	この信号は、データを読み込むための同期入力信号である。 定常状態ではHIGHレベルであり、LOWレベルのパルスの立ち上がりでデータを読み込む。パルス幅は、最少で0.5 μ secとする。 
2 3 4 5 6 7 8 9	データ1 データ2 データ3 データ4 データ5 データ6 データ7 データ8	Data 1 Data 2 Data 3 Data 4 Data 5 Data 6 Data 7 Data 8	←	各信号は、データの1ビット目から8ビット目の情報を受信する入力信号である。 論理1は、HIGHレベルである。 データのパルス幅は、最少で2.5 μ secとする。
10	アクノレッジ	nAck	→	この信号は、ホストがセットしたデータをプリンターが読み込み、次のデータ受信が可能であることを知らせる信号である。 定常状態ではHIGHレベルであり、Busy信号の立ち下がりから約5 μ sec LOWレベルとなる。この場合、コンピューターは、AckがLOWレベルからHIGHレベルに変わった後、データをセットする。 nAck信号を無視しnAck信号がLOWレベル中に次のデータをセットすると、BUSY信号の立ち下りからさらに約5 μ sec LOWレベルが継続される（この場合でもデータは正しく受信される）。
11	ビジー	Busy	→	この信号は、プリンターがデータ受信不可能状態（Busy中）であることを知らせる信号である。 プリンターは電源投入後のイニシャライズが完了すると、データ受信可能となりLOWレベルとなる。 コンピューターよりデータをセット（nStrobe信号の立ち下がり）すると、HIGHレベル（Busy中）となる。 データを読み込むとLOWレベルとなる。 プリンターは受信バッファの空き容量が512バイト以下になった時、データの読み込み間隔を長くするため、コンピューターよりデータをセットするとHIGHレベル（Busy中）状態を10秒間継続する。 プリンターは受信バッファの空きがなくなるとデータの読み込みを停止するため、コンピューターよりデータをセットすると受信バッファに空きができるまでHIGHレベル（Busy中）状態を継続する。 下記の条件の時、条件が解除されるまでHIGHレベル（Busy中）状態を継続する。 ・ [PAUSE] スイッチによってポーズ状態になった時 ・ ペーパーエンド状態の時 ・ リボンエンド状態の時 ・ ヘッドオープン状態の時 ・ プリンターがエラー状態の時 ・ nInit信号を受信し、イニシャライズ処理を実行中の時
12	ラベル／ リボンエンド	PError	→	この信号は、ラベルエンド状態、またはリボンエンド状態であることを示す出力信号である。 ラベルエンドまたはリボンエンド状態の時HIGHレベルとなる。 ラベルエンドまたはリボンエンド状態が解除されるとLOWレベルとなる。

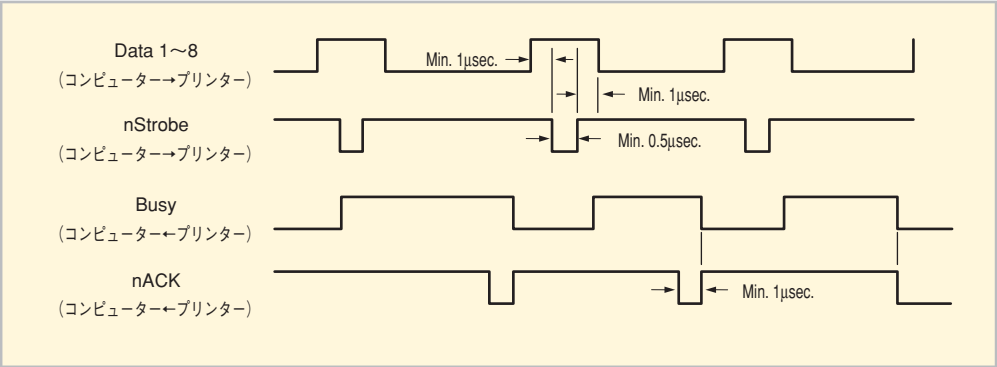
ピン番号	信号名	略称	方向 プリンター コンピューター	機能
13	セレクト	Select	→	この信号は、プリンターがポーズ中かオンライン中かを示す出力信号であり、オンライン中はデータの受信が可能である。 プリンターがポーズ中はLOWレベルとなる。 下記の条件の時、条件が解除されるまでLOWレベル（ポーズ中）状態を継続する。 ・ [PAUSE] スイッチによってポーズ状態となった時 ・ ペーパーエンド状態の時 ・ リボンエンド状態の時 ・ ヘッドオープン状態の時 ・ プリンターがエラー状態の時 ・ 電源投入後または nInit 信号を受信し、イニシャライズ処理を実行中の時
14	オートフィード	nAutoFd	—	未使用
15	—	—	—	将来の拡張用
16	シグナルグランド	0V	—	信号用グランド
17	フレームグランド	CHASSIS GND	—	フレームグランド
18	デバイスコネクト	+5V	→	プリンターが電源投入状態であることを示す。
19～30	TWISTED PAIR GND	—	—	（信号グランドに接続されている。）
31	インプットブライム	nInit	←	この信号は、ホストからのリセット要求信号である。 定常状態ではHIGHレベルでありLOWレベルの入力によりプリンタは電源投入後の初期状態となる。 * システムモードのパラメータ設定で「nInit信号ON時のリセット処理」がOFFに設定されている場合には、LOWレベルの入力が合っても電源投入後の初期状態とはならない。 印刷中にnInitが入力されると、印刷中の1枚を印刷終了後、次の処理を中止し電源投入後の初期状態となる。 * システムモードのパラメータ設定で「nInit信号ON時のリセット処理」がOFFに設定されている場合には、次の処理は中止せずに続行する。 パルス幅は最少で0.5 μ secとする。
32	フォルト	nFault	→	この信号は、プリンターがFault状態であることを示す出力信号である。 プリンターがFault中はLOWレベルとなる。 下記の条件の時、条件が解除されるまでLOWレベル（Fault中）状態を継続する。 ・ [PAUSE] スイッチによってポーズ状態となった時 ・ ペーパーエンド状態の時 ・ リボンエンド状態の時 ・ ヘッドオープン状態の時 ・ プリンターがエラー状態の時 ・ 電源投入後または nInit 信号を受信し、イニシャライズ処理を実行中の時
33	シグナルグランド	0V	—	信号用グランド
34～35	—	—	—	将来の拡張用
36	セレクトイン	nSelectIn	←	未使用

タイムチャート

● 電源ON時

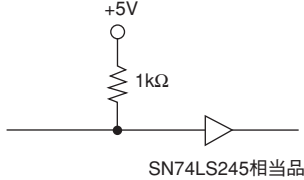


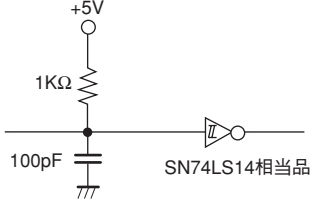
● データ受信時



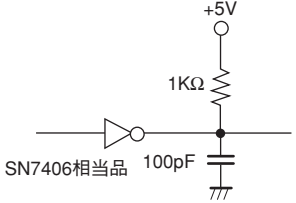
電気的特性

入力回路

信号名	回路形式
Data 1～8	

信号名	回路形式
nStrobe / HostClk / HostClk nInit / nInit / nReverseRequest nAutoFd / HostAck nSelectIn / IEEE1284Active / IEEE1284Active	

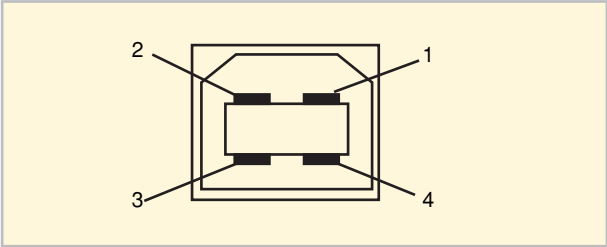
出力回路

信号名	回路形式
Busy / PeriphAck nFault / nPeriphRequest nAck / PeriphClk Select / PError / nAckReverse	

USBインターフェース

本プリンターのUSBインターフェースはUSB 2.0（フルスピード（12Mbps））に対応しています。

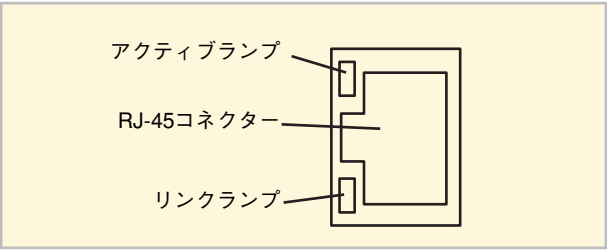
コネクタピン配置



ピン番号	信号名	機 能
1	VCC	
2	-DATA	
3	+DATA	
4	GND	グラウンド

LANインターフェース

本プリンターのLANインターフェースの仕様を以下に示します。

項 目		仕 様
プロトコル	物理層	10BASE-T、100BASE-TX (IEEE802.3準拠) Auto negotiation 10/100Mbps Full/Half Duplex
	データリンク層	CSMA/CD
	ネットワーク層	IP、ICMP、ARP
	トランスポート層	TCP、UDP
	アプリケーション層	SOCKET、TELNET*1、LPR、SNMPエージェント*1、DHCPクライアント、Webサーバー*1
配置		
ネットワーク インター フェース	ポート数	1
	Ethernet端子	10BASE-T、100BASE-TX (兼用)
	コネクタ	RJ-45
ランプ	リンクランプ (橙色)*2	点灯：10Mbps/100Mbps いずれかのLINK検出されています 消灯：いずれのLINKパルスを検出できません
	アクティブランプ (緑色)	点灯：受信/送信パケットが生じています 消灯：(待機状態)

*1 運用には使用できません。
*2 リンクランプが点灯するまでは通信できません

索引

記号

「@NEC プリンタ制御 (ファイル)」フォント	90
「@NEC プリンタ制御」フォント	88
~ (チルダ)	89

C

CT	88
----	----

I

IP アドレス設定機能	43
-------------	----

L

LAN インターフェース	112
--------------	-----

N

「NEC プリンタ制御 (ファイル)」フォント	90
「NEC プリンタ制御」フォント	88

S

Standard TCP/IP Port	57
----------------------	----

U

USB インターフェース	111
--------------	-----

イ

「色の管理」シート	78
印刷先の変更	52
「印刷設定」ダイアログボックス	61
印刷の詳細設定	61
印刷の手順	48
インターフェース	106
インターフェース信号	107

オ

オンラインマニュアルの使い方	V
----------------	---

カ

カット位置微調値算出方法	34
--------------	----

キ

技術情報	103
「共有」シート	77
共有プリンターに設定する	59

コ

コネクタピン配置	
USB インターフェース	111
パラレルインターフェース	106

シ

システムモード	
0 の字体切り換え	28
BASIC 機能 (<8> BASIC)	45
DHCP 設定	44
DHCP ホスト名設定	44
Euro フォントコードの設定	30
[FEED] スイッチ機能設定	29
IP アドレス設定	43
IP アドレス設定機能 (<7> IP ADDRESS)	43
KB I/F 設定	32
LCD 表示メッセージ言語切り換え	29
MaxiCode 仕様設定	32
nInit 信号 ON 時のリセット処理切り換え	30
RAM クリア機能 (<6> RAM CLEAR)	42
RFID 機能 (<10> RFID)	45
RS-232C ストップビット長切り換え	28
RS-232C 通信速度切り換え	28
RS-232C データ長切り換え	28
RS-232C 伝送制御方式切り換え	29
RS-232C パリティ切り換え	28
WEB プリンター機能設定	30
X 方向座標微調	36
印加エネルギーテーブル設定	32
印刷速度	39
印刷タイプ	40
印刷タイプ設定	22
印刷濃度微調	36
印刷方式	40
印刷方式選択	22
拡張 I/O 動作モード設定	30
カット位置微調	34
カット速度設定	32
紙送りモード	40
漢字特殊コードの切り換え	30
ゲートウェイアドレス設定	43
工場機能 (<9> FOR FACTORY)	45
サブネットマスク設定	43
自己診断 (<1> DIAG.)	22

自動自己診断	24
自動正転待機切り換え	29
自動断線チェック設定	30
～時のスイッチ機能	18
診断種類	22
制御コード	29
制御コード切り換え	29
正転待機時の停止位置調整値	29
設定の詳細	22
設定の手順	21
センサー指定	40
センサー表示／調整機能 (<5> SENSOR ADJ.)	41
セントロ ACK/BUSY タイミング設定	30
ソケットポート設定	44
テスト印刷機能 (<4> TEST PRINT)	38
テスト印刷モード選択	38
～で変更できる設定項目	15
透過センサー手動スレッシュホールド微調	37
～の終了方法	18
～の入り方	18
ハクリ位置微調	34
ハクリ待ちステータス切り換え	29
ハクリモータートルク設定	32
バックフィード速度設定	31
バックフィード量微調	36
パラメータ設定機能 (<2> PARAMETER SET)	28
反射センサー手動スレッシュホールド微調	37
微調値設定機能 (<3> ADJUST SET)	33
フィード量微調	33
ブラグ&ブレイ動作設定	30
ブレハクリ距離設定	31
ブレハクリ処理設定	31
ヘッド断線チェック	27
枚数設定	39
メニューツリー	19
メンテナンスカウンター	22
文字コード切り換え	28
ラベルエンド／リボンエラー処理設定	31
ラベルサイズ	40
リボンニアエンド検出設定	30
リボンモーター駆動電圧微調	36
[詳細設定] シート	77
初期状態	104

ス

スレッシュホールド設定	14
-------------	----

セ

[セキュリティ] シート	78
[全般] シート	76

タ

タイムチャート	109
---------	-----

チ

チルダ	89
-----	----

テ

テスト印刷機能	38
[デバイスの設定] シート	78
電気的特性	110

ハ

はじめに	iv
パラレルインターフェース	106

フ

プリンター制御フォント	83
「NEC プリンタ制御 (ファイル)」フォントを使った	
カット指定	90
「NEC プリンタ制御」フォントを使ったカット指定	88
アプリケーションでの指定方法	86
プリンタードライバーの設定	83
プリンタードライバー	
2 階調しきい値	72
LAN インターフェース	56
USB インターフェース	54
イメージデータ圧縮	72
イメージデータのディザリング	72
印刷イメージ位置微調整	74
印刷速度	71
印刷濃度調整	74
印刷の最適化	70
印刷の向き	67
印刷方向	70
印刷方法	70
オートフィード	75
カット	72
カット間隔	73
シートごとのページ	68
シートごとのページレイアウト	69
詳細な印刷機能	69
センサー	71
装置微調整	73
直接感熱	74
ディザリングなしの色調整	72
ネガイメージ	70
熱転写	74
ハーフトーン	70
ハクリ	72
ハクリ / カット位置	73
バックフィード量	73
パラレルインターフェース	52
フィード調整	75
フィード量	73
部数	69

ページの順序	67
ミラーイメージ	70
用紙サイズ	69
ラベルギャップ	72
プリンタードライバの選択	50
[プロパティ] ダイアログボックス	61

ヘ

ヘッド断線チェック	96
-----------------	----

ホ

[ポート] シート	77
-----------------	----

マ

マニュアルの構成	iv
----------------	----

メ

メニューツリー	
システムモード	19
メニューモード	6
メニューモード	
LAN 設定機能 (<7> LAN)	11
オートキャリブレーション設定機能 (<6> AUTO CALIB)	11
拡張設定機能 (<5> EXPAND MODE)	11
～時のスイッチ機能	5
設定の詳細	9
設定の手順	8
ダンプリスト出力機能 (<4> DUMP MODE)	9
～で変更できる設定項目	2
～の終了方法	4
～の入り方	4
発行制御設定機能 (<9> ISSUE CNTRL)	12
パラメータ設定機能 (<2> PARAMETER SET)	9
微調値設定機能 (<3> ADJUST SET)	9
メニューツリー	6
リアルタイムクロック設定機能 (<8> RTC SET)	12
リセット (<1> RESET)	9

ユ

ユーザー定義用紙サイズの登録	79
----------------------	----

ヨ

用紙サイズについて	79
-----------------	----

リ

リモートパネル	
IP アドレス設定	99
各種微調設定	99
システムメニュー	93
設定変更手順	101
ツールバー	97
テスト印刷	96
～の起動	92
～の使い方	93
発行制御設定	100
パラメータ設定	99
プリンタの選択	95
プロパティシート	99
メニューバー	94

レ

[レイアウト] シート	67
-------------------	----

メ 毛

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品です。
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

（社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下ガイドラインに基づく表示）

海外でのご使用について

本装置は、日本国内仕様のため海外でのご使用になる場合、NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償などの問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

電気通信事業法について

LANインターフェースでネットワークへ接続される場合、電気通信事業法で定められた電気通信業者の通信設備（ADSLモデムやCATVなど）へ直接接続することは許可されていません。

